

# 日整広報 はつらつ

公益社団法人 日本柔道整復師会・機関誌  
www.shadan-nissei.or.jp

VOL. 232  
MAY 2015

5



## 巻頭言 対応と前進…副会長 萩原正和

- ◎本流 §8. 変わることで伝統を繋ぐ 会長 工藤鉄男
- ◎全国都道府県会長会報告
- ◎柔整サロン 自分の決めたことをしっかりとやり通せる強い意志 大山志保
- ◎日本伝統治療(柔道整復術)指導者育成・普及プロジェクト活動報告
- ◎チンギスハーンの国

---

## ●目次

---

● 巻頭言 対応と前進 副会長 萩原正和	1
● 理事会だより	4
● <b>本流</b> § 8. 変わることで伝統を繋ぐ 会長 工藤鉄男	8
● 全国都道府県会長会報告	10
● 平成26年度税務経営実態調査報告	14
■ 第3回 DJAT 会議を終えて	16
● <b>柔整サロン</b> 自分の決めたことをしっかりとやり通せる強い意志 大山志保氏に聞く	20
■ 日本伝統治療（柔道整復術）指導者育成・普及プロジェクト活動報告	24
● <b>投稿</b> 広大な大地へのチャレンジ～柔道整復師を誇りに思う～	26
● 会務執行状況	28
● 平成27年度日整主催学術大会一覧	30
■ 第42回日整親善ゴルフ大会開催のご案内	31
● 連載その⑥ チンギスハーンの国	34
● <b>本の紹介</b> 情動と記憶—しくみとはたらき—	36
● <b>ちょっといい話</b> 剣豪武蔵のあしあとを辿る	37
● <b>私の夢</b> 「思いを形にできる仕事」	38
● 日整フォーラム 国民のため、地域住民のため、患者さんのため公益活動をしてまいります	39
北海道 茨城 群馬 千葉 神奈川 石川 愛知 滋賀 和歌山 兵庫 香川 愛媛 大分 沖縄	
● <b>投稿</b> 「高齢者の終末期の医療およびケア・在宅療養と地域包括ケアを考える」に参加して	57
■ 平成26年度柔道整復師養成学校優等卒業生一覧	59
● 学術大会会員発表動画配信	61
日整 HP からご覧いただけます	62
● 日整文芸	63
● 編集後記	64
● 表紙解説	65

---

## ●Web Page 日整ホームページ <http://www.shadan-nissei.or.jp/>

トップページの最新情報、健康情報誌「日整広報はつらつ」VOL.232  
または「日整はつらつバックナンバー」から入り当ナンバー広報誌を  
クリックしてご覧ください。QRコードもご利用ください。



# 対応と前進

公益社団法人日本柔道整復師会

副会長 萩原 正和



全国の会員皆様方におかれましては、ご健勝にてお過ごしされていることと存じます。

全国への春の訪れとともに、日整各部が6月の役員改選期となりますが、新年度の事業活動を活発に行っているところでございます。

日ごろより会員皆様におかれましては、会の運営にご理解とご支援を賜っておりますこと、心より深く感謝申し上げます。公益活動と業務を充実させながら、会員皆様に目に見える状態での実行と実現を、工藤会長を中心に執行部全員で目指しております。

日整保険部としては、柔道整復療養費専門検討委員会を見据えて小会議などで検討を重ね、データや理論に基づいた資料作りや研究事業を行う他、更に厚労省との協議も引き続き行って参りたいと思います。先に示されました国民療養費の伸び率が平成23年から平成24年で伸び率100億円のマイナス2.5%、初めてのマイナスとなり3,900億円台に割り込み、大変厳しい経営状態に入ってしまったと思っております。このままだと消費税アップに耐え得るだけの報酬はもらえていないため、診療報酬改定に向けたアプローチが必要であると考えております。

三橋保険部長を中心として、情報発信と行動が大切であるとの意識のもと、医療課より日整ホームページに近々の情報を発信しておりますので、ぜひ毎日の業務にご活用ください。

各種問題に対しては、全国都道府県の保険部から日整保険部への連絡網をつくり、各県からの諸問題への対応をさせていただいております。

また、保険者の行き過ぎた照会に対して、厚労省から自粛するよう指導や通達を出してもらうように交渉しております。保険者とのやり取りも保険部では行っておりますが、業界に対して理解を示してくださる保険者もおり、照会アンケートの内容に対するアドバイスをを行い、リーフレット内容の変更をしてもらうなど、効果も見えてきております。一方で、全く改善を見せない一部の保険者および委託業者もおりますので、日整として次の段階を踏み出さなければならぬと考えております。

長年にわたる厚労省と良好な関係から、厚労省のホームページ「柔道整復師等の施術にかか

---

る療養費の取扱いについて」の内容を一部改正してもらうことになっております。「保険を使えるのはどんなとき」の中に「その他 整骨院や接骨院で骨折、脱臼、捻挫および打撲、挫傷（いわゆる肉ばなれを含む）の施術を受けた場合に保険の対象になります」という言葉の中から「腰痛」を削除していただき、これを基に患者紹介の際に、腰痛として症状を訴えていた場合に返戻をされないという説明がし易くなりました。また厚労省と更なる信頼関係を構築すべく、業界に対する意見交換会や勉強会を今後実施していきたいと考えております。

また、業界全体が、誠実であるとのイメージをつくらなければいけないと考えてもおり、その一環として、行き過ぎた広告や贈答品による集客に対する、行政からの厳格な処罰を検討いただくよう、働き掛けをして参ります。

併せて、柔道整復師自体の質の向上を図る目的の一環として、以前から構想をしておりました『卒後臨床研修指導者のための技術講習会』を柔道整復研修試験財団と協力し、ようやく昨年からは毎年開催することを決定いたしましたので、これにより研修先の底上げができればと願っております。

改革を更に促進すべく、自民党のJファイルと呼応し、柔道整復師法の改正や大きな要望事項7つを提出しておりますので、幾つかは近々に実行いただけると考えております。

また、地域包括ケアシステムに参入に際し、外部へのアピールの一環として、ケアマネ・介護支援専門向けへの啓蒙リーフレットや「自治体対応マニュアル」、「対応マニュアルプレゼン」などを作成し、地域包括ケアシステム参入に向けた活動をし、柔道整復師は何ができるかなど、その活用方法の説明を全国各市町村へ行うよう働き掛けをお願いいたします。

内部への啓蒙活動としては、日整 HP での地域包括ケアシステムの説明、各県からの介護に関する問い合わせの対応、フォローアップ講習会、機能訓練指導員認定柔道整復師講習会、運動療法の紹介、訪問機能訓練結果報告、各学術大会でのアンケート集計と検討、介護予防認定柔道整復師講習会、介護認定審査会参入状況調査、認定講習会、訪問リハビリを柔道整復師が行うための説明、認知症サポーターの養成などを行って参りましたが、これらは今後も継続して行って参りたいと思っております。

更に、柔道整復師が行う機能訓練が、有効であるということデータを提示し、確立するため、全国リハビリテーション研究事業プレゼン、集団型と個別型の効果比較結果報告など研究事業も併せて行い、説得力のある資料を作成しております。「厚生指針」には「柔道整復師が介入する被災地における訪問機能訓練の事業効果」（平成27年6月号）を掲載することが正式に決定いたしました。

現在、柔道整復師の数の増加に対応すべく、接骨院・整骨院の業や整形外科などでのリハビリ以外に、デイサービスなどでの機能訓練士としての職域の拡大をしてきました。それを促進すべく、介護事業において『柔道整復師』の名称が業務以外でも使用できるよう厚労省医療課より通達を発行していただいた他、地域包括ケアシステムの中への柔道整復師の名称記入などを実現して参りました。今後は、更なる柔道整復師の業務拡大のため、経済産業省が掲げる「次

---

世代ヘルスケア産業参入」を考えております。このように職域拡大を図ることで、国民に対する貢献が更に充実するほか、認知度も上がっていくものと考えております。

国民への啓蒙活動の一環として、個人的ではございますが朝日新聞北海道版を通じて毎月柔道整復の紹介をしております。また、経営しております附属学校では、柔整カフェと題して学生が発信元となり市民への柔道整復術の啓蒙活動を継続しております。柔道整復師が地域に溶け込み、必要とされる職種であるとの認知が今後ますます必要であると考えております。そのためには、ボランティア活動の充実化、子供や女性の緊急避難場所としての機能を持つ整骨院や接骨院として、地域の見守り活動ができるような環境を整えていくべきであり、目標であると思っております。

国内での認知度を上げるほか、国外での柔道整復術を広めるべく、国際部は活動を精力的に行っております。外務省やJICAの協力のもと、モンゴル国立医療科学大学附属総合病院（臨床研修施設）内に臨床研修施設設立を促したり、厚労省PR誌掲載（日本研修開講式）をしていただいたりしております。

また、モンゴル版柔道整復理論・柔道整復術の教科書を制作し、モンゴルにおける医療活動に大きく貢献しております。モンゴルへは継続的に講師を派遣し、モンゴル人医師や看護師、医学生、看護学生に講義をしている他、市民講座にて家庭の医学知識を教えたりしております。講師の方々は、仕事を休んだり、体調管理など非常に多く苦労されながら、献身的な活動をされており、そのことがモンゴル国民の心を動かし、このたび、モンゴル・ゴビアルタイ県栄誉県民賞をいただくに至りました。

国内においても日本伝統治療普及・指導者育成プロジェクトの草の根活動が注目され、NHKワールド“Side by side”にてその活動が日本中に放映され、大きな反響を呼びました。萩原隆国際部長を中心としたモンゴルでの活動と経験を以て、今後はベトナムでの活動も考えて国際部の事業を考えていきたいと思っております。

ベトナム側の柔道整復術に対する正しい理解が得られれば、モンゴル国と同様に柔道整復術に対する期待は高まると考えております。ベトナムに柔道整復術が定着し、ベトナムの地域保健医療発展に寄与できるよう、尽くすことができると考えております。

また、対外的な大きなアピールの場として、ボーイスカウトのジャンボリー、ワールドラグビー、東京オリンピック・パラリンピックが相次いで開催されます。この各大会は、世界中から多種多様な国、民族、人種が集まりますので、開催地に限らず、日本全国の社団が共同して活動を行う必要があります。この場を借りての活動の程度はJudo therapyの認知度アップに必ず比例するものと考えており、日整として重要な位置付けをしております。認知度を上げることで、海外で活躍できる柔道整復師も増加することも考えられ、これは柔道整復師の更なる職域拡大を示すものですので、厳しい環境の中、一人でも多くの会員の皆様の活躍を期待しております。

# 理事会だより

総務部

## <平成26年度 第8回理事会>

開催場所	日本柔整会館2階理事会室
開催日時	平成27年1月28日(水)午後1時 ～午後3時
理事現在数 及び定足数	現在数18名 定足数10名
出席者	理事18名中17名出席 工藤、木山、萩原(正)、豊嶋、 佐藤、松岡、永田、萩原(隆)、 阿部、市川、山崎、伊藤(宣)、 三橋、高崎、原、伊藤(述)、 富永
理事外の出席者	内山監事、岡本監事
司 会	豊嶋総務部長
開会の辞	木山副会長
会長挨拶	工藤会長
閉会の辞	萩原副会長

## <会議の概要>

冒頭で議長が司会進行を総務部長に依頼し会議が開始された。最初に定足数を確認し、議事録署名人は定款第38条に基づき工藤鉄男会長と内山富之・岡本和久 両監事であることを確認した。

## <議 題>

### 第1号議案『平成27年度 厚生労働大臣要望書の提出について』

保険部長より標記要望書の「受領委任協定の見直し」と「施術管理者の強化」について重点説明があった。審議の結果、提案どおり承認可決した。

### 第2号議案『選挙管理委員会委員について』

総務部長より議案について説明があった。審議の結果、加藤隆(北海道)、佐藤環(秋田県)、和田秀樹(神奈川県)、深井伸之(東京都)、大橋敏博(新潟県)、豊田長億(三重県)、中江利信(滋賀県)、徳久輝明(大阪府)、野坂明典(鳥取県)、浜野士朗(愛媛県)、内清治(鹿児島県)の会員11名を選挙管理委員会委員とすることに

ついて承認可決し、会長が選任した。

### 第3号議案『通常総会開催の事前通知について』

総務部長より議案について説明があった。審議の結果、平成27年6月28日(日)の通常総会は、正午から開催することを承認可決し、全国に事前通知することとした。

### 第4号議案『全国都道府県会長会について』

総務部長より議案について説明があった。平成27年3月22日(日)開催予定の全国都道府県会長会は、保険講習会を含め、提案どおり実施することを承認可決した。

### 第5号議案『日整全国少年柔道大会・日整全国少年柔道形競技会・日整全国柔道大会の実施要項等について』

総務部長より議案について説明があった。審議の結果、審判規定について、日整全国少年柔道大会は従来どおりの「国際柔道連盟試合審判規定」を、日整全国柔道大会は平成27年度から独自ルールの「柔道整復師柔道試合審判規定」を元に開催することを承認可決した。また、大会タイムスケジュール及び実施要項等についても提案どおり承認可決した。

### 第6号議案『各都道府県社団との再協定について』

総務部長より議案について説明があった。審議の結果、改正版の標記、規程及び協定書により、平成27年4月1日付けで各都道府県社団との再協定を締結することを承認可決した。

### 第7号議案『サーバーの入れ替え等について』

総務部長より議案について説明があった。審議の結果、今年度中に日整会館内のサーバー入替えと、災害に備えてデータをバックアップするための、遠隔地データセンターを活用する提案を承認可決した。

### 第8号議案『平成27年度 日整学術大会開催担当都道府県について』

学術部長より議案について説明があった。審議の結果、各地区における平成27年度日整学術大会開催担当都道府県を承認可決及び開催日を確認した。

### 第9号議案『日整会長学術賞について』

学術部長より議案について説明があった。審議の結果、久米信好会員（東京都）の日整会長学術賞推薦を承認可決した。

### 第10号議案『生涯学習単位取得要綱 改正案について』

学術部長より議案について説明があった。審議の結果、提案どおり承認可決した。

### 第11号議案『公認私的研究会規程 改正案について』

学術部長より議案について説明があった。審議の結果、提案どおり承認可決した。

### 第12号議案『モンゴル派遣日程・派遣者について』

国際部長より議案について説明があった。審議の結果、平成27年3月のモンゴル派遣について、提案どおり承認可決した。

### 第13号議案『平成27年度 第一回日本研修について』

国際部長より議案について説明があった。審議の結果、平成27年6月から8月に実施する第一回日本研修について、提案どおり承認可決した。

① 機能訓練指導員認定柔道整復師講習会 配布資料

② 機能訓練指導員認定講習会講師派遣について（兵庫・京都）

③ 各部からの報告  
市町村国保の都道府県への移管に係る情報

## <平成26年度 第9回理事会>

開催場所	日本柔整会館 2階理事会室
開催日時	平成27年2月25日(水)午後1時～午後3時30分
理事現在数及び定数	現在数18名 定数10名
出席者	理事18名中16名出席 工藤、木山、萩原（正）、豊嶋、佐藤、松岡、永田、萩原（隆）、市川、山崎、伊藤（宣）、三橋、高崎、原、伊藤（述）、富永
理事外の出席者	内山監事、岡本監事
司会	豊嶋総務部長
開会の辞	木山副会長
会長挨拶	工藤会長
閉会の辞	萩原副会長

## <報告事項>

- ① 会費免除申請について
- ② 帰一賞の推薦について
- ③ 優等卒業生の表彰について
- ④ 全日本産業別柔道大会結果報告
- ⑤ DJATについて
- ⑥ 共同通信社 配信記事
- ⑦ 全柔連 広報誌「まいんど」について
- ⑧ 国民医療を守るための総決起大会
- ⑨ 理事会議事録について
- ⑩ 第2回JIMTEF 災害医療研修アドバンスコース開催について
- ⑪ お礼状
- ⑫ 12月末日現在の会員数の報告
- ⑬ 予算管理月報（11月分）
- ⑭ 監査報告書
- ⑮ 平成26年度税務経営実態調査報告
- ⑯ 経理部会報告書
- ⑰ 平成26年度地域包括ケアシステム参入調査について
- ⑱ 日整支払基金推進室活動報告

## <会議の概要>

冒頭で議長が司会進行を総務部長に依頼し会議が開始された。最初に定足数を確認し、議事録署名人は定款第38条に基づき工藤鉄男会長と内山富之・岡本和久 両監事であることを確認した。

## <議 題>

### 第1号議案『平成27年度事業計画(案)について』

総務部長より平成27年度事業計画書について概要説明があった。審議の結果、原案を承認可決した。

### 第2号議案『平成27年度収支予算(案)について』

経理部長より標記収支（損益）予算書と事業別予算内訳書等について説明があった。審議の結果、原案を承認可決した。

### 第3号議案『内閣府への平成27年度事業計画書等に係る提出書について』

総務部長より議案について説明があった。第

1号議案及び第2号議案で承認された事業計画書、収支予算書、そして資金調達及び設備投資の見込みを記載した書類に、本日の議事録と併せて、内閣府に提出することを承認可決した。なお、当該提出書類について軽微な修正がある場合で、基本的部分の変更を伴わないときは、その対応を担当部署に一任することを承認可決した。

#### 第4号議案『通常総会について』

総務部長より通常総会について説明があった。審議の結果、①代議員選出などに関する全国社団あて文書を例年どおり発出すること、②役員選任の日程について確認をし、平成27年6月22日(月)正午までに総会質問事項が届いた場合には、その対応で緊急に理事会招集すること、③選挙管理委員会において、委員長に和田秀樹 会員(関東地区・神奈川県)、副委員長に深井伸之 会員(東京地区・東京都)が選出されたことを承認可決した。

#### 第5号議案『会費未納者の除籍手続きについて』

総務部長より議案について説明があった。審議の結果、「会費未納者の除籍手続きについて」に基づき、3月上旬に該当都道府県社団を通して「除籍予告書」を発出することを承認可決した。

#### 第6号議案『災害見舞申請について』

総務部長より議案について説明があった。審議の結果、「災害見舞規程」に基づき、東京都(床上浸水1件)からの災害見舞申請を承認可決した。

#### 第7号議案『優等卒業生の表彰について』

総務部長より議案について説明があった。審議の結果、平成26年度優等卒業生について、各柔道整復師養成施設から推薦のあった78名の表彰を承認可決した。

#### 第8号議案『日整と各都道府県柔道整復師会との協定について』

総務部長より議案について説明があった。審議の結果、前回の理事会(平成27年1月28日)において承認可決された標記規程及び協定書について、鑑分を付し、全国社団へ送付することを承認可決した。

#### 第9号議案『「日整必携」(保険部バージョン)の原稿作成について(平成28年度発行に向けて)』

保険部長より議案について説明があった。審議の結果、提案どおり承認可決した。

#### 第10号議案『日整ホームページへの「保険ホットニュース(仮称)」設置について』

保険部長より議案について説明があった。審議の結果、提案どおり承認可決した。

#### 第11号議案『平成27年度 日整学術大会 通知文等について』

学術部長より議案について説明があった。審議の結果、提案どおり承認可決した。

#### 第12号議案『柔道整復学継続研究について』

学術部長より平成26年11月20日の理事会に提出された宮本義己氏との契約書について文言等の変更があったことの説明があった。審議の結果、提案どおり承認可決した。

### 〈報告事項〉

- ① 職務執行状況報告について  
会長(工藤鉄男)、副会長(木山時雨・萩原正和)、理事(豊嶋良一、佐藤金一、三橋裕之、松岡 保、永田官久、萩原 隆、市川善章、山崎健司、伊藤宣人、高崎光雄、原 正和、伊藤述史、富永敬二)より、前回報告以降の事業計画に沿って行った自己の職務の執行状況について報告があった。
- ② DJAT 活動報告等について
- ③ JIMTEF 災害医療研修について
- ④ 全国都道府県会長会について
- ⑤ 年度末の在籍会員報告のお願いについて
- ⑥ 平成27年度 日整柔道大会 通知文等について
- ⑦ 全国少年柔道大会での形演武について
- ⑧ 全柔連 発行「安全指導」DVDについて
- ⑨ 理事会議事録について
- ⑩ 予算管理月報(12月分)
- ⑪ 経理部会報告書
- ⑫ 平成27年度学術派遣講師演題一覧
- ⑬ 富山大学寄附講座(雑誌掲載)について
- ⑭ モンゴル国派遣について
- ⑮ 平成27年度以降の国際部事業計画について
- ⑯ 平成27年度学術大会における国際部報告について

- ⑰ ベトナム国来賓の対応について
- ⑱ 各部からの報告  
データ管理室から業務内容について

選挙管理委員会 正副委員長について  
地域包括ケアシステムでの多職種の連携に  
ついてなど

## 日整会長学術賞 1名の会員が受賞

平成27年1月28日(水)開催の理事会において、久米信好会員（東京都）の受賞が決定いたしました。心よりお祝い申し上げます。

長年の業務の中で研究され実績を積み重ねてきた臨床の数々を、日整学術大会・接骨医学会等で数多く発表された功績は素晴らしいものがあり、ここに日整会長学術賞として工藤会長より楯を贈られることが決定いたしました。誠におめでとうございます。

今後、ますます柔道整復術研究のため、ご研鑽されることをご期待申し上げます。



### 〈日整会長学術賞〉とは

柔道整復の研究・発表を積み重ね業界の学術的向上に大いなる貢献をされた会員に贈られる賞として、平成19年に制定されました。今回の受賞者を含め、日整会長学術賞は18名の方々が受賞しています。

# 本流

会長 工藤 鉄男

## §8. 変わることによって伝統を繋ぐ

今回は、目紛<sup>めまぐる</sup>しく変化し続ける現代の日本においては、たとえ伝統と歴史がある一見とても強固に見える業界であっても、何の取り組みもせず、ただ“伝統的”に“そのまま”であるだけでは、これまでどおりに存在し続けることは決してできないという事実について、お話をしたいと思います。

例えば、日本経済の活動基盤となっている「財政金融」の業界では、グローバル化（産業の世界規模化）に対し、営利を最優先させる企業理論から、民間企業は外資に呑み込まれないように集散離合を繰り返しながら、その体力を強化しています。それとは別に、ほぼ同様の業務形態でありながら、自らの内側に巨額の現金を蓄え続けてきた業界があります。それは、郵貯の「郵政」やJAバンクの「農協」といった、これまで“岩盤”と呼ばれてきた強い業界です。日本の貯蓄額の総額は約1千兆円に及び、世界にも例がないほど巨額です。しかし、それは現在の日本の赤字総額とほぼ同額でもあります。この巨額の貯金は、日本人が老後に不安を持つことの裏返しともいえ、日本の社会保障の脆弱<sup>ぜいじやく</sup>さの現れでもあります。しかし、この巨額の資金は、塩漬けされたままあまり活用されていないというのが実態のようです。これを日本の市場全体に巡らせることができれば、日本経済は確実に活性化して回り出すというのが現政権の

改革への思惑なのです。そして、時の政権が真剣に「規制緩和」を進めると決断し、それを実行すれば、こうした岩盤といわれる強固な業界でさえ、いとも容易<sup>たやす</sup>く民営化され、あるいは解体されて、国が税金を吸い上げやすい組織体へと形態を変えざるを得なくなっていくことを、ここ数年間、我々は目の当たりにしてきました。

伝統や固有文化を大切にする『美しい国』を創ると言った安倍政権であっても、この流れを変えるツモリは全くないようです。そのことは、平成26年1月22日に行われた「ダボス会議（世界経済フォーラム年次会議）」の冒頭演説で、安倍総理は『私は既得権益の岩盤を打ち破るドリルの刃になる。（中略）そこでは、いかなる既得権益といえども、私の「ドリル」から無傷ではられません』と述べ、昨年末の解散総選挙後の記者会見でも、新たに『農業・医療・エネルギーといった分野で大胆な規制緩和を断行し、成長戦略を力強く前に進めたい』と強調したことから明らかです。

今更、「規制緩和＝善」という考え方が、国の成り立ちや慣習といった、その国独自の生活・文化や精神的な部分にとって、必ずしも正しい施策になるとは限らないことは既に自明の理です。ましてや、社会保障の軸となる医療すらも規制緩和の標的とし「既得権益との対決」というイメージを強く演出することで得られる

政権への支持が一層強固になったことは昨年末の選挙結果からも間違いありません。要するに、現在の日本においては、「**国家の赤字を断ち切る**」ための「**経済立て直し**」を何よりも最優先する改革が断行されているのです。それが老後の不安を高め、お金を使うことを躊躇う社会に拍車を掛けるという矛盾を生むとしても、今後の社会保障改革もこの方向からは、決して外れることはあり得ないということなのです。

現在、圧倒的な票に支えられて進められている「日本を最初から創り直す」勢いのアベノミクスという大改革には、否定しようのない強烈な「**経済最優先**」というDNAが根底にあることを、我々はまず第一に噛み締めなければなりません。その善悪論以前の問題として、そこを直視できなければ、我々が描く夢や理想は、ただの机上のものに過ぎなくなってしまうわけです。

我が柔整業界の改革について、動きが速過ぎてその目的や方向性がまだまだ把握しきれないと感じている会員の皆さんに、今どうしても理解していただきたいことは、国家の改革の根底にある真の軸をしっかりと受け止めた上で、いま業界が取り組むべきことを日整が自ら進んで示さなければならないということです。つまり、柔道整復を今後この国の将来、未来に確実に繋げるためには、社団か個人か等ではなく「社会保障の中に柔道整復が必要であること」を明確なデータを添えて証明する他に道はないということです。更にそれは、決して柔道整復師目線で組み立てるのではなく、国民・地域住民の目線で「地域医療の枠組みの中で柔道整復師は何を求められ、実際に何ができるのか？」ということです。そして、政府が示す動向から、柔整改革には、あと1～2年しか猶予がないことも分かってきています。残された時間を無駄にすることなく、小異を捨て大同で結束し、業界全体が全力で取り組まなければなりません。

国は自らの借金に潰されないうえ、国家を50年後も存続させるために、敢えて正面から経済施策に取り組み、勝つか負けるか、儲かるか潰れるか、といった殺伐とした情緒希薄の二者択一的なデジタル思考を主流としただけでなく、さらに集中・合理化・効率化・高度化・競争化を強め、格差を生む**強者理論**の方向へと邁進し

ています。既に理想論での改革は無理なのです。しかし、今の日本がどれだけその方向へ変動したとしても、この国に心や体が「傷む」人間が存在する限り、自分と異なる他者への理解と共存、互いに関わり合うことで結ぶ“絆”の重要性は、絶対になくなるものではありません。いや、人と人との繋がりはいくらでも以上には必ず高まると私は確信しています。そして、そこには生活に密着して寄り添い、不安や痛みを感じ取り、地域に根ざして、共に生きながら改善へと導き予防をもする柔道整復術が必ず必要になります。

加速する少子高齢化という人口構造の変化とそれに伴う諸制度等の見直しについても、我々柔道整復師は地域住民のために、ただ「与えられる未来」ではなく「自ら参加して主体的に創る未来」を実現しなければなりません。それは、他者を退けて自分だけの理屈をねじ込むのではなく、人間が生きるために最も重要となる『地域社会』と『そこで共に生きる人々』とが共存し合えるような、私益より他者の利益・公益に繋げられる「**利他**」という日本の伝統的な考え方を守り、業界改革を進める必要があるのです。もしも、経済優先・効利主義という国の改革の流れや時代の激動に吞まれて、我々までもが利に走れば、柔道整復師はその存在意義と活躍の場さえも失うことになってしまうでしょう。国の改革が、医療さえも規制緩和してドリルで打ち砕くと明言しても「国民皆保険」の志にある、貧富の分け隔てなく誰でも平等に手当して救い助ける「医療」本来の道を、我々は絶対に守らなければなりません。そこだけは経済理論を適用してはならないと信じています。

そして、一方で柔道整復は確実に「安価」であることも間違いありません。地域密着という特性をも踏まえれば、今後の「地域包括ケアシステム」の中で、在宅にも対応でき、社会保障費自体の削減にも確実に貢献できて、介護や福祉とも連携できるのは、むしろ柔道整復しかないと思います。明確な裏付けデータを示し、何としても重点施策を盛り込んだ「**協定の見直し**」を実現させます。それが、柔道整復業界の未来を委ねられた公益社団日整の使命だと確信しています。ご協力をよろしくお願いいたします。

# 事務局の機能強化で情報収集

## 全国都道府県会長会報告

公益社団法人日本柔道整復師会（以下、日整）は、平成27年3月22日（日）、午後1時から日本柔整会館で全国都道府県会長会を開いた。豊嶋良一総務部長の司会により進められ、木山時雨副会長の辞で開会。

工藤鉄男会長は挨拶の冒頭、都道府県社団の公益事業を主体とした諸活動と日整への協力に対し感謝の意を表した。そして日整の組織強化のため事務局の機能強化を図り、情報収集に努めている旨を述べた。また、都道府県社団の公益法人移行と柔道整復師会への名称統一の取り組みは、厚労省をはじめ関係機関などから高く評価されており、社会保障制度改革の動きの中で、業界発展に重要な意義を持つものであることを伝え、日整の方針に更なる協力を願った（要旨別掲）。

この後、経理部の竹藤敏夫部員が年次ごとの保険取扱件数と取扱金額を割出し、施術料金改定の交渉などに活用する「平成25年分税務経営実態調査報告」について、その推移を説明した（記事は経理部の担当者により別掲）。続いて、個人所得税・贈与税・消費税について顧問税理士の徳重寛之先生が「平成27年度税制改正大綱」と題して講演された。

次に、厚生労働省保険局医療課医療企画調査室の込山愛郎室長から、少子高齢社会を背景にした社会保障制度の在り方を中心に「療養費を取り巻く環境について」の演題で講演があった。日整各部長は現状の活動内容を報告し、萩原正和副会長の閉会の辞で終了した。



## 関係機関から高い評価 公益社団法人化と名称統一



私は一会員として、この業界のことを振り返ってみますと、今までは諸問題が起きたとしても、枝葉を剪定して繕うようにどうか対策を講じて解決してまいりました。最近、この業界の幹まで揺らぐような憂慮すべき問題がいろいろと発生しています。我々の制度が本当に正しい制度なのか、考えを変えなければいけないときにきています。

執行部はこれらを踏まえ、日整の組織強化を大前提に取り組んでいます。そして危機管理の観点から情報の収集が一番必要であるという結論に達し、中央省庁で重要ポストを歴任された宮澤清和氏を局長として

迎え、事務局の機能強化を図りました。更に地方厚生局の中枢を担い、自ら柔道整復師の免許を持ち、地域情報に精通している迫田光基氏を参事として迎えました。

このことにより必要な情報が早く入手できるようになり、それを47都道府県社団に配信して情報の共有に努めています。きょうは、厚生労働省の込山愛郎保険医療企画調査室長がお話をされますが、これも事務局に最適な人員配置を実現できたことによるものです。

都道府県社団の公益法人移行と柔道整復師会への名称統一の取り組みは、厚労省をはじめ関係機関や団体などから高く評価されており、社会保障制度改革の動きの中で、業界発展に重要な意義を持っています。このように業界がよりよい方向へいくために関係者と一体となって最善の努力を尽くしています。しかし、公益社団法人化されていない県もございますので、より一層のご努力をお願い申し上げます。

これから各地で地域包括ケアシステムが構築されていきます。地域社会へ貢献のため、ぜひ参入に向けて市町村等と連携して取り組んでください。公益社団法人として誇りある組織を背負っている都道府県の会長さんは、日整の方針に沿って会員を指導していただきたいと思います。難局を乗り切るためにこれからもご協力をよろしく願いいたします。

# 税制改正について学ぶ

## 個人所得税について



顧問税理士の徳重寛之先生は「平成27年度税制改正大綱」と題して、今年の改正について大きな改正はないものの、消費税やマイナンバー制については大改正であると前置きし、本題に入られた。

まず、個人所得税に関して、0歳から19歳の未成年者が口座開設できる「未成年者口座」（ジュニアNISA）を創設することとなり、老人から若年層への資産の移転が薦められている。また、住宅ローン減税等について、適用期限が消費税率引き上げ時期変更に伴い住宅取得等に係る措置を平成29年12月31日から平成31年6月30日まで延長されるとのこと。国外に転出する場合の譲渡所得等の特例の創設、中小企業退職金共済法等・小規模企業共済法の改正、ふるさと納税の拡充がされいろいろな制限が緩和されたと説明された。

## 贈与税について

次に贈与税について、結婚・子育て資金の一括贈与に係る贈与税の非課税措置の創設がされたが、社会をきちんとした方向性に導かないと核家族が多いことから贈与がスムーズにいかないのが現状。直系尊属から住宅取得等資金の贈与を受けた場合の非課税措置等は非課税限度額を拡充の上、適用期限が平成31年6月30日まで

延長になったと説明された。

## 消費税について

消費税については、10%への引き上げ施行日が平成29年4月1日に決定。景気判断条項は削除された。国境を越えた役務の提供に対する消費税の課税の見直しがされ、外国のサーバーを通じて購入したものに対して消費税が今まで掛からなかったが、提供を受ける者の住所地に見直されたため掛かるようになった。軽減税率導入の検討は消費税引き上げ施行日に向けて採用されていくのではないかとということである。

## マイナンバー制度について

マイナンバー制度について先生は、国民一人ひとりが持つ12桁の個人番号のことで、複数の機関に存在する個人の情報が同一人の情報であることを確認するために活用される。社会保障・税制度の効率性・透明性を高め、国民にとって利便性の高い公平・公正な社会を実現するための社会基盤である。平成27年10月から住民票を有する国民に通知されると概要を説明された。このことにより面倒な手続きが簡単で正確かつ早くなり給付金などの不正受給の防止にもなる。医療分野に独自の共通ID導入も提言されている。平成19年ころに「消えた年金問題」があったが、この制度がその時点で施行されていればこの問題は起こらなかったのではないかと例を示された。この制度の導入によってこれからの社会保障制度、税の制度などの環境が変わっていくのではないかと結ばれた。

## 地域包括ケアシステムへ積極的に関わりを持とう!

厚生労働省保険局医療課 保険医療企画調査室 込山愛郎室長

保険研修会として厚生労働省保険局医療課保険医療企画調査室の込山愛郎室長は、少子高齢社会を背景にした社会保障制度の在り方を中心に「療養費をめぐる環境と課題」のテーマで講演された。

前半は現状の社会保障制度の局面について説明され、後半はその局面の中で今後の療養費のあるべき姿について話された。

まず、団塊の世代が全て75歳になる2025年問題を取り上げ「75歳以上の方が10年で約2倍となり、全人口の18%を占め、社会保障制度～医療制度の課題は“急速な少子高齢化に尽きる”」と語った。



そして75歳を超えると医療の必要性や介護ニーズが増えてくる反面、保険料を払う若い人たちが減り乏しくなっているという「推計結果図」を示した。

そうした中で、支え合いによる地域包括ケアシステムの構築が各地域で進められており「医療・介護・予防・住まい・生活支援など多職種連携分野に柔道整復師が携わっていくことを考えていかなければならない」と語った。そして大事なことは「医療・介護、どの分野にしても、それぞれの方が地域への貢献、役割を考えていかないと乗っかれなくなってしまう、信用を失って淘汰される」という時代になっていることを強調された。更に「6万人の柔道整復師が、その役割を自覚して、地域で積極的な関わりを持ってもらうことが理想である」と期待を込められた。

## 5つの助言

そういう社会保障制度の大きな流れの中で、柔道整復師が考えていかななくてはならないこととして1点目は「施術所の信用を更に高めるために、どういったことをしていかななくてはいけないのか」。2点目は「プロフェッショナルとしての役割を更に発揮するために何ができるだろうか」。3点目は「地域での役割を更に発揮するために、どういったことをしていかななくてはいけないのか」。4点目は「保険者との信頼関係を更に強くするためにどうしたらいいのか」。5点目は「協定、契約の意味を改めて考えること」などを挙げられた。

その上で、その次の改革に向けて、柔道整復療養費については「例えば定額制の導入や受領委任払いが実施可能な施術所の限定など、その適正化の在り方について検討すべきである」と結ばれた。

# 各部の連携密に

## <総務部>

各部報告が行われた。まず、総務部から平成27年度事業計画、役員選任の日程、DJAT（災害派遣柔道整復チーム）、都道府県団体の名称の統一、事業の連携協定に係る規程の改正などについて豊嶋良一総務部長が説明。行政からも強く要望のあった名称統一に対して業界から高い評価を受けている。また、今年度執行した組織強化、マスコミ対応、保険者対応は随時しておりそれに対応でき得るためのコンプライアンスプロジェクトチームを立ち上げているとのこと。厚生労働省に対しては、療養費受領委任協定の見直し、卒後研修、地域包括、柔道整復師養成施設の急増防止等々について要望書を出している。日整データ管理室の新設に関し、災害などがあっても日整のデータが消えないように4月から稼働させる旨の報告があった。養成施設からの要望があった柔道整復師養成学校生、有資格者に対する会員施術所の求人情報の提供に対しは、都道府県社団HPに会員施術所の求人情報ページを新設、日整のHPからリンクする方法で施行を始めている旨を述べ協力を求めた。

## <経理部>

佐藤金一経理部長は27年度予算について、事業別収支予算書、事業別区分経理の内訳表、収支（損益）予算書を公益、共益部分を示し説明した。

## <保険部>

三橋裕之保険部長は、平成27年度予算・税制・一般施策に関する要望とその回答について説明。特に「療養費受領委任協定の見直し」「柔道整復師施術管理者の強化」「地域包括ケアシステムへの参入」3点に関して重点項目として厚労省に要望を挙げ、実現に向けての回答が出ていることを示した。また、地域包括自治体マニュアルに関しては、地域において理解が得られるように活用を求めた。JJT保険部ニュースに関しては、日整のHPに週4回程度掲載しており、閲覧して情報を共有するように薦めた。

## <学術部>

松岡保学術部長は、開催日が決定した27年度の日整主催学術大会、学士（柔道整復学）取得

者、学術派遣講師演題一覧と規程などについて説明。学士（柔道整復学）取得者については、取得者の有無の報告を要請し、富山大学寄附講座について、柔道整復師の手技の効果が動物実験によって初めて確認された内容が、「Physiological Reports」というアメリカの科学誌に掲載されたことと「整骨新書」、「骨継療治重宝記」、「正骨範」の3大整骨書の解説作業が平成27年度で目途が付く旨の報告があった。

### <広報部>

広報部からは、永田官久広報部長が報告。広報誌を通じて工藤会長をはじめ執行部の意向をお知らせする他、会員から業界の未来へのご意見をお伺いしたいとのこと。掲載内容に基準があるため、掲載できないものに関してはHPに

掲載するなどして広報する努力をし、多くの会員に読んでいただけるように周知していただきたいと意向を述べた。IT担当の原正和理事は、日整のHP会員ページに保険部ニュースのページを設け、月に20回くらいの更新を行っているほか、各部の連携を密にし掲載を迅速にしている。多くの会員に見ていただけるよう周知していただきたいとの報告があった。

### <国際部>

萩原隆国際部長からは、日本伝統治療（柔道整復術）指導者育成・普及プロジェクト事業活動の報告と、当派遣講師募集、柔道国際医科学シンポジウム発表者の募集、「日整広報はつらつ」の関連掲載記事についての説明があり、萩原正和副会長の閉会の辞で終了した。

# 平成26年度税務経営実態調査報告

経理部員税務経営担当 竹藤 敏夫

平成27年3月22日(日)、午後1時から日本柔整会館2階大会議室にて全国都道府県会長会が開催され、経理部から平成25年分の税務経営調査の結果を取りまとめ報告いたしました。各県からの調査報告を精査し、平成25年分の保険取扱総金額・保険取扱総件数ブロック別一人当たりの取り扱い金額・取扱件数・一件当たりの金額・日整会員数の推移を作成し発表しました。

### ブロック別保険者別取扱総金額

保険取扱総額	145,074,235,606円					
保険者別取扱率	協会けんぽ	組合健保	国民健保	後期高齢	共済組合	労災保険
100%	24.5%	9.3%	34.1%	26.3%	5.2%	0.6%

(単位：%)

ブロック名	会員数	保険取扱金額	協会けんぽ	組合健保	国民健保	後期高齢	共済組合	労災保険
北海道	858	5,382,808,178	28.2	6.6	32.6	25.2	6.5	0.9
東北	1,403	9,615,606,873	26.1	9.0	32.6	25.8	6.0	0.6
関東	3,452	28,931,339,536	18.5	13.5	36.7	25.7	4.4	1.2
東京	1,399	13,399,303,130	13.3	16.2	36.8	28.6	4.0	1.1
北信越	1,841	14,720,738,980	26.4	8.4	33.8	26.6	4.4	0.4
東海	1,655	14,697,887,104	22.6	12.1	34.0	26.5	4.1	0.7
近畿	1,539	14,326,931,732	23.5	9.9	35.2	25.4	5.2	0.8
大阪	1,899	17,801,275,603	22.3	9.4	36.7	27.8	3.5	0.3
中国	656	5,944,184,628	28.8	7.5	32.2	25.7	5.5	0.2
四国	434	3,277,825,115	30.1	4.4	31.7	27.1	6.6	0.1
九州	1,702	16,976,334,727	29.4	5.6	33.1	24.8	7.0	0.2
計	16,838	145,074,235,606	24.5	9.3	34.1	26.3	5.2	0.6

## ブロック別一人当たり取扱金額

25年			24年			23年		
北海道	627 (▲35)	▲33	▲16	近畿	931 (▲63)	▲69	▲60	
東北	685 (▲63)	▲38	▲41	大坂	937 (▲101)	▲104	▲127	
関東	838 (▲54)	▲46	▲37	中国	906 (▲59)	▲38	▲23	
東京	958 (▲62)	▲47	▲49	四国	755 (▲54)	▲63	▲39	
北信越	800 (▲62)	▲54	▲27	九州	997 (▲72)	▲102	▲15	
東海	888 (▲57)	▲56	▲38	全国平均	862 (▲58)	▲60	▲48	

単位 万円・( )は前年比

## 日整会員数および会員一人当たりの件数と金額の推移

年次別推移表				1人当たり件数/金額/1件当たり金額		
年度	会員数	件数	金額(円)	1人当たり件数	1件当たり金額	1人当たり金額
平成22年分	16,682	20,554,297	171,543,410,021	1,232	8,346	10,283,144
平成23年分	16,786	20,275,599	164,628,755,398	1,208	8,120	9,807,504
平成24年分	16,797	19,652,324	154,673,671,019	1,170	7,871	9,208,410
平成25年分	16,838	18,937,109	145,074,235,606	1,125	7,661	8,615,883

## 療養費取扱高比較表

金額区分	該当会員数	25年度率	対前年度率	24年度率	23年度率	22年度率
500万円未満	5,988	35.6%	2.8	32.8%	30.1%	27.8%
500万円超～1,000万円未満	5,695	33.8%	0.2	33.6%	33.0%	32.5%
1,000万円超～1,500万円未満	2,793	16.6%	▲1.0	17.6%	18.8%	19.7%
1,500万円超～2,000万円未満	1,246	7.4%	▲0.9	8.3%	9.1%	9.6%
2,000万円超～2,500万円未満	545	3.2%	▲0.5	3.7%	4.3%	4.8%
2,500万円超～3,000万円未満	258	1.5%	▲0.3	1.8%	2.1%	2.5%
3,000万円超～3,500万円未満	123	0.7%	▲0.2	0.9%	1.1%	1.2%
3,500万円超～4,000万円未満	67	0.4%	▲0.1	0.5%	0.6%	0.8%
4,000万円超～4,500万円未満	47	0.3%	0.1	0.2%	0.3%	0.3%
4,500万円超～5,000万円未満	30	0.2%	0	0.2%	0.2%	0.2%
5,000万円超	46	0.3%	▲0.1	0.4%	0.4%	0.6%
	16,838	100.0%		100.0%	100.0%	100.0%

## ●保険取扱金額の大幅な減少の原因として

1. 柔道整復師の急増、接骨院・整骨院の急増による競争の激化
2. 療養費改定時の部位数の逡減
3. 保険組合の負傷原因の文書照会による受診抑制
4. 日常生活における怪我の減少、労務災害の安全対策による減少、また、学校内の怪我では整形外科に受診する傾向が一段と顕著になっている。
5. 高齢者においてはデイサービス施設の急増
6. 保険制度改革による度重なる患者負担の増大による受診抑制

以上のような原因が影響していると思われます。

※今回の税務実態調査に、ご協力いただきました全国都道府県の会長、各事務局の皆様、心よりお礼申し上げます。

# 第3回DJAT会議を終えて

2011年3月11日に発生した東日本大震災は、死者・行方不明者18,506人、負傷者、被災者数に上る未曾有の自然災害となった。被災地に残った大きな爪跡は4年の歳月が流れた今でもなお人びとの心の中に深い悲しみを残したままだ。このような災害に対し、柔道整復師は何かできるのか、柔道整復師が伝承してきた柔道整復の技は、その派生から、災害のときこそ役立つものであることは、柔道整復師なら誰でも知っている。ただ、災害時における組織的活動が成熟していなかったために災害時の活動に大きな成果が出されていなかったと言えよう。

DJAT (Disaster Judo Therapy Assistance Team: デイジャスター・ジュウドウセラピー・アシスタンス・チーム) は、医師が主導するDMAT (Disaster Medical Assistance Team: デイジャスター・メディカル・アシスタンス・チーム) に対して、柔道整復師が災害時に活動するための組織として創設された日整独自の災害組織で、その会議も3回を数えた。今回の会議からDJAT立上げメンバーに、各地区から推薦していただいた地区担当者を加え、各地区との連携強化を図り、実践形式で模擬訓練に臨んだ。

2015年3月11日(水)、午後1時から開催された今会議に先立ち、災害対策本部 本部長の工藤鉄男会長は「今社会は柔道整復師に何を求めているのか、柔道整復師はその社会の求めにどのように応えるのか、真価が問われている。災害時にも大きな力を発揮できる柔道整復術を連携させることによって、より大きな効果を生み出せるような組織構築をお願いした」と述べられた。引き続き副本部長の萩原正和副会長から「どこで災害が起きても、動ける体制を整えていくために、意識を高めてください」とのご挨拶の後、模擬訓練がスタートした。今回の会議は、第2回の模擬訓練の反省点を生かし「情報の混乱(被災地域の地理条件の把握の欠落)の



▲模擬訓練前の工藤本部長挨拶

改善」、「情報伝達ツールの確立(電話使用が不通状態での情報の伝達)」、近々の岩手県沖、四国沖を震源とする地震において挙げられた「命令系統の改善と確立」の3点を目標とした。

「情報の混乱(被災地域の地理条件の把握の欠落)の改善」については、たとえば、関東に災害が発生した場合、九州のチームが被災近接後方支援チームとなったときに国道の名前、甲州街道、青梅街道などの名称も初めて聞くときに、地理的背景を想像することが困難なことから、チーム編成の改善で対応し「情報伝達ツールの確立(電話使用が不通状態での情報の伝達)」では、電話が不通の状態、どのようにして速やかに、かつ詳細な報告ができるかを想定し、LINEやメールで写真を添付する方法を訓練した。三つ目は「命令系統の改善と確立」であるが、たとえば「私は待機します」の「待機」は命令か否かである。指示系統を確立する上で「待機」は命令の一つとした。

今回の訓練は、1階から3階の日整会館全館を使用し、被災地・被災地隣接チーム(以下第1次チーム)、被災地近接後方支援チーム(以下第2次チーム)、後方支援チーム(以下第3次チーム)、対策本部チーム、緊急対策室チー

ムの5チームで実施。各チームに必須としたものは、アイパッド、PC、携帯電話、ホワイトボード、統一地図帳を準備し、実戦さながらの模擬訓練が開始された。今回の模擬訓練では、長野県を震源とする地震を想定し、上述したチ

#### ▼緊急対策室



##### 緊急対策室の役割

- ・被災地域の情報の収集
- ・各チームへの活動命令
- ・対策立案 等

#### ▼第2次チーム



##### 第2次チームの役割

- ・衛生材料の確保・配送ルート確保
- ・応急処置部隊の派遣ルート確保 等

また、模擬訓練後の講演では「災害時における救護員の心得」と題して、独立行政法人国立病院機構災害医療センター災害医療企画運営部DMAT事務局運営室所属の近藤祐司Dr.によるご講演会をいただいた。近藤Dr.のご講演は2回目を数える。

1回目のご講演は、第2回DJAT会議の際で、その内容は、START法と呼ばれる災害時の傷病者の区分け（トリアージ）方法についてであ

ーム編成(図1)により、第1次チームに関東・東京地区、北信越・東海地区、近畿・大阪地区の担当者を、第2次チームに東北地区、中国・四国地区、第3次チームに北海道地区、九州地区と区分けされた。

#### ▼第1次チーム



##### 第1次チームの役割

- ・災害現場の被害状況を写真等で本部へ報告
- ・被災地域各県の会員の安否の確認 等

#### ▼第3次チーム



##### 第3次チームの役割

- ・第2次チームへ配送する衛生材料の収集
- ・派遣する応急処置部隊の集合 等

り、当方法での区分患者への重症度に応じた、症状等を色別記載のトリアージタグを使ったものであった。

今回のご講演は、前回のレビューに加え、災害時における救護員の心得として、普段連携しない他職種との連携と調整、平時よりも圧倒的に多い情報への対応の必要性等、自らが、可能な範囲内の現実的な対応について、ご講演いただいた。

更に、近藤Dr.には、今回の模擬訓練の総評もいただいた。近藤Dr.は総評の中で「今回DJATで行った情報伝達のIT化は、我が国において自衛隊しか実施していない最先端のもので、災害情報の収集には画期的な方法の一つであり、素晴らしいメソッドである」との好評をいただくとともに、DMATからDJATへの要望として「我われDMATは、黄色タグ以下（トリアージタグによる色別）の負傷者にまで十分な対応ができていないのが現状で、この部分をDJATが対応していただけないか」とのお話があった。

会議終了に際し、緊急対策室室長の豊嶋良一 総務部長は「私は4年前の災害の現場で、実際に災害対応の指揮をとらせていただいた。災害時は、本日の訓練の何十倍も緊迫した中で救護活動が実施される。きょうのようにスムーズに情報収集が行われるとは到底思えない。今後も、

DJAT組織を更に強化し、災害に備えて参りたい」と会議を締めくくった。



▲講演をする近藤Dr.

## 平成27年3月11日 DJAT 会議参加者

### 各地区災害担当推薦者

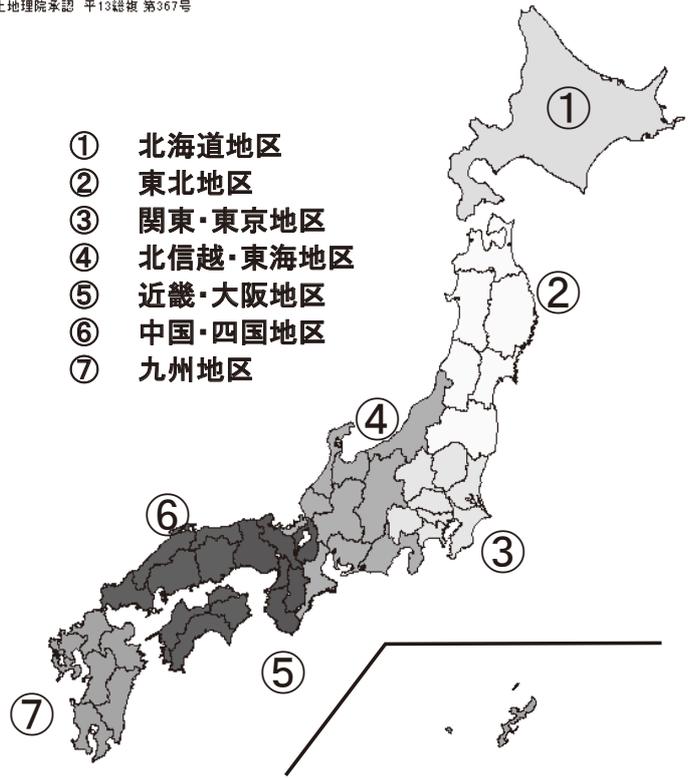
所属	役職	氏名	所属	役職	氏名	所属	役職	氏名
対策本部	本部長	工藤 鉄男	北海道地区 北海道	会員	塩見 猛	北海道	事務局長	鈴木 広幸
対策本部	副本部長	萩原 正和	東北地区 青森県	副会長	関 裕二郎	宮城県	理事 (事業部長)	松元 浩二
緊急対策室	室長	豊嶋 良一	関東地区 群馬県	常務理事 (学術部長)	原沢 研祐	山形県	理事 (総務部長)	嵐田 郁夫
緊急対策室	総務担当 理事	市川 善章	東京地区 東京都	理事 (経理部長)	森本賀津雄	静岡県	副会長	鈴木 努
緊急対策室	副室長	宮澤 清和	北信越地区 石川県	理事 (総務部長)	堂本 義邦	愛知県	理事 (事業部長)	小林 弘治
			東海地区 静岡県	会員	大川 宏和	三重県	常務理事 (総務部長)	服部 和人
			近畿地区 滋賀県	理事 (総務部長)	田中 清久	和歌山県	副会長	佐々木正美
			大阪地区 大阪府	事務局長	椿山 和弘	兵庫県	理事 (学術部長)	根来 信也 (代理:岩本芳照)
			中国地区 広島県	常務理事 (総務部長)	加藤 弘幸	愛媛県	理事	沖 秀和
			四国地区 広島県	理事 (医療救護部長)	麓 篤敬	熊本県	理事 (学術部長)	相馬 太志
			九州地区 佐賀県	理事 (学術部長)	隈本 圭吾			

▼各地区災害時チーム割り (図1)

地区別仮想災害チーム割り(案)

I.	①が被災した場合			
	1次チーム	①	②	
	2次チーム	③	④	
	3次チーム	⑤	⑥	⑦
II.	②が被災した場合			
	1次チーム	①	②	③
	2次チーム	④	⑤	
	3次チーム	⑥	⑦	
III.	③が被災した場合			
	1次チーム	②	③	④
	2次チーム	①	⑤	
	3次チーム	⑥	⑦	
IV.	④が被災した場合			
	1次チーム	③	④	⑤
	2次チーム	②	⑥	
	3次チーム	①	⑦	
V.	⑤が被災した場合			
	1次チーム	④	⑤	⑥
	2次チーム	③	⑦	
	3次チーム	①	②	
VI.	⑥が被災した場合			
	1次チーム	⑤	⑥	⑦
	2次チーム	③	④	
	3次チーム	①	②	
VII.	⑦が被災した場合			
	1次チーム	⑥	⑦	
	2次チーム	④	⑤	
	3次チーム	①	②	③

国土地理院承認 平13総復 第367号

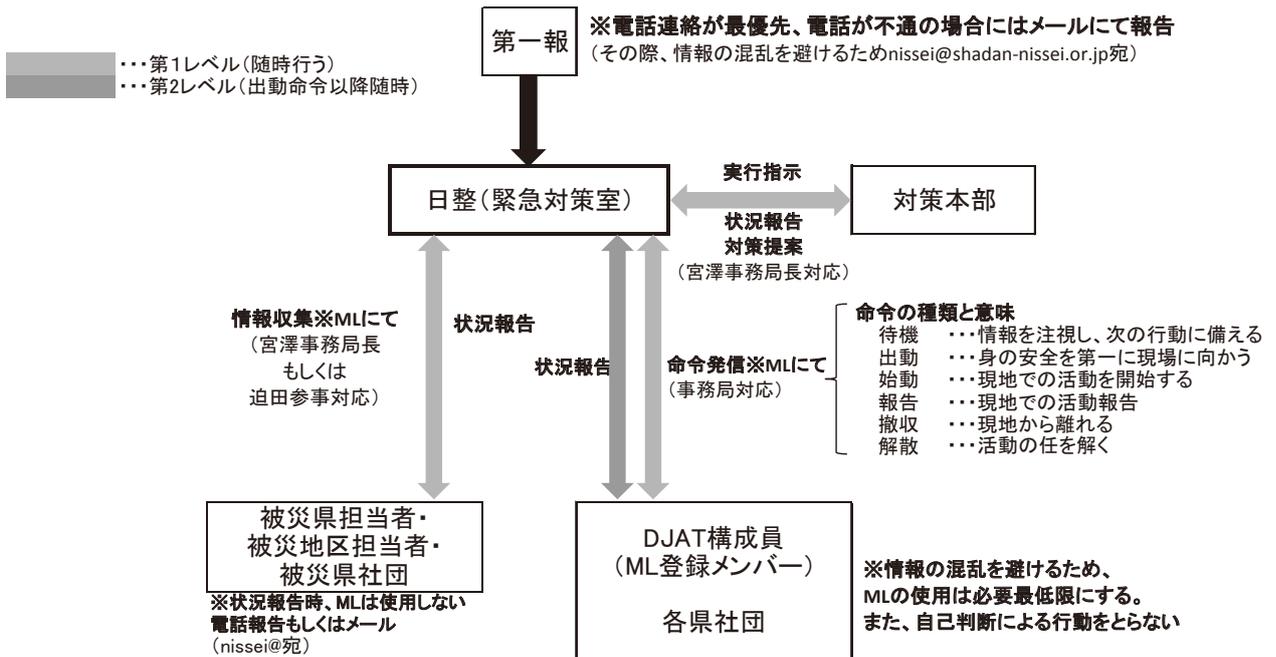


- ① 北海道地区
- ② 東北地区
- ③ 関東・東京地区
- ④ 北信越・東海地区
- ⑤ 近畿・大阪地区
- ⑥ 中国・四国地区
- ⑦ 九州地区

※1次チーム(被災地・被災地隣接チーム)、2次チーム(被災地近接後方支援チーム)、3次チーム(後方支援チーム)

▼災害時指示系統図 (図2)

平常時(9:00~18:00)連絡系統



柔整サロン

# 自分の決めたことを しっかりとやり通せる強い意志

優勝回数 日本女子：15回 2006年賞金王 大山 志保氏に聞く

聞き手 公益社団法人宮崎県柔道整復師会 副会長 大迫 勝博  
構成 公益社団法人宮崎県柔道整復師会IT部長 中馬 健

宮崎県出身の女子プロゴルファーで、賞金女王に輝き活躍中の大山志保選手。2006年に賞金女王に輝くも、2009年に肘の怪我をして戦線離脱。しかし、その後、肘の手術・リハビリを乗り越えて、見事、完全復活を成し遂げた。若いゴルファーが活躍する中、モチベーションを高めながら、それをどのように克服したのか知りたくなり、お忙しい中、今回のお話を伺った。

大迫副会長 本日は、お忙しい中お越しいただきありがとうございます。今回は、全国の柔道整復師の皆さんに読んでいただく機関誌の取材です。よろしくお願いいたします。

## ◇『きっかけ』は

大迫副会長 大山選手、本日はよろしくお願いいたします。まず、大山選手がゴルフを始

めたきっかけはどのようなことだったのでしょうか。

大山選手 小学校4年生のときにテレビドラマの『プロゴルファーれいこ』を見ていて、主演の安永愛さんがドラマの最後に笑顔で優勝カップを抱いている場面があって、私もプロゴルファーになりたいと思い、すぐに父に



▲左から 大迫副会長、大山選手、中馬 IT 部長



## 【プロフィール】

大山 志保 Shiho Oyama

### 基本情報

生年月日 1977年5月25日  
出身地 宮崎県宮崎市  
身長 168cm  
血液型 B型  
利き手 右  
経歴 日本大学中退  
プロ転向 2000年

### 成績

優勝回数 日本女子：15回（公式戦：2回）  
初優勝 ベルーナレディースカップゴルフトーナメント（2003年）  
賞金王 2006年  
賞金ランク最高位 日本女子：1位（2006年）  
2014年10月26日現在

### 優勝記録

2002年  
ヴァーナルカップ（ステップアップツアー）  
2003年  
ベルーナレディースカップゴルフトーナメント  
2005年  
マンシングウェアレディース東海クラシック  
LPGA ツアーチャンピオンシップリコーカップ（公式戦）  
2006年  
フジサンケイレディースクラシック  
サロンパスワールドレディースゴルフトーナメント  
クリスタルガイザーレディースゴルフトーナメント  
NEC 軽井沢72ゴルフトーナメント  
ヨネックスレディースゴルフトーナメント  
2007年  
ニチレイ PGM レディース  
明治チョコレートカップ  
2008年  
マスターズ GC レディース  
2011年  
マスターズ GC レディース  
2013年  
LPGA ツアーチャンピオンシップリコーカップ（公式戦）  
2014年  
ゴルフ5 レディースプロゴルフトーナメント  
マスターズ GC レディース

練習場に連れて行ってもらい、ゴルフを始めました。そのときからプロを目指すという気持ちがあったのかもしれませんが。

## ◇『向き合い方』は

**大迫副会長** 当時、ゴルフを始めてからの向き合い方はどうでしたか？

**大山選手** 小学校のころは、練習が楽しいとは思わなくて、やっぱり遊びの方が楽しくて、遊びに夢中だったと思います。熊本女子中央高校に入学し2年生のときに清元澄子先生と出会い、ゴルフに対する向き合い方が変わったと思います。そのときからとにかく練習をするようになったと思います。

## ◇『大切なこと』は

**大迫副会長** それではプロで活躍されている今、プロという世界を目指すときに大切なことは何だと思いますか。

**大山選手** 自分の中で、「プロになりたい」ではなく、「絶対プロになる!!」という強い意志がありました。「プロになって絶対優勝するんだ!!」という意志は凄く強かったです。

小学生、中学生時代は、そんなに一生懸命ではなかったんですが、高校2年生になり後輩もできて、チームをまとめていかなければならないという責任感も出てきて、後輩と一緒に団体戦も日本一になりたいという気持ちもあって、ゴルフに対しての気持ちが一段と強くなってきたんだと思います。

## ◇『プロとは』

**大迫副会長** 子供のころからの夢を見事に叶えられ、実際にプロとして活躍されている大山志保さんから見て、こういう人間がプロになるんだなあといったものはありますか？

**大山選手** 負けず嫌いで探求心が強く、練習にしても自分の意志でしっかりと動けて、自分の決めたことをしっかりとやり通せる強い意志を持った人間がプロになれるんだと思います。

## ◇『勝てる選手』

**大迫副会長** プロになり、たくさんの優勝を経験されている大山選手だからこそ思う、プロになって勝てる人間と勝てない人間の違いは何でしょうか？

**大山選手** 私の中では、自分への厳しさが一番大切だと思います。意志が強く、これと思ったらやり通す、目標を決めたら達成するまでやりきる意志の強さが大切だと思います。

**大迫副会長** 突然ですが、大山選手の座右の銘は何でしょうか？

**大山選手** 『継続は力なり』です。

## ◇『プロとして』

**大迫副会長** プロとして戦っていく中で大山選手が大切にしていることは何ですか？

**大山選手** やっぱり、人の倍練習し、毎日、毎日、コツコツと積み重ねることです。

## ◇『ターニングポイント』

**大迫副会長** これまでのゴルフ人生の中で、ここがターニングポイントだったと思えるようなことはありましたか？

**大山選手** 2009年10月に肘の手術をし、そのときは全く先が見えない状態で、ゴルフもできるかどうか分からない状態でした。2010年にリハビリを兼ねてオーストラリアに行き、そこでたくさんの方にサポートしていただき、プロゴルファーの大山志保としてではなく、一人の人間として見てもらえたことが凄く精神的な支えになりました。そして、とにかく結果にこだわらず、まずは、復帰することがサポートしてくれた方々への恩返しだと思い頑張りました。そこが自分の中でのターニングポイントだと思います。

**大迫副会長** 肘の手術をされ、練習ができないこ

とがあったと思いますが、そのときの克服方法とそのときにどういった治療をされたのかをよろしければ教えていただけないでしょうか？

**大山選手** とにかく、理学療法士の方と肘の関節可動域の訓練、そして、肩関節周囲の筋力増強訓練を一生懸命行いました。

## ◇『整骨院』

**大迫副会長** 因みに、整骨院はご存知ですか？

**大山選手** 肘を手術してからは行っていませんが、それまでは全国各地で整骨院に行っていました。一番最近では4、5年前、試合中に寝違えてしまって、プレーできない状態でしたので知り合いの方をお願いして、名古屋で整骨院に行かせていただきましたが、すぐに治りました。

## ◇『休日の過ごし方』

**大迫副会長** 休日はどのように過ごされているんですか？

**大山選手** ゴルフは全くしませんね。買い物をしたり、音楽を聴きながらドライブしているときはリフレッシュできますね。シーズン中でも試合が終わってホテルに帰ったら、すぐに買い物に行きますね。何かを買うというわけではないですけど、1時間でもいいので外に出て、ゴルフのことを忘れる時間を大切にしていますね。





#### ◇ 『メンタル』

**大迫副会長** これまで、いろんな挫折を乗り越えて来られ、また、緊迫した試合の中で戦って来られ、しかも、優勝という結果を出されるその精神力の強さは凄いものだと思いますが、何かメンタル面の強化方法はあるんですか？

**大山選手** 一番は、やっぱり家族の存在だと思います。家族の存在がなければ途中で止めていたかもしれないと思えるくらい、私にとって家族の存在というのがメンタル面での支えになっていると思いますし、とにかくいいプレーをして両親の喜んでくれる顔が見たいという気持ちが常にあります。そして、その次に目指すべき目標があるからだと思います。

#### ◇ 『今後は』

**大迫副会長** 最後に、これからのゴルフの目標、そして、人生の目標を教えてください。

**大山選手** これからのゴルフの目標は、2016年のリオデジャネイロオリンピックを目指して出場できるように頑張りたいと思います。

人生の目標として、ゴルフは生涯続けていきたいと思っています。ゴルフも強くなっていききたいですが、人としてもまだまだ足りないところがたくさんあると思いますので、成長し

ていけたらいいなと思っています。

**大迫副会長** 大山志保選手、今回は本当にお忙しい中、お時間を作っていただき、快く取材をお受けいただきまして誠にありがとうございました。

#### ◇ 『最後に』

**中馬** 大山志保選手は、とても笑顔が素敵な方で、私たちの質問に対しても本当に気持ちよく、そして、質問した以上のこともお話しくださり、凄く幸せな気持ちになれる取材を行うことができました。

今回の大山志保選手との取材を通しまして、本当に優しく、家族思いの方であり、そして、私たちの突然のお願いにも関わらず、一生懸命お答えくださるお姿に、人間的に魅力的な印象を強く持ちました。大山選手の今後、ますますのご活躍を期待しております。

ありがとうございました。

---

---

# JICA 草の根技術協力事業

## 日本伝統治療（柔道整復術）

### 指導者育成・普及プロジェクト活動報告

国際部 根來信也

---

---

平成27年3月1日から25日の日程で、モンゴル国ゴビアルタイ県ならびにモンゴル国立医療科学大学付属看護学校伝統的准医師コースへの講義活動と市民公開セミナー等を実施しました。

#### 【派遣メンバー】

本間 琢英（日本柔道整復師会 国際部）

金井 英樹（日本柔道整復師会 国際部）

根來 信也（日本柔道整復師会 国際部）

矢口 亜希（日本柔道整復師会 国際部）

横田 良介（宮城県柔道整復師会）

浪尾 敬一（香川県接骨師会）

山本裕太郎（宮崎県柔道整復師会）

指導者候補：エンフタイワン・トゥブシンバヤル  
オユンバートル・ダリンチュルン  
ダシュラウダン・ボロルトウーヤ  
バトムンク・アルタンエルデネ  
ムンフバートル・ボロルチメグ

#### 【ゴビアルタイ県講習会・市民公開セミナー】

JICA草の根技術協力事業（パートナー型）日本伝統治療（柔道整復術）指導者育成・普及プロジェクトとして、3月4日から7日までゴビアルタイ県の准医師、大医師を中心に、ゴビアルタイ県（25名）・オブス県（1名）・バヤンウルギー県（7名）、計33名で講習会を実施し、3月9日から13日までは、今までに我われの講習会に参加したことのある准医師18名に対してスキルアップ講習会を実施しました。

また、3月14日には、ゴビアルタイ県住民対象に外傷に対する応急処置の重要性についての公開セミナーを実施しました。

本プロジェクトは、モンゴル人指導者の育成も重要な活動であり、指導者候補に講義補助ではなく、講義を任せることにより、プロジェク

ト終了後、指導者候補のみで講習会開催ができるように指導法の習得を目的としました。

そのため、講義の前日のミーティングならびに筆記試験結果、当日の講義の振り返り、気付いた点を指導者候補とともにディスカッションすることにより、指導者候補の講義に対する指導方法の向上を目指しました。



▲モンゴル人指導者候補による講義

#### 【柔道整復術テキスト、ハンドブック配布】

昨年5月に完成した柔道整復術テキスト、ハンドブックをザブハン県・ドントゴビ県・ドルノゴビ県の各保健所へ各県の准医師に対しての配布を依頼しました。ドントゴビ県・ドルノゴビ県では、モンゴル国立医療科学大学付属看護学校と保健所ならびに准医師との連絡調整役と



▲ドントゴビ県保健所長（右）

しての普及員がサポートしてくれました。

### 【モンゴル国立医療科学大学付属看護学校での講習会】

3月17日から23日まで、モンゴル国立医療科学大学付属看護学校伝統的准医師クラス3年生33名に対して講習会を実施しました。

### 【普及員会議】

日 時：平成27年3月20日(金)15時～18時

場 所：モンゴル国立医療科学大学付属看護学校  
普及員が6名（ドルノト県、トゥブ県、セレンゲ県、ホブド県、アルハンガイ県、オルホン県）参加し、主に柔道整復術普及に関するデータ収集の方法について話し合いました。

### 【JICA一般公開セミナー】

日 時：平成27年3月21日(土・祝)14時～16時

場 所：モンゴル・日本人材開発センター1階  
多目的ホール

テーマ：膝の痛みについて

来 賓：在モンゴル国日本大使館 二等書記官  
黒木健太郎様

モンゴル国保健省保健政策実施調整局

医療サービス担当部長 ゼンドマン様

モンゴル国保健省保健政策実施調整局

医療サービス担当部 トンガタク様

JICAモンゴル事務所 所長

佐藤 睦様

JICAモンゴル事務所 所員

オユンツェツェグ様

参加者数は約300人で、カウンターパートか

らはモンゴル国の医療制度について講演し、当会からは柔道整復術について歴史とともに説明し、モンゴル人が抱えることが多い膝の痛みについて写真と動画を交えて説明しました。

### 【活動報告会】

日 時：平成27年3月24日(火)18時～21時

場 所：ラマダホテル4Fクリスタルルーム

活動報告会は、モンゴル国保健省保健開発局、カウンターパートであるモンゴル国立医療科学大学、付属看護学校、在モンゴル日本大使館、JICAモンゴル事務所など関係者23名が参加し、3週間の活動報告と報告会後半へのディスカッションのために現時点での課題点が示されました。

JICAモンゴル事務所、佐藤所長からはモンゴルのめざましい経済成長の一方で、その恩恵を受けられない人に対する協力が大切だとし、当会が行っている草の根レベルの活動を高く評価しております。またプロジェクト終盤に向かい、自立支援のためにはモンゴル側の今後のビジョンと努力が不可欠とし、必要があれば第2フェイズの案件に協力したいとのお言葉をいただきました。

会の後半、現時点でのプロジェクトの課題について開発局、大学関係者からの多数の意見が出され、今後の検討事項としてディスカッションがなされました。柔道整復術が永続的に普及するためには、医療制度に組み込まれることが重要であります。プロジェクト期間があと1年半となりましたが、継続して自立発展が行えるように双方の役割バランスを考え、協力して進めていきます。

# 広大な大地へのチャレンジ

～柔道整復師を誇りに思う～

公益社団法人宮崎県柔道整復師会 山本 裕太郎

JICA草の根技術協力事業パートナー型日本伝統治療（柔道整復術）指導者育成普及プロジェクトとして、約1ヶ月間のモンゴル派遣活動に参加した。

私がこのプロジェクトに参加したかった理由は二つあり、一つは自分が選んだ道、“柔道整復師”が世界でどのくらい必要とされているのかを知りたかったこと、二つ目は、昨年6月に本プロジェクトの日本研修受け入れの際、ポロルチメグ研修員の、非常に熱心な研修態度が印象的でモンゴル現地での、柔道整復術の普及に協力したいと思ったからである。

平成27年2月28日、モンゴルへ向かい宮崎県を発った。これからどんな出会いや学びがあるのかという“期待”、このプロジェクトで私はしっかりと役割を果たせるのかという“不安”を抱きながら出発した。その日は、関西国際空港近くのホテルに前泊し、派遣者の先生方と合流後、今回のモンゴルでの派遣活動のアドバイスやいろいろな話を聞くことができた。こんな素晴らしい先生方と1ヶ月間一緒に生活し、多くのことが学べると興奮してしまい、なかなか寝付けないうまま次の日を迎えることとなった。

仁川空港を經由しモンゴルのチンギスハーン空港に無事に到着。南国育ちの私には厳しい、顔や耳が痛くなるような寒さが出迎えてくれた。その夜は、トゥブシンバイル指導者候補、派遣員の先生方と羊や馬の肉を食べ、明日からの長距離移動のために英気を養った。羊の尻尾の何とも言えない口当たりがとても美味しかったのを覚えている。

そして2日かけ、ゴビアルタイ県へ向けてアルタンエルデネ指導者候補、ダリンチュレン指導者候補、ポロルチメグ指導者候補も合流し、

1,200kmの道のりが始まった。ウランバートルを過ぎると、すぐに日本では見られない、広大な大地が広がっていた。360°平地が広がり遠くにうっすらと山が見え、そこに1本アスファルトの道がまっすぐ伸びていた。羊、山羊、牛、馬が放牧され、開放感のあるこの大地に私も包み込まれ、自然と肩の力がスッと抜けるのが分かった。ゴビアルタイ県までの道中一度も寝ずに景色を目に焼き付けた。

ゴビアルタイ県に到着し、モンゴル国立医療科学大学ゴビアルタイ分校にて講義が始まった。1週目はバグ医師クラス33名に対し、包帯法、鎖骨骨折、上腕骨顆上骨折、足関節果部骨折の講義を行った。本プロジェクトの目標は、“モンゴル国内における柔道整復術の指導・普及がモンゴル人のみにより可能となる状態になる”であり、今後、柔道整復術の普及の中核を担っていく指導者候補生を中心とし講義を進めていった。講義の内容としては現地で頻繁に発生する外傷疾患を取り上げて1日一疾患行い、実技をメインに講義を進めていき、臨床場面に適応できる講義だと感じた。私はポロルチメグ指導者候補と足関節果部骨折を担当したが、通訳を介して講義をすることは大変難しく、また伝える工夫が足りなかったため、講義を進めていくことに大変苦渋した。それから毎日、ポロルチメグ指導者候補と講義の準備を行い、また他の先生方から多くのアドバイスをいただいた。模型や道具を多く使い、目でイメージしてもらう方が受講生の理解力を促せるのではないかと実感した。

2週目はスキルアップ講習会（以前に講義を受けたことがある人が対象）、包帯法、肋骨骨折、上腕骨外科頸骨折、下腿骨骨幹部骨折、足関節

果部骨折の講義が行われた。実際に前回の講習会で習った柔道整復術で患者さんを治療した受講生もあり、私たちが日本で行っている柔道整復術が世界に広がり、また必要とされていることに対して、鳥肌が立つくらい非常に嬉しく感じた。それと同時に柔道整復術に対して心から“誇り”を持つこともできたのも事実であり、この柔道整復師を志してよかったと胸を張って言えるようになった。

また、ゴビアルタイ県では、女性の日（男性が女性をおもてなしをする日）やデールの日（モンゴルの民族衣装を着る日）その国の文化に触れることができ、貴重な体験ができた。

再びウランバートルへ戻りボロルトゥーヤ指導者候補と合流、3週目はモンゴル国立医療科学大学付属看護学校にて伝統的バグ医師クラス33名に対し、肋骨骨折、肘関節脱臼、下腿骨骨幹部骨折、足関節果部骨折の講義を行った。学生たちが非常に熱心に柔道整復術を学んでいる姿は今でも目に焼き付いている。実技試験のときに一人の女性が整復前に気合を入れるため、手に唾を吹きかけ、上体を低くし戦闘態勢に入る仕草をした。一生懸命やろう！という気持ちが伝わり、非常に嬉しく感じた。閉講式の際に、学生の一人が講義のお礼にと“母親を想う歌”を歌ってくれた。自然と涙が出るような、優しい歌だった。モンゴルの人たちは、家やゲルの

生活で一つの空間の中に家族皆で生活することで、会話も増え、家族との触れ合いが多くあり、親が子を想い、子が親を想う心が豊かに育つのだと感じた。私自身もこれから親になる身として、モンゴルの人たちのように心豊かに子供を育て、温かい家庭を築いていきたいと思った。

今回のモンゴル派遣では、現地の方々から、柔道整復術を必要とする声が多く聞かれ非常に嬉しく感じた。またモンゴルの指導者候補生5名がモンゴル国民のために必死に柔道整復術を学んでいる姿が印象的で、その必死な眼差しには私も凄く刺激を受けた。“困っている人たちの力になりたい”、私が最初に柔道整復師を志した気持ちを思い出させてくれた。私も指導者側として参加させていただいたが、逆に多くのことを学んだ1カ月だったと思う。“柔道整復師”として、骨折、脱臼の知識、整復、固定の技術、また柔道整復師としての“誇り”を。“人”として、広大な大地、モンゴルの人たちから“生き方”を学ばせていただいた。次回は今回の経験を生かし、しっかりと準備をしてモンゴルの人たちのために柔道整復術を伝えていきたいと思った。

最後に今回一緒に参加させていただいた日本の先生方、モンゴルの指導者候補生、またモンゴルで関わったすべての人たちに出会えたことの感謝の意を表しこの文を終わらせていただく。



▲モンゴル国立医療科学大学付属看護学校で（筆者は前列右端）

# 会務執行状況

(2月～3月)

## 日 整 関 係

### 平成26年 2 月

日付	曜日	会 議 等	出 席 者
2	月	赤門鍼灸柔整専門学校：業界説明会	萩原、豊嶋、櫻田
3	火	国際部部会	
4	水	部長連絡会議	
5	木	ベトナム国来賓	
6	金	大川学園医療福祉専門学校：業界説明会	大河原、渡辺一民
7	土	東京都新年賀詞交歓会	工藤、木山、萩原、豊嶋
10	火	広報部会 北海道メディカル・スポーツ専門学校：業界説明会	萩原、加藤
12	木	帝京科学大学：業界説明会	清水、大澤
		新潟柔整専門学校：業界説明会	大橋、渡辺雅人
		九州医療専門学校：業界説明会	松岡、富永
14	土	JIMTEF 災害医療アドバンスコース	
19	木	経理部会	
21	土	松岡保先生「藍綬褒章」受章祝賀会	
23	月	総務部会	
		優等卒業生選考委員会	
24	火	選挙管理委員会	
		名古屋医専：業界説明会	森川、長谷川
25	水	理事会	
27	金	保険部会	

### 平成26年 3 月

日付	曜日	会 議 等	出 席 者
1	日	呉竹医療専門学校：業界説明会 モンゴル国講師派遣～25日	渡辺寛、根岸
2	月	河原医療福祉専門学校：業界説明会	浜野、高橋
		今村学園ライセンスアカデミー：業界説明会	橋口、福迫
		了徳寺学園医療専門学校：業界説明会	橋本、春原、辰野、深井
3	火	中央医療学園専門学校：業界説明会	伊藤、新井、森本
		関西健康科学専門学校：業界説明会	岩本
		盛岡医療福祉専門学校：業界説明会	萩原、及川
		帝京大学宇都宮キャンパス：業界説明会	片岡、江原
		了徳寺大学：業界説明会	高橋
		関西健康科学専門学校：業界説明会	入江
4	水	北豊島医療専門学校：業界説明会	辰野、深井
		専門学校 中央医療健康大学校：業界説明会	小澤、太田
5	木	朝日医療専門学校広島校：卒業式	山崎
		赤門鍼灸柔整専門学校：卒業式	櫻田
		部長連絡会議	
6	金	関東柔道整復専門学校：業界説明会	橋本、森本
		関東柔道整復専門学校：業界説明会	春原、深井
		四国医療専門学校：卒業式	石原
		中和医療専門学校：卒業式	森川
		専門学校浜松医療学院：卒業式	永田
6	金	日本健康医療専門学校：卒業式	三橋
		兵庫柔整専門学校：業界説明会	岩本、入江
		福島医療専門学校：業界説明会	遠藤、大河内

日付	曜日	会議等	出席者
7	土	仙台接骨医療専門学校：卒業式	櫻田
		専門学校白寿医療学院：卒業式	鈴木
		九州医療専門学校：卒業式	富永
		福島医療専門学校：卒業式	遠藤
		朝日医療専門学校岡山校：卒業式	富岡
		琉球リハビリテーション学院：卒業式	上原
		信州医療福祉専門学校：卒業式	内山
		日本柔道整復専門学校：卒業式	工藤
		大阪行岡医療専門学校長柄校：卒業式	川口
		関西医療学園専門学校：卒業式	原
		北海道柔道整復専門学校：卒業式	萩原
		米田柔整専門学校：卒業式	森川
		北信越柔整専門学校：卒業式	木山
		大阪府柔道整復師会専門学校：卒業式	安田
沖縄統合医療専門学校：卒業式	平良		
8	日	第37回関東学術大会神奈川大会	
		甲賀健康医療専門学校：卒業式	杉尾
		大分県フォローアップ講習会	三橋
9	月	福岡医療専門学校：卒業式	松岡
		仙台医療専門学校：卒業式	三橋
10	火	前橋東洋医学専門学校：卒業式	大藤
11	水	履正社医療スポーツ専門学校：卒業式	安田
		呉竹医療専門学校：卒業式	渡辺
		DJAT 全体会議	
12	木	東日本大震災四周年追悼式	工藤
		呉竹鍼灸柔整専門学校：卒業式	和田
		明治東洋医学院専門学校：卒業式	安田
		了徳寺学園医療専門学校：卒業式	伊藤
		横浜医療専門学校：業界説明会	牧野、荻谷
13	金	明治国際医療大学：卒業式	萩原隆
		トライデントスポーツ医療看護専門学校：卒業式	森川
		東京有明医療大学：卒業式	工藤
		日体柔整専門学校：卒業式	新井
		河原医療福祉専門学校：卒業式	浜野
		東京医療専門学校：卒業式	伊藤
		東京柔道整復専門学校：卒業式	三橋
		帝京短期大学：謝恩会	工藤
14	土	北豊島医療専門学校：卒業式	伊藤
		新潟柔整専門学校：卒業式	金子
		常葉大学浜松キャンパス：卒業式	水野
		京都仏眼医療専門学校：卒業式	栗原
		兵庫柔整専門学校：卒業式	東
		大阪保険講演会	工藤、豊嶋、三橋
15	日	保険部会	
		京都医療専門学校：卒業式	長尾
16	月	齊藤仁先生お別れの会	豊嶋
		臨床福祉専門学校：卒業式	橋本
17	火	盛岡医療福祉専門学校：卒業式	及川
		新宿鍼灸柔整専門学校：卒業式	豊嶋
		大川学園医療福祉専門学校：卒業式	渡辺寛
18	水	中央医療学園専門学校：卒業式	伊藤
		日本工学院八王子専門学校：業界説明会	森本、深井
		北海道メディカルスポーツ専門学校：卒業式	加藤
19	木	日本医学柔整鍼灸専門学校：卒業式	豊嶋
20	金	東海医療科学専門学校：卒業式	森川
22	日	IGL 医療福祉専門学校：卒業式	山崎
		理事会	
24	火	全国都道府県会長会	
		育英メディカル専門学校：卒業式	木暮
25	水	経理部会	
26	木	東洋医療専門学校：卒業式	安田
		総務部会	
		保険部会	

※出席者の名前と役職を列記します

- 工藤……………工藤日整会長
- 木山……………木山日整副会長
- 萩原……………萩原日整副会長
- 豊嶋……………豊嶋日整総務部長
- 三橋……………三橋日整保険部長
- 松岡……………松岡日整学術部長
- 永田……………永田日整広報部長
- 萩原隆……………萩原日整国際部長
- 原……………原日整理事
- 富永……………富永日整理事
- 内山……………内山日整監事
- 加藤……………加藤北海道副会長
- 及川……………及川岩手県会長
- 櫻田……………櫻田宮城県会長
- 遠藤……………遠藤福島県会長
- 大河内……………大河内福島県副会長
- 片岡……………片岡栃木県副会長
- 江原……………江原栃木県理事
- 大藤……………大藤群馬県会長
- 木暮……………木暮群馬県副会長
- 渡辺寛……………渡辺埼玉県会長
- 大河原……………大河原埼玉県副会長
- 渡辺一民……………渡辺埼玉県常務理事
- 根岸……………根岸埼玉県理事
- 高橋……………高橋千葉県副会長
- 和田……………和田神奈川県会長
- 牧野……………牧野神奈川県副会長
- 荻谷……………荻谷神奈川県理事
- 清水……………清水山梨県会長
- 大澤……………大澤山梨県理事
- 橋本……………橋本東京都副会長
- 伊藤……………伊藤東京都副会長
- 春原……………春原東京都理事
- 森本……………森本東京都理事
- 新井……………新井東京都理事
- 辰野……………辰野東京都理事
- 深井……………深井東京都理事
- 金子……………金子新潟県副会長
- 大橋……………大橋新潟県理事
- 渡辺雅人……………渡辺新潟県理事
- 鈴木……………鈴木静岡県副会長
- 小澤……………小澤静岡県副会長
- 水野……………水野静岡県理事
- 太田……………太田静岡県理事
- 森川……………森川愛知県会長
- 長谷川……………長谷川愛知県副会長
- 杉尾……………杉尾滋賀県副会長
- 栗原……………栗原京都府名誉会長
- 長尾……………長尾京都府副会長
- 東……………東兵庫副会長
- 岩本……………岩本兵庫理事
- 入江……………入江兵庫理事
- 安田……………安田大阪府会長
- 川口……………川口大阪府副会長
- 富岡……………富岡岡山県会長
- 山崎……………山崎広島県会長
- 石原……………石原香川県会長
- 浜野……………浜野愛媛県会長
- 高橋……………高橋愛媛県理事
- 橋口……………橋口鹿児島副会長
- 福迫……………福迫鹿児島理事
- 平良……………平良沖縄県会長
- 上原……………上原沖縄県副会長

## 周年記念式典の開催日

都道府県	式典名称	開催日・会場
(公社)石川県柔道整復師会	社団法人設立40周年記念式典	11月29日(日) ホテル金沢
(公社)富山県柔道整復師会	社団法人設立55周年記念式典	12月20日(日) ホテルグランテラス富山

## 平成27年度日整主催学術大会一覧

	担当都道府県	学会名称	開催予定日
北海道	(公社)北海道柔道整復師会	公益社団法人日本柔道整復師会 第44回北海道学術大会 札幌大会	7月5日(日)
東北	(公社)青森県柔道整復師会	公益社団法人日本柔道整復師会 第36回東北学術大会 青森大会	7月19日(日)
関東	(公社)栃木県柔道整復師会	公益社団法人日本柔道整復師会 第38回関東学術大会 栃木大会	平成28年 3月13日(日)
東京	(公社)東京都柔道整復師会	公益社団法人日本柔道整復師会 第34回東京学術大会	9月6日(日)
北信越	(公社)富山県柔道整復師会	公益社団法人日本柔道整復師会 第37回北信越学術大会 富山大会	6月20日(土) 6月21日(日)
東海	(公社)愛知県柔道整復師会	公益社団法人日本柔道整復師会 第50回東海学術大会 愛知大会	12月6日(日)
近畿	(公社)京都府柔道整復師会	公益社団法人日本柔道整復師会 第40回近畿学術大会 京都大会	9月27日(日)
大阪	(公社)大阪府柔道整復師会	公益社団法人日本柔道整復師会 第9回大阪学術大会	8月23日(日)
中国	(公社)広島県柔道整復師会	公益社団法人日本柔道整復師会 第40回中国学術大会 広島大会	6月14日(日)
四国	(公社)愛媛県接骨師会	公益社団法人日本柔道整復師会 第50回四国学術大会 愛媛大会	8月29日(土) 8月30日(日)
九州	(公社)沖縄県柔道整復師会	公益社団法人日本柔道整復師会 第44回九州学術大会 沖縄大会	7月11日(土)

### 日本柔道整復師会のアンチエイジング講座

## 日本柔道整復師会のアンチエイジング講座がHPでご覧になれます。

平成26年3月28日から、自分らしく人生を仕上げる終活情報サイト「産経デジタル終活WEBソナエ」のアクティブライフのページに「日本柔道整復師会のアンチエイジング講座」の連載が始まりました。約3週間に一度更新されます。ぜひご覧ください。

日整ホームページ (<http://www.shadan-nissei.or.jp/>) にアクセスし、「広報関連」→「アンチエイジング講座」をクリックすることで今まで掲載された記事が表示されご覧いただけます。

# 第42回日整親善ゴルフ大会 開催のご案内



主管 公益社団法人宮城県柔道整復師会会長 櫻田 裕

## 【ゴルフ大会について】

〈開催日〉平成27年9月13日(日)

〈ゴルフ場名〉松島チサンカントリークラブ

日本三景松島を背景に詩情豊かな、松・杉に囲まれ歴史を感じさせる風情と戦略性を兼ね備えた、趣の異なるホールです。会員の皆様には東北最大54ホールズの豊かな自然の中で開放感溢れるプレーをご堪能ください。

〈ゴルフ場住所〉〒981-0214 宮城県宮城郡松島町桜渡戸字上境田43

TEL : 022-354-2241 FAX : 022-354-2243

〈アクセス〉〈車の場合〉 東北自動車道・大和ICから16km、25分  
三陸自動車道(利府街道沿)・松島海岸ICから5分  
仙台空港から40分

〈電車の場合〉 JR東北本線 JR松島駅からタクシー15分  
仙石線 松島海岸駅からタクシー5分

## 【実施要領・競技内容】

1. 日時 平成27年9月13日(日)

2. コース 松島チサンカントリークラブ(松島・仙台コース)

3. 競技方法 18ホール・ストロークプレー(新ペリア方式)

ティーマーク：一般の部(ホワイト)、シニアの部(ゴールド)、レディースの部(レッド)

4. スタート時間

松島コース(OUT・IN) 7:00スタート

仙台コース(OUT・IN) 7:00スタート

## 【実施要領】

1. 日 時 平成27年9月13日(日)
2. コース 松島チサンカントリークラブ (松島・仙台コース)
3. 競技方法 18ホール・ストロークプレー(新ペリア方式)  
ティーマーク：一般の部 (ホワイト)、シニアの部 (ゴールド)、レディースの部 (レッド)
4. 表 彰 1) 団体戦 各都道府県別上位4名のトータル成績 (ネット)  
2) 個人戦 ネットの部、グロスの部、シニアの部 (70歳以上)、レディースの部  
ドラコン賞、ニアピン賞、飛び賞等
5. 集合時間 スタート30分前までに受付をしてください。
6. 夕食会 平成27年9月12日(土)午後6時から  
『ホテル松島大観荘』  
〒981-0213 宮城県宮城郡松島町松島字犬田10-76 TEL：022-354-2161
7. 会 費 1) 参加費 10,000円  
2) 宿泊費 10,000円  
3) 夕食会費 10,000円  
4) プレー費 18,230円  
(グリーンフィ、キャディフィ、カートフィ、昼食代、パーティー代、諸経費、諸税込み)  
\* 3バグの場合、キャディフィお一人様648円の追加料金を頂戴いたします。  
\* 昼食1,000円分付 メニューより差額は各自ご負担ください。  
\* プレー費・宿泊費・朝食代は各自ご清算ください。
8. 申込先 公益社団法人 宮城県柔道整復師会  
〒980-0011 仙台市青葉区上杉2-9-8  
TEL：022-262-9181 FAX：022-262-4181 E-mail:mjs @ mjs.or.jp
9. 振込先 

振込銀行：七十七銀行 県庁支店 口座番号：9084258 口座名義：公益社団法人 宮城県柔道整復師会 会長 櫻田 裕
--
10. お願い お申込み、ご送金は各都道府県にて一括でお願いいたします。  
ご協力の程よろしくお願いいたします。
11. 締切日 **平成27年7月15日(水)(定員200名)**
12. その他 参加申込をいただいた方には、2週間前ごろにスタート表などのご案内をお送りいたします。
13. 問合せ先 公益社団法人 宮城県柔道整復師会 会長 櫻田 裕  
TEL：022-262-9181 FAX：022-262-4181

# 申込書

(この頁をコピーしてご使用ください)

ご記入の上、FAX 022-262-4181、またはE-mail:mjs@mjs.or.jpまでお送りください。

代表者	氏名	フリガナ	都道府県名
	住所		
ご連絡先	TEL		FAX

※書類等の送付・ご連絡等は原則として代表者様宛てにさせていただきます。

☆ご参加者名

氏名	性別	生年月日	H・C	宿泊	交通	夕食会	同組希望
フリガナ				する・しない	電車・車	<input type="checkbox"/> 参加	
フリガナ				する・しない	電車・車	<input type="checkbox"/> 参加	
フリガナ				する・しない	電車・車	<input type="checkbox"/> 参加	
フリガナ				する・しない	電車・車	<input type="checkbox"/> 参加	
フリガナ				する・しない	電車・車	<input type="checkbox"/> 参加	
フリガナ				する・しない	電車・車	<input type="checkbox"/> 参加	
フリガナ				する・しない	電車・車	<input type="checkbox"/> 参加	

※H・Cがご不明な方は平均スコアをご記入ください。

※夕食会にご参加される方は□に✓の印を付けてください。

※宿泊・交通についてはいずれかに○を付けてください。

1) 夕食会費                      料金                      @                      ¥10,000 ×                      名様

2) 参加費                              料金                              @                              ¥10,000 ×                              名様

計                      ¥

(申込・問合せ先)

公益社団法人宮城県柔道整復師会

〒980-0011 仙台市青葉区上杉二丁目9番8号

TEL 022-262-9181 FAX 022-262-4181 E-mail:mjs@mjs.or.jp

担当:事務局 舟山

# チンギスハーンの国

国際部 本間 琢英

## 女性の日

3月8日は国際婦人デーです。日本ではあまり知られていませんが、モンゴルでは地方でもウランバートルでもこの日を盛大に祝います。

2～3日前から職場の仲間や同級生が集まり、レストランやカラオケボックスでパーティーが開かれます。皆華やかに着飾り、ゲームや歌で大いに盛り上がります。基本的に参加者は女性だけなのですが、その中に男性が何人かいて、食事を運んだり、音楽の準備をしたりと、とても忙しそうに動いています。

最近では以前に比べイケメンの若い男性がこの役をしているような気がします。きっと人気者がその役に指名されるのでしょう。一方、各家庭ではこの期間、男性が家事や子供の世話をします。そして、妻や母親、職場の同僚に一輪の赤いバラを「Happy Women's day!!」の言葉を添えプレゼントするのが習慣だそうです。確かにこの期間、街中にはプレゼントされた赤いバラを持った女性の姿があちこちで見受けられます。

モンゴルの人たちは歌とダンスが大好きでとても上手です。どんなパーティーでも歌とダンスは欠かせません。特に女性の日、女同士で遠慮がないのかその盛り上がり方が違います。老いも若きも激しいダンスと一緒に踊ります。ただ、このときのダンスは女性同士で踊るしかなく、その光景は日本人には少し異様に映りますが、モンゴルの人たちにとってはごく普通のことのようにです。そういえば街中でも女性同士で腕を組んで歩く姿をよく見かけます。時には女性3人で腕を組み歩いている人もいます。さすがに男性同士で腕



を組んで歩いている姿は見たことがありませんが、初めて見るヨーロッパやアメリカの人はびっくりしています。

レストランであるパーティーに出くわしたときのことで。賑やかな歌やダンスの途中、突然全員が手を繋ぎ輪をつくり歌いだしました。よく見ると、ほとんどの人が歌いながら泣いているのです。次第にあちこちから嗚咽が漏れてきます。その歌は「お母さんの歌」だと通訳が教えてくれました。自分の母親を思い出し涙が出たのか、また母としての自分を思い涙が出たのか定かではありませんが、この光景を見て、モンゴルの社会にとって「女性の日」は年に一度のかけがえのない日であることがよく分かりました。

モンゴルでは、伝統的な歌に限らず今の流行歌にも、草原や大地などの自然を称える歌とともに、母親に思いを馳せる歌が数多くあります。男の私には少し寂しい感じもしますが、厳しい自然環境のなか、長い社会主義時代を通し、家族のためだけではなく、国造りにも女性が大きな役割を果たしてきたことを、社会全体が認め、感謝しているからこそ、女性の日はモンゴルでこのように盛大に祝われるのではないかと思います。

## バイガル先生

バイガル先生はモンゴル国立医療科学大学附属看護学校外科学の女性教授で我われの担当です。堂々とした体格に派手な服装がよく似合います。真っ赤なコートをなびかせながらハイヒールで颯爽と闊歩する姿はいやがおうでも人目を引きまします。性格も非常に積極的で、お酒も強い。一旦誘われれば断ることはできず、帰りは必ず次の日になります。

カザフ族の多いバヤンウィルギー県に行ったとき、カタールから来たというイスラム教の布教団と同じホテルになりました。気真面目そうな20人くらいの髭の集団でしたが、近寄りたいたい雰囲気もあり我われから特に話し掛けることはありませんでした。ただ一つどうしても気になって仕方がないことがありました。それは彼らがホテルの厨房で作る料理です。食材の制限があるのか彼らは3食自分たちで作っていました。すでに羊料理に飽きていた私たちの鼻粘膜を彼らが作る料理のスパイシーな香がとてつもなく刺激するのです。

「バイガル先生、何とかならない？」と聞く私たちに「絶対無理です」ときっぱり答えるバイガル先生。「やっぱりそうだよ、さすがのバイガル先生でも無理だよ」と諦める私たち。しかし、その言葉がバイガル先生の心に火を付けたようです。数日後みんなの前でバイガル先生は得意そうに「皆さん今夜はカタール料理です」と言うではありませんか。後で分かったのですが、この数日間バイガル先生は布教団の一番偉い怖そうな顔をした人と交渉し続け、ついにご馳走になる約束を取り付けたのです。もちろんバイガル先生はアラビア語を話せません。どうやって交渉したのか聞いても笑っているだけで教えてくれません。とにもかくにも先生の積極性のおかげで私たちは望みどおりスパイスの効いたカタール料理を食べることができたので



した。

このように男勝りなバイガル先生もご主人の前では急に女性らしく可愛くなってしまいます。ご主人が指を骨折し私が整復をしたときのことです。ホテルの部屋にバイガル先生も一緒に来てご主人の側から離れようとしません。そして私に繰り返して「痛くしないでください」というのです。そして「私は医者ですから整復の前に麻酔を打ってもいいですか」と聞いてきます。「麻酔などいらなくてすよ」という私に「でもきっと痛がりますから打たせてください」と余りにも何度も言うので仕方なく許可すると、バックの中から注射器を取り出しご主人の指に何ヶ所も麻酔の注射を打ちながら「あなたこれで痛くないですよ」ととても優しい顔で言うのでした。整復はあっという間に終わり固定終了後も、バイガル先生は「痛くない？大丈夫？」と少し涙を浮かべながら何度もご主人に聞いていました。「心の優しい女性らしい人なんだな」と横で見ていると感心しました。帰り際、私からご主人に「本当に痛くなかった？」と聞くと、急に私の耳元に来て小声で「本当は妻の注射が一番痛かった」と片目を閉じながらバイガル先生に聞こえないように言うではありませんか。可笑しくなったのと同時に、本当にいい夫婦だなあと思い、急に日本に帰りたいたい気持ちになったことを思い出します。

本の紹介

# 情動と記憶 —しくみとはたらき—

学術部 酒井 重数

著者の小野武年先生は、1938年英領マレー半島ケランタン州コタバル市のお生まれです。1964年鹿児島大学医学部卒業後、金沢大学医学部生理学教室、1977年から富山医科薬科大学医学部生理学教授、同大医学部長を経て、2004年から富山医科薬科大学学長を歴任されております。

現在、富山大学大学院特任教授として、(公社)日本柔道整復師会が出資する富山大学大学院柔道整復(神経・整復)学講座の最高顧問として精力的にご活躍なさっております。

小野教授の40年以上にわたる研究により「人間とは何か」という命題について脳科学の立場から語れるようになりました。小野教授は、人間を育て個性を獲得していくために不可欠な情動や記憶のメカニズムにおける大脳辺縁系の働きに関して世界的な業績を挙げられており、これら情動はヒトにも動物にも共通で、コンピューターや機械にはない喜怒哀楽の感情と密接に関係し、人間では最も重要な将来の予測、意思決定、目標設定とその実践、更には思考や創造といった知性の根源として関与していることを初めてシステムティックに解明なさいました。

小野教授は、特に1973年から、サルやラットに実際に報酬性(有益)、嫌悪性(危険)および生物学的に無意味な物体または音を呈示して、脳内におけるニューロンのインパルス放電頻度の変化(応答性)を測定する実験システムを開発し、世界初の独創的な実験法を確立されました。この実験システムは従来の脳科学分野で用いられていた電気刺激や図形呈示などによる刺激と異なり、生物学的に意味のある物体や音を呈示可能とした刺激装置であり、本実験システムを用いて、喜怒哀楽とその度合を符号化する生物学的価値評価ニューロンを発見するなど、情動の脳内メカニズムを行動・ニューロン・分子レベルで解明するための糸口となる先駆的な業績を挙げておられます。

これらに加えて小野教授は、動物が自己運転により広い実験室内を自由に移動できる一種の動物用自動車を作製し、思い出[どこで(場所)、どの方向で

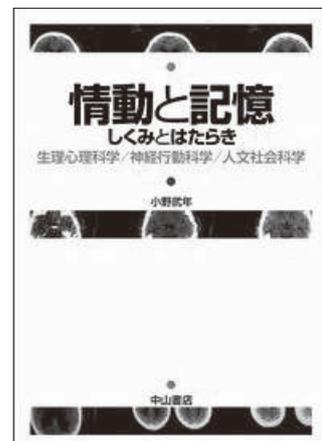
(空間)、誰が何をしたか、あるいは何が起こったか(出来事・エピソード)]の記憶を担うニューロンが存在することなども明らかにされています。

小野教授の研究から、人間の「心」は知・情・意からなるといわれておりますが、知・情・意は互いに並列ではなく、階層化され相互に関連し、主として大脳辺縁系が情と意の発現に関与し、前頭葉がそれを受け入れて知が働くことが示唆されました。すなわち、脳では情(喜怒哀楽の感情:情動)がマスター(主人)として複雑な社会を生き抜いていくのに不可欠ですが、情動は複雑多様で客観的な測定が難しく、脳科学の対象にすることは、不可能とさえいわれていました。

小野教授の研究成果から人間の「心」について初めて科学的解明を行う研究フィールドが構築され、古来、哲学者や科学者が挑み、解を求めた人間の「脳と心」の問題を科学の対象とする時代の幕を開けたといっても過言ではありません。

現在、富山大学柔整学講座では小野教授の研究を引き継ぎ、高齢社会における骨や関節、筋肉等に起因する運動器系の疼痛の中でも、特に急性、亜急性損傷が繰り返し発生し長期間の施術が必要であり、完治が難しい、いわゆる運動器系難治性疼痛の大きな要因として人間の「心」、「情動」が関与していることを突き止め、運動器系疼痛と情動との関連性から保存療法、即ち柔道整復術の有用性、有効性を追求するとともに、より治療効果の高い柔道整復術を提唱できるよう研究を行っております。

著者：小野武年  
発行所：中山書店  
B5判370頁  
定価：本体8,000円＋税





## 剣豪武蔵のあしあとを辿る

公益社団法人熊本県柔道整復師会 かず まさたか  
— **雅貴**

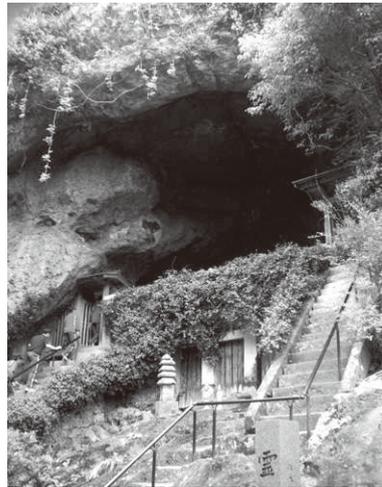
熊本の観光地と言えば熊本城や阿蘇山が定番ですが、今回は剣豪宮本武蔵ゆかりの地をご紹介します。武蔵は肥後藩主細川忠利公に客分として招かれて晩年を熊本で過ごしており、ゆかりの地が複数あります。

今回ご紹介するスポットは「五輪書(ごりんのしょ：地・水・火・風・空になぞらえて5部に分け、兵法の奥義を述べた書)」を著した場所として知られている霊巖洞です。霊巖洞は熊本城から10km

ほど西に位置する金峰山の西麓にある小さな洞窟です。熊本市内中心部からカーブの多い山道を車で登っていくと雲巖禅寺という寺があり、徒歩で境内を抜けて小道を進むと霊巖洞があります。静かな場所で何もない所です。平成の現代ですら何もない山の中、武蔵が来たときはどんな様子だったのでしょうか…霊巖洞を目の前にして立つと、なぜ熊本城内の屋敷でなく、このような山の中で武蔵は著したのだろうかと思議に感じずにはいられませんでした。

霊巖洞では、毎年命日になると武蔵が編み出した兵法「二天一流」の演武が奉納されます。二刀の刃先を相手に向けつつ詰め寄る際には、相手を威嚇するための低い掛け声「ズーッ」、斬るときの掛け声「ターンッ」、斬られてもお反撃の動きを見せる相手にとどめを刺すときの「ヘッター！」(絶対が訛ったもの)という掛け声が山あいには響きます。

武蔵が霊巖洞に籠もり「五輪書」を書き始めたのは寛永20年(1643)の秋といわれており、その僅か2年後の正保2年(1645)5月19日、武蔵は病に伏し、熊本城内の屋



霊巖洞



武蔵塚の武蔵像

敷で62歳の生涯を閉じています。その死後も藩主を見守りたいという遺言から、参勤交代の行列が通る熊本市北区の天津街道沿いに墓が建てられ、そこが現在の武蔵塚公園となっています。武蔵の遺体は本人の希望で甲冑に身を固め立ったまま埋葬されたと伝えられています。

武蔵が残した「万理一空」という言葉があります。全ての事柄が一つの目的に繋がっているとの意味にも用いられています。

6万人を超えた柔道整復師。業界には受領委任払い制度、業権、他にも課題は山積んでいます。柔道整復師の数だけ多様な考え方があられるかもしれません。中には己の利を最優先に発言し行動する者もいるでしょう。しかし、その言動の根幹は「国民のため」でなければ、どのような理屈を並べたとしても、国民にはそっぽを向かれてしまいます。我われ日整は国民の利(健康)のために行動する必要があります。全ての発言や行動が、唯一の目的である「国民のため」と一貫していること。それこそが我われ柔道整復師の「万理一空」と考えます。

私の夢

## 「思いを形にできる仕事」

福岡天神医療リハビリ専門学校

柔道整復科2年 夜間部

前野 祐介



私は柔道整復師の専門学校に入学するまでは介護の仕事に従事していました。それで介護の仕事を始めるときから思っていることがあります。それは「手の届く範囲の全ての人の力になりたい」ということです。介護業務に従事していく中で、痛みで困っている方に対してもっと何かできるのではないかという思いが強くなりました。現在の身体状況でできることを維持するというところより、身体機能そのものを自らの手で良い方向へ導きたい。この思いを形にできる資格が私にとっては柔道整復師でした。もともと、私は介護施設で働くつもりはなく、柔道整復師という存在さえ知りませんでした。そんな人間がなぜこの道を選んだのか。理由は二つあります。

一つは、義理の弟が柔道整復師だったことです。彼の父が整骨院を経営しており、二代目として整骨院を継ぐために医療に関してはもちろん、経営に関しても深く勉強をしていました。あるとき、整骨院に併設して通所介護施設を造ることにになり、そこで働かないか、と声を掛けてもらいました。機能訓練をメインに捉えた短時間の通所介護サービス。当初は医療分野も介護分野も自分の人生の選択肢にありませんでしたが、話を聞くにつれ惹かれていきました。それが介護施設で働くき

っかけでした。そこで働きながら柔道整復師の役割を知り、日に日に柔道整復師という仕事が自分の憧れとなりました。もう一つは祖母の存在です。私はいわゆるおばあちゃん子で、子供のころ、祖母の肩たたきをして喜んでくれることが凄く嬉しかったのです。人が喜んでくれることを自分ができるということが嬉しかった、という子供のころの記憶が柔道整復師の方を見ているうちに思い起こされました。祖母は年を重ね、膝が悪くなり、思うように歩けなくなっていました。私は介護施設で働き始めたことで、柔道整復師にいろいろ指示を仰ぎながら医療を学び始めました。医療を深く学ぶことで祖母も喜ばせることができるのではないかと。そう考えるようになっていきました。

それが柔道整復師を目指す二つ目の理由です。間近で柔道整復師の仕事を見てみると、とても魅力的に感じました。まず、整骨院の業務範囲内と業務範囲外を分けて次に痛みの原因となるものを見分ける。そして患者様にとって最良の施術方針を患者様とともに決定し、行っていく。この一連の業務がとても魅力的に映りました。私の勤務する整骨院は整形外科と提携しており、整骨院での業務範囲外の疾病や疑わしいものは見落とさず病院に紹介できるように努めており、医接連携

をすることでより多くの人の力になれると信じています。私は通所介護施設開設時、当時のホームヘルパーの資格だけを持って仕事を始めました。疾患の知識もありませんでした。現場で柔道整復師に確認しながら、一つずつ学びました。通所介護施設といっても、食事を提供するわけでもなく、入浴させるわけでもありません。トレーニングマシンを使った運動指導、機能訓練を行う介護予防特化型の施設です。さまざまな疾病を抱えた利用者の、自立した生活を維持するために支援しています。医療と介護がとても近くにある施設だけに、いつも不安がいっぱいでした。自分の知識の無さ、無力さに心が折れそうになったこともありました。

私は通所介護施設に勤務して6年後、ついに柔道整復師を目指せる専門学校の夜間部への入学が叶いました。専門学校に入学して得たものは、知識や技術はもちろんのこと、尊敬できる先生と仲間との出会いです。体系的にまとめられた学問としての柔道整復学は最高に刺激的に感じました。また、実務経験豊富な先生方の実技の授業は、今後の業務に強い責任感と医療人としての自覚を感じさせてくれます。夜間部で、同じときに同じ目標に向かう、年齢も経験もさまざまな仲間との出会いにも恵まれました。互いに励まし合い、たまに同じ時期に入学して出会えたことは一生の宝です。それから師と仰ぐことのできる先生との出会いがありました。柔道整復師としての立ち振る舞いや話し方、生き方を学ぶことができました。「手の届く範囲の全ての人の力になりたい」この思いを形にできる柔道整復師となり、いつかは私が同じ道を歩む後輩の道標になりたいと思います。

日整フォーラム

# Nissei Forum

国民のため、地域住民のため、患者さんのため公益活動をしてまいります

## 北海道

### 第29回卒後教育講演会 「見逃しやすい整形外科疾患」

医療法人溪仁会 手稲溪仁会病院  
整形外科主任医長 蔡 栄浩先生

はじめに、医療訴訟増加の要因・件数の推移では、横浜市立大学患者取り違え手術、都立広尾病院消毒薬注射事故などにより医療不信へ、それにより医療安全委員会によるリスクマネジメントが開始されるも大野病院事故・癒着胎盤剥離中死亡により医師が逮捕、その後産婦人科医の減少がおこり医療崩壊へと至った経緯を説明されました。

続いて整形外科分野の医療訴訟では判例・症例を基に詳しく説明されました。

#### 判例1・治療院受診、循環障害を起こし切断

柔道整復師による骨折整復・縛り過ぎに起因する循環障害ではなく、骨折時の外力などによる動脈栓塞に起因。しかし、柔道整復師の治療範囲を超えているので回復不可能を予見して専門医受診を指示する義務があるとして有責。症例では外傷に伴った血管損傷例を挙げ「阻血の



ゴールデンタイムは6時間である」と述べられました。

#### 判例2・柔道整復師が腰椎圧迫骨折を見逃し

原告から歩行困難・四肢麻痺・記憶力低下などの障害を腰椎圧迫骨折の見逃しによる注意義務違反と主張されるが、障害は高血圧による脳血管障害によるものと判断され無責。「見逃しは恨みを買う」と述べられました。

#### 判例3・接骨院にて頸椎矯正後後遺症

原告に施した回転頸椎矯正法により発生せしめたもので、後遺症は労災補償保険法に基づく身体障害等級表の12級12号※「局部に頑固な神経障害を残すもの」に該当するものとして有責。

#### 判例4・カイロプラクティック後筋拘縮

#### 判例5・カイロプラクティック後の尿閉

ともに有責。

#### 判例6・入院中の患者の受傷事故の責任は病院側にあるとされた事例

脳出血による片麻痺でリハビリを目的で入院中に転倒し大腿骨頸部骨折。他人事ではないとして、施設内で患者が転倒すると、その管理責任を問われる。「入院中の骨折は訴訟をされると有責になる可能性がある」と述べられました。

#### 判例7・整形外科で上肢骨折の手術後にフォルクマン拘縮の徴候が現れたのを見逃し手に障害が遺残し有責

フォルクマン拘縮については当院における治療・経過をスライドにて詳しく説明されました。

続いて外傷に伴うPTSD（外傷後ストレス障害）についての判例について説明されました。

#### 判例8・交通事故でPTSDに罹患したとして損害賠償が認められた事例

運転中後方からの追突により頭部・頸部打撲の障害を負う。症状は好転せずPTSDと診断さ

れ労災の神経・精神関連の後遺症の等級における7級4号※（軽易な労務以外の労務に服することができないもの）に相当するとして有責。交通事故被害者がPTSDと診断され、この診断は米国精神医学会発行のDSM-IV（精神障害の分類と診断の手引き）の基準により後遺症と認定。

PTSDは交通事故がきっかけとなるものが多く、日本では心的外傷後ストレス障害といい、一般的にはトラウマと呼ばれることの多い障害であり、①情緒不安定、不眠症や神経過敏などの過覚醒症状、②PTSDの原因やそれを想起させる事物を極端に避ける、③唐突に当時の恐怖体験を思い出すフラッシュバックの3症状に該当し、これらが1ヶ月以上続いている場合はPTSDとして診断されると説明されました。

**判例9・交通事故の被害者のPTSDの罹患を認めず、更に性格傾向や人格が影響しているとして減額を加えた事例**

さまざまな精神身体症状について心療内科医が下し認められたPTSDの診断を否定し、その後遺症を7級4号から9級10号※（服することのできる労務が相当な程度に制限されるもの）へ変更し、更に3割を減額することになった珍しい判決。

**判例10・整形外科医が手根管症候群の治療において内視鏡手術で神経損傷、CRPSタイプⅡを発症した事例**

内視鏡下で横手根靭帯を切断する際に総掌側指神経を切断、その後縫合。それが元でCRPS（複合性局所疼痛症候群）を発症、手技上の過失、CRPSの必要な検査および適切な治療を怠った過失があるとして損害賠償責任を認めた。

CRPSとは複合性局所疼痛症候群といわれ、交感神経の過剰な活性化に関わっていると考えられる神経原性疼痛の代表的疾患であり、感覚神経の損傷および骨・筋肉組織損傷、内臓疾患、中枢神経損傷後に発症するとされるが、明らかな先行した損傷がなくとも発症することがあり、最も多発する部位は手である。更にCRPSの具体例として足関節捻挫を挙げ、CRPSの発症メカニズム・早期診断の重要性・特徴などについて詳しく説明されました。

まとめとして「今回は外傷に関連した訴訟例を中心に整形外科関連疾患をいくつか挙げてみ

ました。診断がつかない症例、経過の悪い症例は早期に整形外科医師にご相談いただけましたら幸いです」と述べられ講演を終えられました。

最後に加藤隆北整副会長のお礼の言葉で有意義な講演会が終了しました。

（広報員 高山訓正）

---

## 茨 城

---

### 特別公開講座

### 「成長期のスポーツ障害と予防」

ースポーツ外傷・障害を予防するためのトレーニングー

茨城県では、平成27年2月15日（日）、つくば市竹園のつくば国際会議場で、特別公開講座「成長期のスポーツ障害と予防」ースポーツ外傷・障害を予防するためのトレーニングー（後援：茨城県教育委員会、公益財団法人茨城県体育協会、つくば市）を開催しました。

これは、スポーツ競技選手が競技力向上をするためのベーストレーニング、スポーツ外傷・障害を予防するための正しいトレーニングやコンディショニングをスポーツ指導者やアスリートに学んでもらおうと開かれたものです。講師は、アスレティックトレーナーとしてさまざまなプロスポーツ選手、オリンピック選手のコンディショニングを行いアスリートから高い信頼を得ている筑波大学体育系の白木仁教授が務めました。参加した200人のスポーツ指導者、アスリートたちは熱心にメモを取るなどして受講しました。

講演に先立ち、市川会長は「近年、スポーツ開始時期の低年齢化によりスポーツ障害に悩んでいる子供たちが増えているといわれています。



▲熱のこもった講演をする白木教授



▲受講したスポーツ指導者、アスリート

本日はスポーツトレーナーとして経験豊富な白木教授をお迎えして、身体の故障をさせないトレーニング方法や予防についてアドバイスをいただきたいと思います。具体例なども挙げてお話ししていただけたらと思いますので、皆さんが正しいトレーニング法を学び、今後に役立てていただければ幸いです。本日の講演が有意義なものになることを期待します」と挨拶されました。

また、来賓の岡田久司つくば副市長より「県内三大マラソンのつくばマラソン大会では、救護班として公益社団法人茨城県柔道接骨師会の会員の皆様には大変お世話になり感謝をしています。これからも地域医療の担い手としてのご活躍を祈念します」と講習会の成功と本会会員の活躍に期待を寄せられました。

白木教授は、幼児期から高校生までの成長期における筋肉や骨の発達、それに伴うスポーツ障害が発症する事例などを解説。幼児期のトレーニング、小学生低学年、小学生高学年、中学生、高校生などの年代に合わせたトレーニング指導法や留意点などを具体的な例を示しながら詳しく説明していただきました。

更に、スキルトレーニング（発達障害に効果がある）とフィジカルトレーニング（肉体力の維持・強化や健康保持などを目的としたもの）の連携による、スポーツ外傷、障害の防止に役立つトレーニング方法なども紹介していただき充実した内容となりました。

まとめとして白木教授は、少年少女に対して「スポーツでケガをしないためには、①しっかりご飯を食べること、②よく眠ること、③トレーニングをきちんと行うこと、④練習後は、ストレッチとアイシングを行う、⑤寝る前には、ストレッチング、⑥きちんと勉強すること、⑦

いろんなスポーツをしよう」とさまざまな運動に親しみ、その中から自分の体力や興味のある競技に進むのが適切な道であるとアドバイスをされました。指導者に対しては「子どもたちがスポーツを楽しめるような土壌づくりに努め、スポーツを楽しめるように育ててほしい」と呼び掛けました。

最後に質疑応答があり、受講者からは日ごろのスポーツ現場での体験を踏まえた鋭い質問があり、白木教授から丁寧な回答をいただきました。

（広報員 荒井健吉）

## 群馬

### 県接骨師赤十字奉仕団 日本赤十字社から金色有功章

平成26年11月19日（水）、日本赤十字社の活動に社資貢献した個人・団体に贈呈される「金色有功章」を県接骨師赤十字奉仕団が受賞した。

群馬県内の柔道整復師で結成された県接骨師赤十字奉仕団は平成12年に日本赤十字社（以下、日赤）の特殊奉仕団として認定され、同18年に本会の会員全員を登録（平成26年4月現在では486名）。平成22年には緊急出動隊を結成し、災害時に日赤群馬県支部救護班とともに活動できるよう体制を整えている。

新潟県中越沖地震、東日本大震災においては日赤からの要望どおりの人数を派遣、柔道整復師の団体としては全国で初めて救護活動に従事した。

平常時は県内各地で開催される災害救護訓練



や講習会に参加し、災害医療における会員の資質向上を図っている。また、緊急時の連絡方法として緊急連絡用の無線も設置し、周波数を合わせて医師や看護師、救急救命士等の医療チームや他のボランティア団体との連携強化にも努めている。

発足以来14年間、積極的な奉仕活動が続けており、今後も災害に対する新たな体制の確保に向け準備を進めている。

## 公開講演会 頭部外傷 —脳震盪を中心に—

平成27年2月8日(日)、26年度の第2回生涯学習講習会を県農協ビルで開催した。

講師に、独立行政法人国立病院機構・高崎総合医療センター脳神経外科部長の笹口先生を迎え「頭部外傷 —脳震盪を中心に—」の演題で講演していただいた。同学習講習会は毎年一般公開している。以下はその要旨。

### 頭の解剖

頭蓋骨から脳実質にかけて、骨・硬膜・くも膜・脳軟膜がある。骨と硬膜の間の動脈が切れると硬膜外血腫。硬膜の下で出血すると硬膜下血腫。くも膜と脳軟膜の間で出血するとくも膜下出血となる。

脳と静脈洞の間の架橋静脈が切れると急性硬膜下血腫になる。若年者は組織に余裕がないため切れることがある。

### 外力の伝わり方は3つ

#### 頭部外傷の発生機序

##### 1. 頭部に対する衝撃

頭部外傷にはこれが最も関与する。外力が頭部に直接当たる。



##### 2. 衝撃的荷重

直接物は当たらないが、急に体が傾いたり、止まったりすることで頭、頸部に過度の屈曲伸展が掛かり受ける力

##### 3. 静力学的荷重状態

外力がゆっくりと頭に掛かっている状態

#### 脳実質が受ける損傷

##### ☆頭蓋骨変形による損傷

陥没骨折など。骨折がない場合でも頭蓋骨がたわむとその直下で脳損傷が生じる。

##### ☆加速度による損傷

並進加速度損傷と回転加速度損傷

##### ・並進加速度損傷

衝撃により頭部が直線的に加速

並進加速度のみで脳損傷はほぼありえない。

##### ・回転加速度損傷

脳の部位により力の大きさ、方向が異なるため脳の変形をきたしやすい。脳のいたるところで圧縮、伸展を生じるため脳の広範囲に歪みが生じ、脳に損傷を生じ、広範囲の脳損傷の原因となりうる。

回転を伴った衝撃では頭蓋内での脳の変異も大きくなり、前頭蓋底や中頭蓋底での脳損傷が生じやすくなる。

##### ☆脳の変形と圧較差による損傷

頭部に加速度が加わる→頭蓋骨は動き出しやすく止まりやすい。脳は、動き出しにくく、止まりにくい。

例：前頭部を転落などで打つと前頭部の骨は急に止まるが、脳はすぐに止まらず、そのまま骨にぶつかり、損傷される。後頭部では骨は止まるが、脳は前頭方向に動き続けるため、後頭骨と脳の間陰圧を生じ、脳が損傷される。

#### 頭部外傷の分類 (病態による)

1 頭蓋骨損傷 1) 線状骨折 2) 陥没骨折

2 局所損傷 1) 硬膜外血腫 2) 硬膜下血腫  
3) 脳挫傷 4) 脳内血腫

##### 3 びまん性脳損傷

1) 軽度脳震盪 2) 古典的脳震盪  
3) 遷延性昏睡 (びまん性軸索損傷; DAI)

頭部外傷直後から意識障害などの症状があるが、画像ではそれを説明できるような脳挫傷、頭蓋内出血など見られない状態がびまん性脳損

傷。画像には出ないが、脳の神経連絡が損傷している状態。

#### 1) 軽度脳震盪

意識消失はないが、一過性神経学的障害をみる

#### 2) 古典的脳震盪

6時間以内の一過性意識障害を伴う

#### 3) 遷延性昏睡

(びまん性軸索損傷；DAI)

#### ①軽症DAI 昏睡6から24時間

長期ないし慢性の神経学的または認知障害

#### ②中等症DAI 昏睡24時間以上

脳幹機能障害なし

#### ③重症DAI 昏睡24時間以上

脳幹機能障害あり(大脳、脳幹のびまん性軸索損傷)

びまん性軸索損傷とは、受傷機転としては交通外傷に多く、転倒例に少ない→回転加速が発生している外傷例に生じる可能性がある。最初から意識障害が強い。その本体は受傷時に生じるびまん性の神経線維断裂。

### スポーツ外傷について

スポーツによる頭部外傷の特徴は、回転加速度によることが多い。しかも交通事故などよりも軽い加速度である。

スポーツ外傷では、回転加速度が原因である、びまん性脳損傷の軽症例の脳震盪と回転により架橋静脈が損傷されることによる急性硬膜下血腫が多い。

### 脳震盪の診断

頭痛、めまい、耳鳴り、嘔気、嘔吐、視覚異常、記憶力低下などがあれば脳震盪である可能性が高いとされている。

意識消失がなくても脳震盪である可能性が高いということは非常に重要

競技や練習中に頭部を打撲したときの判断の手助けになるものに、Pocket SCAT2があるので、ネットで確認や入手を希望する。

### 脳震盪への対応、競技復帰について

- ・脳震盪と診断されれば当日の競技、練習は禁止。
- ・症状が継続されているうちは脳の回復がなされていないと判断、安静を指示。
- ・24時間以上、安静にして症状がなければ、段

階を追って 競技の復帰を図るよう指示。

### 競技復帰への行程

- ①活動なし
- ②軽い有酸素運動（歩行、水泳、自転車等）
- ③スポーツに関連した運動（ランニング）
- ④接触のない運動、訓練
- ⑤接触を伴う運動
- ⑥競技復帰

これらを24時間ごとに進め、症状が出たら安静にし、①に戻る。最終段階の前にメディカルチェックを受けるようにいわれている。

脳震盪を繰り返すと、脳震盪後症候群として頭痛やめまい記憶障害、認知機能障害などが指摘されている。

### 意識障害評価のスケール

・Japan coma scale (JCS)

I 刺激しないでも覚醒している状態

(一桁で表現) 1・2・3

II 刺激をすると覚醒する状態

(二桁で表現) 10・20・30

III 刺激をしても覚醒しない状態

(三桁で表現) 100・200・300

1, 30もしくはI-1, II-30などという

・Glasgow coma scale (GCS)

覚醒反応、言語反応、運動反応を評価者の主観が入らないように定義。

・開眼機能 4段階 (E)

・言語機能 5段階 (V)

・運動機能 6段階 (M)

・検査の繰り返しにより評価が変動する場合は、最良のものを採用。

E3V4M5、または13点、15点と表記

### 脳損傷の重症度

一般に受傷時のGCS13から15、JCS3から0が、軽症頭部外傷と定義。

軽症頭部外傷で頭蓋内病変を合併する危険因子には、外傷後健忘の持続や激しい頭痛、嘔吐など11項目ある。

けがの現場での判断では危険因子があったり、反応の異常があれば要注意となる（検査を勧める）。

(広報員 永井 毅)

# 千葉

## 平成26年度災害応急救護訓練

大規模災害時に、地域住民の生命と財産を守るべく、本会が千葉県と結んだ災害医療活動に関する協定に基づき、当該活動を的確に行えるよう、本会防災対策委員を対象に平成27年1月18日(日)本会会館において標記の訓練が行われた。

### 岡本会長の挨拶

加藤彦一郎防災対策委員の司会進行、高橋副会長の開会の辞で会は始まり、岡本会長は挨拶の中で「奇しくも、昨日が阪神淡路大震災からちょうど20年となった日で、また東日本大震災以降、台風・竜巻・集中豪雨・火山噴火等、自然災害が多発している日本列島において、医療の一端を担う我われ柔道整復師も、地域貢献に対するより一層の救護のスキルアップを図るため、本日の訓練で応急救護の実際をしっかりと習得していただきたい」と話された。

### 倉本防災対策委員長の説明

続いて倉本防災対策委員長より以下の訓練内容説明があった後、本日の訓練が行われた。

#### ◎テーマ

大地震等の災害における派遣要請に備えての体制づくりと、派遣先での応急手当等の訓練を行い、災害医療救護体制に万全を期することを目的とする。また今回の訓練では、千葉県からの要請手順の確認とともに、本会の体制と任務内容等について確認する。

#### ◎訓練想定

本日午後1時15分に房総沖でM8.2の地震が発生した。

被害状況は、館山市・鴨川市・勝浦市等で8mの津波に襲われて、甚大な被害が発生した



▲倉本防災対策委員長



#### ▲訓練

模様、その他市原市、船橋市などでも多くの負傷者が出た。

直ちに千葉県は災害医療対策本部を設置し、協力医療団体に対して派遣体制準備要請と、救護本部設置報告書（設置場所・連絡先電話等）を通知する。

本会は防災対策本部長（会長）の指示により、防災対策委員理事を招集して災害対策本部を設置し、情報収集・管理・分析・伝達および被災会員の安否確認、被災住民の救護対策ならびに、被災現場への医療救護派遣体制を整える。

#### ◎応急救護訓練

(1) 一次トリアージ・応急手当および処置等の必要事項をトリアージタグに記載する訓練を行った。

応急処置については、実際の災害現場ではシーネ等の固定材料入手は困難であることから、板切れ・タオル・雑誌・ペットボトル・レジ袋など、日常生活で身近にあるものを利用して行った。

(2) 今回は3ヶ所の模擬救護所を想定、3名を一組として負傷者・救護者を交代で、負傷者の情報カードに従い、応急手当および処置等の必要事項を記載するトリアージおよび応急手当訓練を行った。

#### 閉会の辞

最後に木村副会長は「実際の大規模災害現場でも医療人として貢献できるよう、更なる研鑽を重ねることを希望します」との閉会の辞で訓練は終了した。

## 平成26年度保険業務講習会

平成27年2月1日(日)、標記の講習会が本会会館において行われた。

古山保険部副部長の司会進行、高橋副会長の開会の辞の後、会長挨拶の中で岡本会長は「我が国の財政状況の厳しい中、我われの施術療養費もご他聞に漏れず審査の厳しさが加速しているが、公益社団の会員である自覚を持って本日の講習をしっかりと学び、日常の適切な保険請求業務に生かしていただきたい」と話された。

### 第Ⅰ部 保険部員による講習

続いて神崎保険部長が「最近の返戻の傾向」と題して挨拶された後、各担当保険部員による調査研究が詳細に報告された。

◎初検料の算定について 古山副部長

◎損害保険（自賠責保険）の柔道整復師施術費用に関する支払基準について 今井部員

◎一部負担金について（領収書・多部位） 藤井部員

◎長期施術（頻回）継続理由について 高橋部員

◎子供医療とスポーツ振興センター・その他について 白土部員

◎返戻されないための施術録・申請書の作成方法 照沼部員

以上担当部員それぞれが、多忙な業務の合間を利用し調査研究された素晴らしい内容の講習が行われた。続いて高橋副会長が、しっかりと勉強し発表されたそれぞれ担当の保険部員に対するねぎらいの講評があった。



▲神崎保険部長

### 第Ⅱ部 「申請書作成上の留意事項について」

千葉県国民健康保険団体連合会  
業務課主任主事 大野洋介氏



▲国保連 大野講師

柔道整復師施術療養費審査支払の流れから始まり、各保険別申請書および取り下げ依頼書、付箋紹介、事務返戻理由、過誤調整依頼書、審査返戻、および各送付票についての解説の後、他団体および個人請求者と社団との審査員返戻件数相違を過去のデータ（たとえば直近の26年12月の審査員返戻割合は社団14%に対し社団外86%）を提示し社団外の返戻率の実態を話された。

最後に木村副会長より、休日にもかかわらず講習いただいた千葉県国民健康保険団体連合会大野氏に対するお礼の言葉があり講習会は終了した。

## 県民公開講演会

平成27年2月11日（水・祝）、本会が公益法人としての地域貢献の一環として、広く県民の皆様にも門戸を開き、毎年行っている標記の講演会を開催。

今年度は日本テレビ「世界一受けたい授業」や、テレビ東京「主治医が見つかる診療所」などでおなじみの、神戸常磐大学教授医学博士の柳本有二先生をお招きして、千葉市の京葉銀行文化プラザにおいて、定員400名の会場がほぼ満席の中、行われました。

### 岡本会長の挨拶

上井生涯教育委員の司会進行、高橋副会長の開会の辞で始まり、岡本会長は「去年は時ならぬ大雪で、交通機関にも影響し市民の皆様が参加したくても来られず、寂しい講演会でしたが、今年は好天に恵まれ多数参加していただき誠にありがとうございます。私も本日の柳本先生のお話を生かし、皆様と共に100歳まで現役で頑



▲聴講者も参加して…

張りたいと思います。

また、健康福祉の面で何かご相談がありましたら、私ども公益社団法人会員の接骨院・整骨院へ何なりとお気軽にご相談ください」と挨拶しました。

続いて高橋精一生涯学習委員長より講師紹介がありました。

#### 講演

#### 「100歳になっても歩ける体力を付けるコツ」

神戸常磐大学教授 柳本有二先生

健康とは？

健康とは、肉体的にも精神的にもそして社会的にも、全てが満たされた状態を言います、科学的根拠は別にして、すなわち健やかに生活を楽めることができる状態と言えるでしょう。

肉体的な健康の一つを述べますと、体の癖が無意識のうちに習慣化され、体が固まってしまう、それが「ゆがみ」となっています。100歳になっても歩けるようにするためには、体の姿勢、状態のバランスを整えておくことが大事です。

癖というのは長い時間、同じ環境にいるときに起こりやすいものです。

たとえば学校で席替えをするのもその理由で、



▲柳本先生を囲んで

同じ環境での癖がつかないようにするためです。  
ノルディックウォーキングの効果

それを予防改善する高齢者向けのトレーニング方法として、ノルディックウォーキングが効果的です。

この運動は両手にポールを持つので歩行時には3点支持、4足歩行となるので、身体の90%を活用する全身運動となり、消費カロリーはアップし、両足にかかる負担は大きく軽減でき、体感的には楽に感じるのがノルディックウォーキングの最大の特徴です。

高齢者や、衰えた筋肉を向上させるリハビリでの活用、病床から離床される際の安全確保や転倒予防に、あらゆる場面での活用が考えられます。

そしてお持ちいただいたストックを使って、実際にノルディックウォーキングのデモンストレーションをしていただきました。

先生は更に、65歳時点での一週間のトータル歩数が、13年後の認知症リスクの低さに比例するデータなど、歩くことの必要性、歩行しながらの単純な計算、身体で嬉しさを表現することが若さを保つ秘訣等、心も身体も元気で過ごせるすべを、さまざまな視点からのノウハウをお話していただきました。

質疑応答タイムでは、一般聴講者から、種々の運動器疾患がある場合の運動方法についてなど、具体的な質問がなされ、本日の講演内容に対する関心の高さがうかがわれました。

#### 閉会の辞

「本日の柳本先生の講演を早速実践すれば、私も健やかに長生きできるような気がしてきました！」との木村副会長のユーモアあふれる閉会の辞で、和やかなうちに講演会は終了しました。

(広報員 渡辺 勇)

---

---

## 神奈川

---

---

### 第37回関東学術大会神奈川大会

平成27年3月7日(土)・8日(日)の両日、横浜港に面した「みなとみらい」地区パシフィコ横浜国際会議センターにて標記大会が開催されました。

7日(土)は会議センター隣接のインターコン



▲パシフィコ横浜国際会議センター

チネンタルホテル6Fにおいて夕刻から工藤鉄男日整会長を始めとする日整役員の方々および、関東ブロック会の各県役員ならびに発表者、座長をお迎えいたしました。そして開催県である本県実行委員も勢揃い。粛々と開会式が挙行されました。

翌8日(日)は開会式を前日に行いましたので、木山時雨日整副会長の開始のご挨拶をいただき、黒岩裕治神奈川県知事のお祝いと歓迎の言葉、水野知親神奈川県労働局長には祝辞を賜り、1,104名の聴講者が待ちわびる中、特別講演「手外科領域の外傷と疾患」を聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院の笹益男整形外科教授の熱のこもった講演をしていただきました。続いて日整国際部の活動報告、昼休みを利用しての介護保険関連講習会を行い、午後の部として工藤鉄男日整会長による「柔整業界の過去・現在・未来」と題して基調講演を頂戴した後に各県会員発表へと続きました。

第1発表 茨城県 柳田隆泰会員  
「外傷性膝関節症への  
L I P U S 治療の有効性」

第2発表 群馬県 森下 敬会員  
「肋骨骨折の水治療法による  
早期治癒への一考察」

第3発表 千葉県 青木孝悦会員  
「簡易足底板によるMP関節痛治療」

第4発表 埼玉県 田口敦史会員  
「子どもロコモ」

第5発表 栃木県 高橋秀典会員  
「高齢者における  
スミス骨折の施術報告」

第6発表 山梨県 水口利也会員  
「高齢者の運動療法について」

第7発表 神奈川県 松為信夫会員  
「胸鎖関節微脱臼の診察方法と  
診断の仕方、鎖骨の分回し修復法」  
閉会式では工藤日整会長より発表者一人ひとりに、労いの言葉と記念の盾が手渡されました。閉会の辞は、若林共榮栃木県会長が「30万人都市、宇都宮は横浜に比べると地味ですが、世界遺産日光を始めとして観光地はたくさんございます。皆様のご来県をお待ちしております」と次年度開催県として準備を行う旨のお言葉で本学会の幕は閉じられました。

## 横浜マラソン2015

横浜初の市民参加型マラソン大会「横浜マラソン2015」が平成27年3月15日(日)に開催され、ケア・コンディショニングサービスのボランティアとして本県から20名が参加した。「横浜マラソン2015」はフルマラソン、10km、車椅子10km、車椅子2kmの4つのコースがあり、約2万3,430人のランナーが赤レンガ倉庫や横浜スタジアム、山下公園など横浜の名所を駆け抜ける、今回が記念すべき第一回目の大会であった。

曇天の下、スタート地点となった横浜駅近くのみなとみらい大橋はランナーで埋め尽くされ、8時30分林文子横浜市長の号砲でスタート。フルマラソンは横浜市中心卸売市場南部市場を折り返し地点に、後半は首都高速湾岸線からの眺望も楽しみつつ起伏の激しいコースを走破した。18ヶ所の給水所では地元企業の協力で横浜の特産品が提供され、約6,000人のボランティアが各所でサポートした。我われは前週に行われた関東学術大会の会場でもあったパシフィコ横浜



▲MM地区を走破

に待機し、帰ってきたランナーたちの痛みのケアを行った。帰還したランナーたちは足を引きずるなど身体は疲労しながらも、ほとんどが満足感に満ちた清々しい笑顔を見せ、ケアする会員との会話もはずんでいるように見えた。

午後3時半に終了。今回残った課題を持ち帰り、また来年の大会ボランティアに備えたい。  
(広報員 白鳥輝夫)

## 石川

### 学術講演会(県民公開講座) 会員学術研究発表

平成27年2月22日(日)、午前9時30分から石川県地場産業振興センター本館第4研修室において、学術講演会(県民公開講座)および会員学術研究発表が行われました。

学術講演会では講師にスポーツセーフティージャパン佐保豊代表理事をお招きし「簡単セルフケア&コンディショニング」について講演をしていただきました。佐保氏はNATA全米公認アスレティックトレーナー(ATC)、NSCA全米公認ストレングス&コンディショニングスペシャリスト(CSCS)、JOC日本オリンピック委員会医科学強化スタッフとしての経歴を有し、運動時のケガが起りにくく再発しづらい身体づくりについてお話をしていただきました。

膝や腰などが痛いときでも必ずしもその場所が原因ではないことが多くあり、ある部位の筋肉が弱っていたり固くなっていたりすることで姿勢が崩れどこかに歪が生じて障害に繋がることを各関節の解剖学的見地から説明されました。

実技ではテニスボールやセラバンドを使用し



▲講演する佐保先生



▲実技講習

てセルフケア、コンディションづくりについて実践していただきました。

学術講演会の前にはフィジオプラス株式会社の高橋智士営業部長から超音波治療機やその他の治療機器の設定や使用方法を講習していただきました。

会員研究発表の口述発表では、高熊二夫会員が「歩容異常 歩行がおかしい」という演題で歩行異常の動画を交えながら、高齢者から幼児までの4つの症例を発表。また実技発表では山崎延幸会員が「幼少年の肘関節損傷・固定法の観察＝(L-I型副子固定への作成と効用)」を発表しました。

### 能登和倉万葉の里マラソン2015

北陸新幹線が開業し、全国に金沢の盛り上がり報道された翌日の平成27年3月15日(日)、七尾市和倉温泉周辺で「能登和倉万葉の里マラソン2015」が開催されました。

市からの要請を受け「サポート接骨石川・赤十字奉仕団」として地元能登支部や各支部から35名の会員がボランティアに参加。更に今年は「北信越柔整専門学校」の柔道整復師の資格を持つ教員14名も加わり、合計49名でケアサポートのボランティアを行いました。





「北信越柔整専門学校」は文部科学省の職業実践専門課程に認定されており、コンプライアンスの観点から企業とのコラボレーションの一環で企業研修を受けることが推奨されているため、このサポート活動では教員研修の場として提供しご協力していただきました。また、今年の11月15日に開催される「金沢マラソン2015」に「北信越柔整専門学校」としてケアサポートのボランティア活動を行うための研修でもありました。

和倉温泉観光会館2階ホールにケアブースが設置され、午前7時前から選手が受付の前に並びだし、開始予定時間を早めて、テーピング、ストレッチなどのコンディショニングを行いました。

ブースを訪れる選手がどんどん増え、フルマラソンがスタートする午前10時前には260人を超える選手がブースを利用され、14台のベッドと廊下や床に敷かれたケアマット5枚のシートは常にフル稼働の状態となりました。毎年、気になる天候でしたが、フルマラソンのスタート時は3月のこの時期には珍しい風もなく暖かな晴天となり、絶好のコンディションとなりました。

午後2時を過ぎるとフルマラソンを完走した選手が次々とブースを訪れ、走ってきた選手たちが体を冷やさないために部屋の温度を高く設定しているため、会員たちは汗だくになりながらケアを行いました。ケアブースはすぐに一杯になり、順番待ちの長い列ができたので、椅子に座ったままアイシングを行い、膝や足首など椅子に座ったままでもケアのできる選手には、そのままの姿勢でテーピング、ストレッチを行うなどブース外も活用し、全員一丸となってケアサポートに当たりました。

参加選手が6,500人中ケアブース利用率が10.79%で602人の選手が利用されました。サポートを受けた選手はもちろん、後片付けの間も主催者や関係者、関係団体の皆さんからもたくさんの感謝の言葉をいただき、本会のケアサポートがこの大会で喜ばれていることを実感しました。

(広報員 佐藤裕之)

## 愛 知

### アジアボウリング選手権で トレーニングスタッフとして活動

平成27年1月15日(木)から26日(月)まで、第23回アジアボウリング選手権大会がタイのバンコクで開催された。この大会は2年に1度開催され、今回は22の国と地域から201名の選手が出場した。日本からもナショナルチームの男女各6名が参加した。

この代表選手団のトレーニングスタッフとして、本会の小林弘治事業部長が1月22日(木)から25日(日)まで、仕事を休んで現地へ赴き活動した。これは全日本ボウリング協会副会長で、本会が日ごろお世話になっている中京大



▲小林事業部長

学の北川薫学長からのご依頼によるもので、昨年のGW期間中に三重県鈴鹿市で行われた全日本ボウリング選手合宿に本会会員4名が同行させていただいた(日整広報はつらつVol. 229)際に、今回の大会への参加協力のお話をいただき、理事会で承認を経て実現の運びとなった。

現地では、同じくトレーニングスタッフとして帯同していた千葉県総合スポーツセンター・スポーツ科学センター助手の瀧本未来氏と二人で連携を取りながら対応した。

北川副会長のご好意でホテルの一室を施術室として借り受け、到着1日目から夜のミーティングの後、早速この部屋で深夜まで選手たちのストレッチ・ケアを行った。

翌朝6時から日課であるスタッフと選手全



▲大会の様相

員の散歩にも参加。朝食後の7時30分には選手たちとともにバスに乗り込んで試合場へ帯同して試合前のケアなどを入念に行った。午後3時ごろ、この日の全試合日程が終わり再びホテルへ。夕食後は全員でミーティングを行い、その後深夜まで再び各選手をケアする。3日目も同様のスケジュールをこなし、4日目の午前中の男子の試合を見届けた後、当初の予定どおり小林部長の活動は終了。選手やスタッフとお礼・お別れの挨拶を交わし会場を後にした。

今回は全日本の代表選手への対応ということで、緊張とともに細心の注意を要し、精神的にも身体的にもハードなサポートであったが、貴重な経験と充実した活動ができたこと、小林部長から報告を受けた。大会結果は、男子シングルスでは山本優介選手（茨城）が優勝、女子シングルスでは石本美来選手（広島）が優勝、向谷美咲選手（千葉）が準優勝を果たし、向谷はオールイベント（個人総合）で2つ目の銀メダルを獲得。日本チームは金メダル2個、銀メダル2個の好成績を残し、自分も少なからず貢献できたものと自負しているという。

本会としてもこのような社会貢献の機会を与えてくださった北川学長に感謝するとともに、柔道整復師本来の救護やケアの活動を通じて柔道整復師に対する理解度が進むことを願っている。

全日本ボウリング協会は2020年の東京五輪でボウリングが競技種目となるよう、現在署名活動などを展開している。3月17日には協会担当者から「今年も5月の連休に鈴鹿で合宿を行うので、先生方のサポートをお願いします」との電話依頼をいただいた。本会も次のステージに向けて積極的な活動をしていく必要がある。

（広報員 長谷川貴一）

## 滋 賀

### 平成26年度滋賀県柔道整復学術大会 （学術研修会） 生涯学習研修会

平成27年1月25日（日）、午後1時から標記の研修会が、大津市の打出浜にある大津市勤労福祉センター大ホールにおいて盛大に開催された。当日は、寒風が吹く肌寒い天候であったが、本会の会員また会員外、更には和歌山や京都からの先生方の参加もあり、会場は多くの聴講者で満席となった。開会にあたり伊部正記学術部長は、大会参加へのお礼と講師の先生への謝辞を述べ、また「医師も我われも患者さんに接するという部分では同じであります。本日の講演内容は早速、明日からの施術に生かしていただけるものと思っています」と述べられた。

第1部の学術大会は、京都下鴨病院整形外科専門医の森大祐先生を講師に迎え「肩関節治療における患者満足度を満たすための私の工夫」と題して講演が行われた。

森先生は、京都大学整形外科をはじめ、国内の整形外科に勤務の後、平成25年からアメリカフィラデルフィアのトーマスジェファーソン大学に勤務、昨年9月から京都下鴨病院に復職され肩関節外来を担当されておられる。また肩関節に関する論文も多数発表しておられ「肩関節治療のスペシャリスト」であられる。講演は、主にアメリカでの経験を基に、先生の現在の診療スタイルや患者満足度を満たすための工夫、これからの私たちの施術に対するアドバイスをスライドを用いて進められた。まず、アメリカに行かれた理由や、アメリカでの仕事で苦労されたこと、影響を受けた医師の論文について話され「医療の価値は何か、価値を上げるには患者満足度を上げてコストを下げることである。日本の医療はコスト意識が低い価値ある医療をたくさん提供していくことで繁栄していく。そのための工夫をしていかなければいけない」と述べられた。

そして、先生の診察の工夫として〈服装、具体的には白衣とネクタイを着用すること〉〈話しかた、早過ぎず、遅過ぎず〉〈専門用語をできる限り使わない〉〈医療の限界を伝える〉の



▲講演中の森先生

4点と、更に〈親近感〉〈適度に親身であって、家族的な85%の距離感〉〈相手の期待が何かを調査する〉〈好奇心を駆り立てる質問ができるための(医療以外の)学習〉の計8点を紹介され「医学にはある程度限界がありそれを明確にするのが医師の努めであり、利益・恩恵・不利益の可能性を説明する努めがある。これが私の信念であり今後も私の挑戦です」と述べられた。



▲説明する前田先生

最後に、整形外科医師から柔道整復師への提案として「医療は多様化し現場は教科書に書いていないことではもはや網羅できていない。骨折、脱臼の患者さんは病院に来る。しかし運動療法への期待は病院に対して少ない傾向にあるのでチャンスは運動療法にある。スポーツ外傷、傷害、整形外科術後リハビリに精通し、運動療法をすることで患者さんを獲得することはできる。患者さんの興味が何かを早期に見極め、医院や病院より大いなるメリットが接骨院にはあることを伝えていくことが大切である」と述べられ、1時間半におよぶ講演を締めくくられた。

第2部の厚生部主催による生涯学習研修会では「H26年度弊会救護活動実績報告」と題し、厚生部員の中川由也会員が、今年度の救護活動の具体的な活動内容や負傷部位、処置内容や取扱件数などの詳細なデータを自らの現場での経験も織り交ぜながら報告した。また今後も活動実績をデータ化していくので、報告書はもちろんのこと、処置記録、画像などは必ず提出をお願いしたいとも述べ、来年度も引き続き会員の皆様が公平かつ幅広く活躍していただけるよう、カテゴリー分類に沿って運営していきたい旨の説明があった。

そして前田剛伸厚生部長からは、介護保険と柔道整復師の関わり方や、地域支援事業・ICF

国際分類についての説明があった。「多くの課題もあり、環境整備も必要だが、我われ柔道整復師の介護分野への積極的な参画に向けての取り組みも進めていきたいと考えている」と述べ、理解と協力をお願いした。

今大会では第1部、第2部ともに定刻まで活発な意見交換や質疑応答がなされ、内容の充実した有意義な学術大会となった。

(広報員 岡田博之)

## 和歌山

### 県との災害協定締結

平成27年1月23日(金)、和歌山県庁にて、災害時における柔道整復救護班の派遣に関する協定書の締結が、中川伸児福祉保健部長と本会原正和会長との間で執り交わされた。

以前は、災害時の医療部門の専門ボランティアとして団体登録していたが、少し曖昧な部分もあり、今回の協定書締結に伴い活動内容・範囲等がより明瞭化され柔道整復師としての活動範囲が広がったように思われる。

中川福祉保健部長より「近い将来、南海トラフの大地震が起こるといわれていますが、柔道整復師会と協定を結ぶことができ、大変心強く思っています。応急処置はもちろんのこと、避難所で生活される県民の身体のケアに期待しています」とのお言葉をいただきました。原会長より「本会会員は、県下各地域に点在していますので、災害の際はきめ細かく対応できると思っています」とお話された。

災害は起こらない方がいいのは当たり前ですが、もし大災害が発生した場合、県との協定に



▲(左から) 佐々木副会長、原会長、中川福祉保健部長

準じ、迅速に対応できるようにしっかり準備をしたいものである。

(広報員 出崎素之)

## 兵 庫

### 第1回症例検討会

平成27年2月7日(土)、兵庫県柔道整復師会5F多目的ホールにおいて標記検討会が開催された。

参加者は、昭和大学藤が丘リハビリテーション病院筒井廣明先生、奈良県池田整形外科クリニック院長池田均先生、同理学療法士相良優太先生、本会の大石雄一学術部長・福本善之同部員、本会学術部、会員を合わせ20名であった。

この症例検討会は、奈良県池田整形外科クリニックを中心に3ヶ月に1度位のペースで長年にわたり(現在で52回)開催されており、柔道整復師だけでなく理学療法士、看護師、放射線技師の方々も参加されている。内容は、毎回3時間のうちに3~4症例ほどの題材を取り上げ、徹底的にその個々の症例に対し意見交換・討論を行っているそうである。

このたびは、この検討会に本会の根來信也学術部長が参加発表したことをきっかけに奈良県の学術部に協力を仰いで本県での開催が実現した。

当日は、奈良県から“寝違い”と“アキレス腱断裂”の2症例、兵庫県から“[下肢症状を有する]疾患の鑑別法”、“骨折に対する読影”と“肩関節痛へのアプローチ”の3症例の5症例について討論が行われた。1症例目から日ごろの診療で行っているさまざまな意見が飛び交い、あまりの内容の濃さに2症例目の途中で予定の時間を超えてしまうほどであった。

検討会中、筒井先生から「~どうなの?」「この動作で痛くなかったらそこじゃないよね」「ならどう考える?」など落ち着いた口調での鋭いご指摘・アプローチの仕方は、翌日の講演も併せてとても勉強になるものであった。そして経験的な手法に陥りがちな日ごろの診療で「なぜそこが痛むのか?」「そこを施術することによってどのような効果があるのか?」を追求することが重要であると再認識させられた。



またこの検討会では、進行がしやすいように資料が準備され、出席者が話しやすいように工夫されている。準備は大変だが、こういった形の検討会は、2~3人レベルから可能と思われる。一度検討会に参加し、それを参考に自分たちの周りでも開催していけば、多くの柔道整復師の資質向上に役立つのではないだろうか。

### 平成26年度学術研究会

平成27年2月8日(日)、兵庫県柔道整復師会館において標記学術研究会が開催され、以下の内容で行われた。

★特別講演「投球障害肩の診断と治療」

昭和大学藤が丘リハビリテーション病院

スポーツ整形外科教授 筒井廣明先生

★学術部推薦発表筋修復過程における

RICE処置の与える影響と関節炎の病態

森ノ宮医療大学大学院 川畑浩久先生

★会員発表

①第5中手骨基部骨折固定と利便性の間に

尼崎支部 上濱博文会員

②Osgood-Schlatter (オスグット・シュラッター



▲筒井教授

一) 病への施術におけるあらたな試み衝撃吸収装具とその効果について

阪神北支部 室屋仁会員

③膝関節痛に対する経筋療法

阪神南支部 後藤潤会員

④陳旧性肩関節前方脱臼の二症例

神戸東支部 根来信也会員

⑤肩関節部に発生した骨折、脱臼の症例

神戸西支部 鈴木崇右会員

⑥腰痛への足関節からのアプローチ

東播支部 西畑久仁康会員

⑦皮膚筋炎に合併した舟状骨無腐生壊死の一症例

姫路支部 坪木心吾会員

⑧投球障害における後療法 ～怪我防止と再発しないためのトレーニング効果～

西播支部 志水大一会員

⑨急性腰痛（後屈に伴う痛みがある場合）の効果のあった施術の症例 アナトミートレイン（フロントライン）の考え方を応用した施術

但馬支部 北垣英二会員

今回特別講演をお願いした筒井教授の講演内容は、野球における投球動作での肩の故障を例に挙げ「診断は、病態を診断するためではなく、



▲発表者

機能を回復するためにある。どうして病態発生させたのか原因を考え、病態から機能診断を考え、機能診断から治療を考えるべきである」「診察というのは、患者さんとの体のコミュニケーションである」など、日々施術の現場でも考えなければならない重要なポイントについてお話をいただいた。受講された会員の先生方は皆さん一様に「素晴らしい講演内容であった」と感想を述べた。

(広報員 藤井憲之)

## 香川

### 第69回香川丸亀 国際ハーフマラソン大会 救護ボランティア

平成27年2月1日(日)、香川県立丸亀競技場にて標記の大会が開催された。この大会は国外からも多数のランナーが参加し毎年走者は数を増している。今年は約1万2,000人近くのランナーが参加したという発表があった。本大会における私たちの救護ボランティア活動は、毎年大会本部から要請がある。この活動は香川県、丸亀市などから大変喜ばれて評価は高い。当日



▲救護班参加者



▲救護活動

14万5,000人の市民が沿道に駆け付け、選手たちに温かい声援が送られた。

今回救護班28名が参加した。毎年ブースの前にはたくさんのアスリートたちが長い列をつくり私たちの施術を待っている。レース前・後のテーピング、コンディショニング、アイシングなどを担当して選手の体調を整えている。選手に感想を聞くと「今年も自己ベストを出すことができた」「負傷箇所だけではなく、関連する関節などを診ていただいたおかげで呼吸までも楽になった。また今後のストレッチ体操などのアドバイスもいただき助かった」などたくさんの感謝の言葉をいただいた。

南海トラフ巨大地震などの災害が予想される中、今後の私たちの目標は、どんな困難な現場でも対応できる救護班として、技術の研究向上と訓練に努め、その地域医療に貢献できることを目指そうとしている。

## 本会学術研修会

平成27年2月22日(日)、本会多目的ホール2階にて学術部、医療救護部合同の研修会が開催された。石原誠会長の挨拶の後、浪尾敬一学術部長による「腰部のスポーツ障害に対する評価、治療計画の立て方」の講義が行われた。続いて麓篤敬医療救護部長による「足関節捻挫に対する治療と固定法」、先生独特の固定法が講義された。次に前川健二会員による「ジョーンズ骨折に対する固定法、それに伴う固定材について」の詳しい説明があった。最後に高畑正尚会員による「足関節の観察と治療方法について」の発表があり、医接連携の重要性を語った。今回の研修会はたくさんの新入会員が出席し、技術の



▲講演する麓先生

向上について語り合った。

新しい技術を学び技法を発掘することは大切である。今後も積極的に研修会を開催する予定である。  
(広報員 武田雄兒)

## 愛 媛

### 保険・労災・税務講習会

平成27年1月25日(日)、14時から標記講習会が大和屋本店2階「大和の間」において65名出席で開催された。

保険部佐藤佳孝委員の司会進行で浜野会長が新年の挨拶。また公益社団法人へ移行のお礼、今年が当県が四国学術大会の当番県であるため、協力を願った。

保険講習会は本会の高橋保険部長が講師となり下記のとおり講演していただいた。

1. 協定の見直しについて
  2. 協定の一本化について
  3. 統一審査基準をどのあたりに定めるか
- 報告された。

続いて自賠責の取扱いについて、

- (1) 調査について
  - (2) 事故の状況と整合性について
  - (3) 事故発生から初検までの期間
  - (4) 施術していない期間
  - (5) 施術部位の証明数の評価
  - (6) 乳幼児、施術に対する評価
  - (7) 施術期間の効果
- 等について説明された。

次に療養費取扱いについて、組合の照会等詳細に説明していただいた。

労災保険講習会では講師に向井浩一愛媛労働局労災基準部労災補償課、労災医療指導監査官により、



▲講演する向井労災医療指導監査官



▲説明する脇田顧問税理士

## 労災保険の概要

### 1・業務災害について

(1) 業務上の負傷について、業務上の疾病について説明された。

### 2・通勤災害について

(1) 労災保険法における通勤の要件を説明された。

- ・労災保険における治癒「症状固定の考え方」
- ・請求手続きの概要
- ・業務災害用紙
- ・通勤災害用紙
- ・平成26年4月1日に改定された施術料金算定基準

等、資料を見ながら説明していただいた。

税務講習会では講師の脇田義久当会顧問税理士により、

1. 相続税のはなし
2. 損益計算書と貸借対照表
3. 所得税が決まるまで

★所得税の基礎知識

★所得控除について

4. 最近の主な税制改正について（平成26年から、平成27年から）
5. ふるさと納税

以上を資料を見ながら説明していただいた。

本日の講習会は、今後の事務処理・施術録作成・確定申告作成に関して大変役立つ内容であった。

(広報員 井関澄男)

## 大分

### 第10回大分県整骨旗争奪少年柔道大会

平成26年7月27日(日)、中津市総合体育館「ダイハツ九州アリーナ」にて、初めて開催地を別府市から中津市に変更し、標記大会が県下30道場、クラブから41チーム、計380余名の選手出場の下開催された。今回は10回目の記念大会であるため、郷土が誇る柔道家である穴井隆将先生を招き、試合前に柔道教室を行った。子どもたちは初め緊張していたが、穴井先生のユーモアを交えての指導に徐々に打ち解け、厳しい中にも笑顔のある稽古になった。その後道場ご



▲開会式



▲柔道教室

とに穴井先生と一緒に記念撮影を撮り、参加選手にとっては去年一番の夏休みの思い出の一枚になったことだろう。

団体戦では、安心院柔道クラブAが連覇し優勝、2位はUSA小倉道場A、3位は秀鋭館道場A・自勝館Aとなった。

### 第5回夏季解剖見学実習

平成26年8月27日(水)、国立大分大学医学部の先生方のご高配をいただき、標記実習が開催された。平成22年から5年連続開催となった実習は、本会にとっても有意義かつ画期的なことであり、また猛暑のなか遠方より来られた方も



▲参加者

あり平日にもかかわらず総勢会員等40余名の参加があった。「人体構造の系統的局所的観察を行い構造と機能を理解し、特に柔道整復業務で最も重要な運動器について学び、また献体の意義を知るとともに生命の尊厳について考察する」ことを目的とした有意義な研修であった。

(広報員 野田光広)

## 沖 縄

### 第23回おきなわ マラソンボランティア

平成27年2月15日(日)に第23回おきなわマラソンが開催された。

大会は、沖縄市の県総合運動公園を発着点に開催され、今大会には1万6,752人がエントリー。県外参加者は2,803人、外国人は829人でそれぞれ過去最多になる。そのうち、フルマラソン部門1万1,427人、10km部門3,008人の計1万4,435人が出場した。

当日は天気もよく、同公園内に設置したテントで会員のほか専門学校生を含めた約60人が参加し、午前7時からスタート直前までテーピングの施術を提供したところ400人のランナーが



2015年 平成27年 2月14日 土曜日 特集 30

## 合運動公園発着 あす号砲

「パフォーマンスアップ・テーピング」を推奨する県柔道整復師会の幹部ら  
1日、那覇市久米の同会事務所

### テーピングでけが予防

#### 県柔道整復師会

県柔道整復師会(平良光政会長)は、ランナーのパフォーマンス向上とけが予防のため毎年、県総合運動公園内の大会会場、出場者への無料テーピングを実施している。

これは会員のほか専門学校生を含めた約60人が参加、同公園内駐車場近くのマッサージ室で午前7時~スタート直前の同9時ごろまで、テーピングのサポートを提供する。

長距離マラソンでは、疲労が蓄積されてフォームが乱れ、腰や膝を痛めるランナーが多いという。特に引き起こしやすい症状は、「書定波」と、膝外側の腱を痛める「腸脛靭帯炎」だ。

同会の石川寛博ランテニア委員長(61)は、これらのけがを予防して走力アップを図るため、2009年に「パフォーマンスアップ・テーピング」を考案。1日には、那覇市久米の同会事務所にて幹部が集まり、テーピング方法の最終確認をした。

平良会長(65)は「整復師の技術でサポートして、1人でも多くのランナーを完走させたい」と意気込みを述べている。

訪れ、その後は完走者のケアも行った。

今回の「第23回おきなわマラソン」におけるフルマラソン完走者8,292人、完走率72.56%であった。(10kmの完走者は2,516人)

今回の活動を含めて次回に向けての細かな課題はあるが、大会終了後ランナーから感謝の声が寄せられ、柔道整復師を広くアピールする良い機会となった。

(広報員 國吉正人)

# 千葉県医師会 第3回終末期医療に関するシンポジウム 「高齢者の終末期の医療およびケア・ 在宅療養と地域包括ケアを考える」に参加して

千葉県 渡辺 勇

平成27年2月21日(土)、千葉県医師会館において標記のシンポジウムが、医師会・介護施設開設者・コメディカル分野・千葉県健康福祉部担当者等138名が参加し開催されました。

本シンポジウムは第1回「胃ろうを増設すべきか？」第2回「リビングウイルを考える」に続いて今回は表題にあるように、新しく策定された地域包括ケアシステムの説明と、それにどう対応し、どのようにお手伝いできるかを、各分野の講師が講演し、リビングウイルを含め討論されました。

機能訓練指導員の公的資格を持つ柔道整復師として、介護全般および地域包括ケア制度改正に対する医師会の対応を知ることも必要と考え、前回、前々回に引き続き報告いたします。

司会進行 千葉県医師会理事  
梅村孝子先生

挨拶

主催者 千葉県医師会副会長  
土橋正彦先生

来賓

千葉県健康福祉部保健医療担当部長  
古元重和氏

シンポジウム

座長 千葉県医師会介護保険等検討委員会委員長  
玉本弘次先生  
千葉県医師会介護保険等検討委員会副委員長  
平野 清先生

## 1) 千葉県の地域包括ケアの推進に向けて

千葉県保健福祉部保健医療担当部長  
古元重和氏

古元部長は、県内少子高齢化の現状と今後の動向、県の対策の全体像と地域包括ケアの進捗状況等、ケアシステムを考えるとというタイトルで、現況と今後の方向性および課題等を述べられました。

## 2) 人口減社会における定期巡回随時対応型訪問介護看護という選択

社会福祉法人志真会理事長補佐  
津金澤寛氏

今後の介護ニーズの状況を予測分析した結果、重度の要介護者、単身や夫婦のみの要介護世帯、認知症の高齢者が今後増加していく、このことを踏まえると、そのような方の在宅生活を支え、



▲シンポジウム講師陣



▲参加者

在宅の限界点を高めるためには、訪問介護、通所介護、訪問看護等の普及に加え、医療ニーズのある一人暮らしの、重度の要介護高齢者等でも在宅で生活できるように、平成24年度に創設された、定期巡回・随時対応サービスや、複合型サービスといった新サービスや、小規模多機能型居宅介護などの、更なる普及促進を図っていく必要があります。

以上の考えを基に、介護保険の経済状況も考え、配食・ランドリー・服薬・安否確認といったニーズにも対応可能な、定期巡回随時対応型訪問介護看護の促進を提案されました。

### 3) 地域包括ケアは、ゴチャマゼケア、無色透明へ

松永医院院長 松永平太先生

先生は長年在宅医療に関わってきた経験から、たとえ独居であっても認知症になっても介護保険を適切に使えば、住み慣れた地域・自宅で家族友人に囲まれながら、尊厳を持ち生きることが出来ます。

その際、医師・看護師・ケアマネジャー・ケアスタッフ・リハビリスタッフ・相談員CSW・薬剤師等々さまざまな職種が、有機的に連動して提供するゴチャマゼケアが、地域包括ケアなのです。

そのスタッフの中で医師は、チームのキャプテンとして関わり、患者さんの長寿を目指すのではなく、最期に患者さんが「ありがとう」と言える、天寿を支える医療へと導くリーダーシ

ップが必要です。

そして大多数の高齢者は、人生の最期を自宅で過ごしたいと希望しており、それを叶えることが、結果的に医療費の節約にも繋がると述べました。

### 4) 千葉県医師会版「私のリビングウイユ」の活用経験

東葛病院附属診療所所長 戸倉直実先生

終末期医療の選択肢は、意思決定に関わる時代背景、社会的問題（経済力・介護力）が関係しています。たとえばガンの終末期は、いつまで抗がん剤を使うか、終末期に点滴は必要か？食べられなくなった超高齢者・認知症終末期の方に経管栄養をするのか？いくなればリビングウイユはコミュニケーションであり、本人・家族・かかりつけ医での十分かつオープンな話し合いが不可欠です。また、積極的な選択肢として従来の治療ではない「緩和ケア」を提案できます。そして死は怖くないし、死は敗北ではない、本人の意思が確認できないところで、形式的にリビングウイユの文書を作ってならないし、経済的な困難や医療費抑制政策・優性思想等のために延命治療を否定してはならない。

これらを十分議論することが必要と話されました。

最後の質疑応答の時間では、以上の講演に関して、さまざまな分野の参加者から質問・意見が出され、活発な討論が展開されました。

# ご卒業おめでとうございます！

平成26年度 柔道整復師養成学校 優等卒業生  
公益社団法人日本柔道整復師会より額入り表彰状を贈呈しました

学校名	優等生氏名	学校名	優等生氏名
北海道柔道整復専門学校	萩原和香奈	北信越柔整専門学校	岡本 淳一
北海道メディカル・スポーツ専門学校	長岡 卓哉	専門学校浜松医療学院	竹本 哲也
日本工学院北海道専門学校	高道 春絵	専門学校白寿医療学院	中田 峻太
盛岡医療福祉専門学校	中村 信也	専門学校 中央医療健康大学校	岡西 直巳
仙台接骨医療専門学校	高橋 俊也	常葉大学 浜松キャンパス	筒井 優花
赤門鍼灸柔整専門学校	渡邊 宏晃	米田柔整専門学校	加藤 哲也
仙台医健専門学校	中村 暢俊	中和医療専門学校	二村 晃史
福島医療専門学校	笹川 順平	名古屋医専	小久保貴史
帝京大学 宇都宮キャンパス	二川 郁也	東海医療科学専門学校	平田 恭久
前橋東洋医学専門学校	宮寄 格心	トライデントスポーツ医療看護専門学校	廣川 広孝
育英メディカル専門学校	蓮見 昭洋	甲賀健康医療専門学校	野村 理恵
大川学園医療福祉専門学校	小林 稔	京都仏眼医療専門学校	柴山 芳久
呉竹医療専門学校	森 一将	京都医健専門学校	八木 克敏
大宮医療専門学院	齊藤 優樹	明治国際医療大学	吉村知愛子
帝京平成大学 千葉キャンパス	杉浦 真央	関西医療学園専門学校	田村 彰悟
了徳寺大学	田口 陽平	大阪行岡医療専門学校長柄校	東 義和
呉竹鍼灸柔整専門学校	江村 彰人	明治東洋医学院専門学校	橋本 紳吾
横浜医療専門学校	鍵山 沙希	履正社医療スポーツ専門学校	徳永加津也
帝京科学大学 山梨市キャンパス	有泉 泰裕	近畿医療専門学校	村山 龍
日本柔道整復専門学校	松本 崇	大阪医専	石黒 誠二
東京柔道整復専門学校	小玉 直哉	東洋医療専門学校	野崎 亮
東京医療専門学校	荒木 亮太	西日本柔道整復専門学校	三好 晋輔
日体柔整専門学校	伊津野立一	大阪府柔道整復師会専門学校	大圖 孝宏
日本医学柔整鍼灸専門学校	高村 健太	関西健康科学専門学校	岩崎 祐磨
了徳寺学園医療専門学校	小林 範子	兵庫柔整専門学校	藤岡 良介
中央医療学園専門学校	福岡 信二	朝日医療専門学校岡山校	武藤 晴信
日本工学院八王子専門学校	天野 夢菜	IGL医療福祉専門学校	堀川 優太
日本健康医療専門学校	河雲 栄樹	朝日医療専門学校広島校	澄田 剛
山野医療専門学校	川村 芽依	四国医療専門学校	入星 宏
関東柔道整復専門学校	榊原悠姫子	河原医療福祉専門学校	村上 隼紀
新宿鍼灸柔整専門学校	椿原 政美	福岡医療専門学校	杉原 俊樹
臨床福祉専門学校	田中 匠	福岡天神医療リハビリ専門学校	吉田実知代
北豊島医療専門学校	山中 洋一	大分医学技術専門学校	保月 拓也
首都医校	本田 周平	九州医療専門学校	中村 友紀
帝京科学大学 千住キャンパス	高嶋 洋友	今村学園ライセンスアカデミー	折田 倫章
帝京短期大学	吉田 直樹	鹿児島第一医療リハビリ専門学校	長崎 竜佐
東京有明医療大学	半田 脩朔	沖縄統合医療学院	伊藝 成司
新潟柔整専門学校	中村 裕美	琉球リハビリテーション学院	宮良 高雄
信州医療福祉専門学校	宮寄勝太郎		

## 第23回全国柔道整復師国家試験合格者状況

平成27年3月27(金)発表

受験者数	合格者数	合格率
6,858名	4,503名	65.7%

○第23回柔道整復師国家試験の合格基準

- 必修問題については、配点を1問1点とし、全30問中、その得点が総点数の80%以上、24点以上を合格とする。
- 一般問題については、配点を1問1点とし、全200問中、その得点が総点数の60%以上、120点以上を合格とする。ただし、午後の問題第57問については、複数の選択肢を正解として採点する。また、午後の問題第76問については、訂正が行き届かなかった者には不利益が発生しないように配慮する。
- 必修問題及び一般問題のいずれも合格基準を満たしている者を合格とする。

### ◆原稿締切日は奇数月20日です◆

〈投稿される会員へお願い〉

ワードまたは一太郎などで作成された原稿の場合は、そのファイルをメールでご送付ください。

★編集会議の結果、投稿の内容により未掲載となる場合もありますのでご了承ください。また「投稿」の場合、必ず日整広報原稿と記入または入力してください。

★投稿文は各都道府県事務所を通して応募ください。

★原稿・投稿者名にはふりがなをお願いします。

宛先：“日整広報”〈kouhou@shadan-nissei.or.jp〉

#### 日整広報はつつ発行日と原稿締切

※原稿の締切厳守をお願いします。(広報部)

号数	233号	234号	235号	236号	237号	238号
原稿締切	5月20日	7月20日	9月20日	11月20日	平成28年 1月20日	3月20日
発行	7月20日	9月20日	11月20日	平成28年 1月20日	3月20日	5月20日

## 公益社団法人日本柔道整復師会 第8回大阪学術大会 第49回東海学術大会 静岡大会 会員発表（ハイライト）動画配信

日整学術部では、ホームページ上におきまして全国各ブロック学術大会発表の動画を配信しています。

今回は、平成26年11月8日・9日（土・日）に南御堂 御堂会館で開催されました大阪学術大会と11月16日（日）にウインクあいちで開催されました東海学術大会 静岡大会の会員発表を配信いたします。



（動画再生期間 2015年6月1日～2015年7月末）

### 【動画の見方】

日整ホームページ（<http://www.shadan-nissei.or.jp/>）にアクセスし、の後

学術部→学術大会会員発表動画 または

→第8回大阪学術大会

→第49回東海学術大会 静岡大会

をクリックしていただくことでご覧いただけます。

ユーザー名・パスワードは日整事務局（電話 03-3821-3511）にお問い合わせください。

## 日整HPからご覧いただけます

### 【学術部】

1. 日整主催学術大会一覧
  - ・平成27年度公益社団法人日本柔道整復師会主催学術大会一覧
2. 学術大会会員発表動画一覧
  - ・平成26年度日整主催学術大会会員発表ダイジェスト動画一覧
3. 「学術シリーズ」原稿募集
4. 図書を紹介
5. 富山大学寄附講座
  - ・富山大学寄附講座活動報告Vol.6
  - ・富山大学寄附講座大学院修士課程入学案内
6. 論文検索システム
7. 「柔道整復学」専攻区分～「学士」を目指す方へ～
  - ・独立行政法人大学評価・学位授与機構について
  - ・科目等履修生制度の開設大学一覧 ほか
8. 学術・生涯学習講習会報告
9. 生涯学習単位取得報告
  - ・平成25年度生涯学習・ボランティア活動単位取得報告
  - ・要綱（生涯学習単位取得要綱／ボランティア活動単位取得要綱）
  - ・様式（平成26年度生涯学習・ボランティア活動単位取得報告書）
10. 「骨継ぎの知恵袋」アイデア募集
11. 公認私的研究会

### 【国際部】

1. 学術大会における国際部活動報告 草原に架かる虹を追って—モンゴルでの記録—  
第49回四国学術大会 香川大会【動画配信】
2. チンギスハーンの国⑥  
柔道整復術を指導する講師としてモンゴル国を訪問した体験をご紹介します。紙面に入りきらなかった写真も掲載しております。
3. モンゴル国派遣講師募集【夏期】  
モンゴル国の柔道整復術指導者候補、国立医療科学大学学生、地方医療従事者に柔道整復術を指導する講師（派遣員）を募集いたします。
  - ・派遣日程 平成27年8月24日(月)～9月14日(月)を予定しています。
  - ・派遣期間 約1週間～1ヶ月程度（相談ください）
  - ・参加資格 本プロジェクトの趣旨を理解し賛同する日整会員で柔道整復術の講義および実技指導ができること。
  - ・募集人数 若干名（※応募者多数の際の選考はご一任願います）
  - ・応募締切 平成27年5月末日
  - ・応募方法 所属都道府県社団事務局を通して日整事務局に電話、FAXにてご連絡ください。
  - ・費用 個人負担なし 日整の規定により派遣期間は費用弁償いたします。
 自薦・他薦を問わず広く募集いたしますので、ご応募ください。
4. 柔道グランドスラム東京大会2015 柔道国際医科学シンポジウム発表者募集のお知らせ  
上記柔道国際医科学シンポジウムの発表者を募集いたします。  
研究成果の発表の場として、また海外の医科学研究者とディスカッションできる場として有意義なシンポジウムですので奮ってご応募くださいますようお願い申し上げます。  
くわしくは、日整HP「国際部」をご覧ください。

## 【日整HP「会員ページ」へのアクセス方法】

日整ホームページ (<http://www.shadan-nissei.or.jp/>) にアクセスし右下の **ログイン** をクリックすることでご覧いただけます。

パスワードは所属社団名と氏名を告げて、日整事務局（03-3821-3511）にお問い合わせください。

# 日整文芸

(作品は1人3首〈句〉までといたします)

## 【短歌】

福岡県 山下 智章

金色の菊の御紋を眺むれば

後鳥羽上皇遺徳を偲ぶ

紫の光織り成す参道は

藤咲き誇り真心見ゆる

本を読み学問せよと武蔵云う

虎に負けるな虎に負けるな

## 【俳句】

群馬県 鈴木 乗風

### 牡丹の芽

宿坊の朝餉や牡丹の芽のほぐれ

雪原の坂なす岨や鮎畏

菜種蒔く父母の残せし畑守り

東京都 伊藤 正信

種袋何もそんなに振らずとも

帰らぬ鴨か帰りそびれし鴨なるか

銀色の一筋の川麦の秋

長野県 根橋 平八

松の雪おとひく雪ぞありにけり

雪わりて顔のぞかせしフキノトウ

庭石の元に咲きけるフクジ草

福井県 田上 滋良

### 春

吊り縄のもうひとふんばり春近し

二人乗りしてブランコの揺れ止まず

春めきてテニスコートの拡がれり

香川県 伊勢 豊郎(豊生)

シダレ梅記念年に咲きほこる

夢を見る八十二歳の春の道

れい界から帰りし豊生夢をおう

## 【川柳】

北海道 阿部 篤夫

羅臼港こぼれ魚に鳥の群

大鷲がかもめ捕獲で乱舞する

餌さがし狐も参上ウト口港

石川県 東 勝一

ビルボード立つ人皆に後光射す

百万石波に乗れるか新幹線

早春にレールの力待っている

## 〈一般投稿〉

## 【短歌】

奈良県 長谷川治三郎

### 春ごころ

早春に日に芽出るるや息吹とて

土手に草花可憐に咲そう

ふるわせし枝につけしは紅梅の

姿みゆるは春遠からじ

時たてばめぐりし四季に花々の

姿華麗に目を細めして

## 【川柳】

高知県 かおる

脇役を心得ているかすみ草

むらさきの風に抱かれて菖蒲園

月暈の吐息を聞いた明日は雨

## 「日整文芸欄では一般の方々からの投稿を募集しております」

### 広報部

日整文芸は、会員の方に加え、一般の方々からも「短歌」「俳句」「川柳」を募集します。一般の方の投稿は、日本柔道整復師会会員を通じて、都道府県名、紹介会員名および連絡先、作品提出者名を明記の上、ご応募してください。

日整文芸を通じて読者の皆様とよい交流の場となればと願っております。

作品は会員と同じく1人3首〈句〉までといたします。多くのご応募をお待ちしております。

宛 先 〒110-0007 東京都台東区上野公園16番9号  
公益社団法人 日本柔道整復師会広報部  
TEL: 03-3821-3511 FAX: 03-3822-2475  
E-mail: kouhou@shadan-nissei.or.jp

## 編集後記

■久しぶりの上京で、母校周辺を懐かしく歩いた。

どこにも若者が溢れている。「そうか新学期が始まったんだ」と納得。希望を胸に上京し、自分の目的を目指し勉強する若者たちの弾む声を聞くと自分も嬉しくなる。

こうしてはならない。そうだ、私たちこそ勉強しよう。若者に迷惑を掛けないように体力も付けよう。運動もしよう。春爛漫。

(晴天雀)

■信州大学入学式の山沢学長挨拶の中で「スマホやめませんか、それとも信大生やめませんか…」と問うような投げかけを行い話題になった。この時代に勇気のある挨拶であり、昔を懐かしく思い新しい時代についていけなくなった自分にとってほっとした感じで受けとめたが、さすが学長発言はそんな単純な挨拶ではなかったようだ。科学技術の発達でインターネットが生まれ全てが便利にはなったが、便利さに埋もれ、人との繋がりを怠り、自分で考える力をなくしては駄目だ…。

我われも楽を求め、本来あるべき柔道整復師を見失えば将来はあるまい。

(多毛家)

■本県のマラソンケアサポート活動において(日整フォーラム「石川」参照)今回初めて柔道整復師養成学校の教員14名が加わりました。この養成学校は、文部科学省の職業実践専門課程に認定されており、企業とのコラボレーションの一環で企業研修を受けることが推奨されています。今回のサポート活動では教員研修の場という形でサポート現場を提供しご協力をいただきました。お互いに新しい発見があり、交流を深める良い機会となりました。日整のHPに柔道整復師養成学校生および有資格者の募集・採用紹介をしています。今後も養成学校に対して良き協力ができればと願っています。

(家真舵)

■第87回選抜高等学校野球大会で、北陸勢初となる全国制覇を福井県の敦賀気比高校が偉業を成し遂げ、本県に紫紺の優勝旗を持ち込んだ。

北陸では、あの松井秀喜を擁する石川県の星陵高校でも成し得なかった全国制覇を創部29年で成し遂げたことになる。

2打席連続満塁ホームランと決勝2点本塁打を打ち、一躍話題を集めた背番号17の松本選手について、プロのスカウトは「今の力ではプロでは通用せず、何処の球団も誘いが無いだろう」とコメントしている。将来、コメントを覆すほど大きく成長してコメントを書いたスカウトマンを見返して貰いたい。

(魅家下)

■ある記事で、世界の刑務所は脱走防止に労力を費やしているが、日本では受刑者を出所させるのに苦勞をしているらしい。毎年約6,400人があてもないまま出所しそのうち3人に1人は

2年以内に戻ってきている。これは、犯罪に手を染めた人間の居場所がないのが原因でもある。また、高齢受刑者が急増して出所しても仲間がいない社会よりも衣食住整った刑務所を再度選ぶ受刑者が多いらしい。

「とも旗まつり」

どうやら超高齢化は刑務所内でも起きているらしい。

(尾座和)

■4月25日にネパールを襲った大地震。一般紙の報道によれば発生から3日目で死者は3千人を超え、その惨状が徐々に明らかになっているとのこと。世界各国で政府や支援団体による救助活動が続いている中、日本から医師や看護師をはじめ、災害救助を担う多くの団体からスタッフが派遣されている。しかし、日本の緊急援助隊を乗せネパールに向かった航空機は、空港の混雑のため着陸せず、いったんタイのバンコクに戻った、と報じられている。日整は独自の災害組織DJATを結成し、どこで災害が起きても動ける体制を整えるための訓練を実施している(本誌16ページ参照)。ライフラインの寸断やさまざまなことを考慮に入れなければならないが、DJATのメンバーが海外の被災地で救護活動にあたることができればと願っている。(多夢楽)

〈表紙解説〉

## 佐賀平野に浮かぶバルーン

写真提供 さがバルーンフェスタ事務局  
公益社団法人佐賀県柔道整復師会 小嶋 利博



九州北西部有明海に面する佐賀平野は、県北部の天山から市内の中心部に嘉瀬川が流れ、そしてクリーク・有明海へと注ぐ自然豊かな所です。

佐賀インターナショナルバルーンフェスタは、嘉瀬川河川敷をメイン会場に毎年十月下旬から十一月上旬にかけて、約一週間で行われる。

国内外から百機を超えるバルーンが集まるアジア最大の熱気球大会で、佐賀平野に会場が移って三十五年目を迎え、佐賀県では、バルーンフェスタの観客数が、天候の影響を受けるため変動はあるが、毎年七十五万人〜九十五万人を数える。

秋の澄み切った空へ次々と浮かんで上る色とりどりのバルーンは、佐賀県の大イベントです。

競技大会は、会場から飛び立ち着陸地点やターゲットが、着地の際に衝撃の少ない田圃となることも多い。

この時期佐賀平野は、二毛作の中休みで水田は稲刈りが終わって土や藁に覆われ着陸可能な土地が広範囲に分布している。

会場へは、有料駐車場・シャトルバス・メイン会場の駐輪場・鉄道利用の場合は、大会期間中、JR長崎本線に臨時駅として『バルーンさが駅』が設けられ、特急・普通列車など停車する。

また、最終日は夜間限定で、五十機のバルーンが一斉に火を吹き会場を照らし出す姿は圧巻だ。

平成27年5月20日発行

公益社団法人 日本柔道整復師会

〒110-0007 東京都台東区上野公園16-9

電話 (03)3821-3511 (大代表)

発行人 工藤 鉄男

編集者 永田 官久

制作・印刷所 東京リスマチック株式会社

微弱な探索電流により皮膚に刺激を与えることなく、  
治療点(低電気抵抗点)を探索します。

治療点検索測定器

# ココロケータ

管理医療機器(特定保守管理医療機器) 販売名:セイリンロケータ 医療機器認証番号:225AABZX00195000

光と音で知らせます♪

## 治療点の探索

NEW  
Color



ブルー



ピンク  
(原寸大)



コード付き探索導子・握り導子

### 機器構成

本体、コード付き探索導子・握り導子

### 使用目的、効能又は効果

皮膚の電気伝導によって患者の皮膚で生じる導電率を測定及び確認すること。

### 機器原理

内部電源による治療点検索測定器で、微弱な探索電流により皮膚に刺激を与えることなく治療点(低電気抵抗点)を探索します。

### 製品仕様

定格電源	DC9V、006P型電池(6F22、6LR61または同等品)
出力電流	14.6 $\mu$ A(50k $\Omega$ )、13.3 $\mu$ A(100k $\Omega$ )、5 $\mu$ A(1M $\Omega$ )
出力電圧	0.73V DC(50k $\Omega$ )、1.33V DC(100k $\Omega$ )、5V DC(1M $\Omega$ )
出力周波数	DC
本体の寸法	幅61mm、高さ100mm、奥行35mm
ケーブル長	1.53m(導子の長さ含む)
重量	75kg(本体のみ)、約185g(総重量)

コード付き探索導子・握り導子のみの販売もしています。

■製造販売業者

**セイリン株式会社**

ISO13485 認証取得

〒424-0037 静岡県静岡市清水区袖師町1007-1  
TEL.054-365-5700 FAX.054-365-5139

<http://www.seirin.tv>



**0120-100890**

(通話料無料ダイヤル)

# 国民年金基金 は公的な年金制度であり

☆掛金は全額「社会保険料控除」の対象となり  
所得税や住民税が軽減されます。

☆受け取る年金にも、「公的年金等控除」があり、  
大変有利な扱いとなっています。

## 税金がこんなに有利！

### 掛金を収めているときは

掛金は全額社会保険料控除となり、所得税や住民税が軽減されます。

掛金が年額457,560円の方で課税所得が500万円の  
35歳0月の男性の場合（年金月額6万円で加入した場合）

1口目A型（12,710円）、2口目以降A型に4口（6,355円×4口）加入した場合

●年間の掛金 …………… 457,560円×（所得税率20.420%+住民税10%）  
= 139,190円軽減

●実質の負担（年間）… 318,370円になります。

### 所得税率表

課税所得額	195万円以下	195万円超～330万円以下	330万円超～695万円以下	695万円超～900万円以下	900万円超～1,800万円以下	1,800万円超～
税率	5.105%	10.210%	20.420%	23.483%	33.693%	40.840%

※住民税は一律10%です。



### 65歳から年金を受け取るときも

公的年金等控除の対象となりますので、年金以外に収入がない場合、お一人お一人158万円までは、税金がかかりません。



※国民年金の年金月額6.5万円は、20歳から60歳までの40年間、保険料を納付した時の平成25年度の満額です。  
※国民年金基金の年金月額は、夫婦とも35歳0月で1口目終身年金A型、またはB型、2口目以降、終身年金A型・B型と確定年金I型・II型・III型・IV型・V型のうち、7つの型から4口選んだ場合。

### 【年金額・掛金額例】1口目A型の場合（月額）

性別	加入時年齢	年金月額	掛金月額	性別	加入時年齢	年金月額	掛金月額
	男性	25歳0月	20,000円		8,370円	女性	25歳0月
30歳0月		20,000円	10,170円	30歳0月	20,000円		11,880円
35歳0月		20,000円	12,710円	35歳0月	20,000円		14,850円
40歳0月		15,000円	12,405円	40歳0月	15,000円		14,490円
45歳0月		15,000円	17,235円	45歳0月	15,000円		20,115円
50歳0月		10,000円	17,940円	50歳0月	10,000円		20,930円

※加入の型などお悩みでしたら、ご希望に合うマイプランをお作りすることも可能です。お気軽にお問い合わせください!!

お問い合わせ

**日本柔道整復師国民年金基金** ☎0120-305205

〒101-0041 東京都千代田区神田須田町1-22-8 イヅカビル8階 ☎03-3253-0701 FAX専用 ☎0120-505405

ホームページ <http://www.juuseikikin.or.jp>



# 安心のために できることのすべてを

損保ジャパンと日本興亜損保は2014年9月1日に合併し、新会社「損保ジャパン日本興亜」  
としてスタートいたしました。日本でいちばん大きな安心をお届けするために、これまでの損保に  
できなかったことに取り組み、これからの損保に本当に必要なサービスを提供してまいります。

## 損保ジャパン日本興亜、誕生。

損害保険ジャパン日本興亜株式会社  
〒160-8338 東京都新宿区西新宿1-26-1  
Tel: 03(3349)3111 <http://www.sjnk.co.jp/>

### 日本柔道整復師 協同組合員 のみなさまへ

毎月ご加入  
できます！

### 日整協同組合 「新・柔道整復師賠償保険制度」は 「鍼灸師賠償」がオプションとして加入できます！！

「新・柔道整復師賠償保険」では、「柔道整復師業務」の賠償事故だけでなく、任意オプションで  
「鍼灸師などの業務」「日常生活」「個人情報漏えい」の賠償事故も補償できます！！

#### 基本プラン

「基本プラン」は以下による賠償事故を補償します！

#### 「柔道整復師業務」

(柔道整復師特約)

#### 「院内施設の不備」

(施設危険担保特約)

#### 「院内施設でのケガ見舞金」

(傷害見舞費用担保特約)

#### 任意オプションプラン (任意に1つからでも選択できます)

「任意オプションプラン」は以下による賠償事故を補償します！

#### ①「鍼灸師などの業務」

(はり師、きゅう師  
あん摩・マッサージ・指圧師特約)

#### ②「日常生活」

(個人賠償責任保険)

#### ③「個人情報漏えい」

(個人情報取扱事業者保険)

\*「任意オプションプラン」だけのご加入はできません。必ず「基本プラン」とのセットでのご加入となります。

### 総合補償制度(所得補償・医療補償等)

病気・ケガ・交通事故による所得減・医療費等をトータルで補償します！！

毎月ご加入  
できます！

(所得補償保険、新・団体医療保険、交通事故傷害保険)

**40%割引！**

(団体割引20%+過去の損害率による割引25%)

日整協同組合  
ならではの  
割引です！

(団体長期障害所得補償保険)

**20%割引！**

(団体割引20%)

ご契約の際、被保険者数が1,000名未満もしくは5,000名以上になった場合、保険料が変更となります。

この内容は概要を説明したものです。詳しい内容については、取扱代理店または損保ジャパン日本興亜営業店にお問い合わせください。

<引受保険会社>

#### 損害保険ジャパン日本興亜株式会社

〒100-8965 東京都千代田区霞が関3-7-3

団体・公務開発部 第二課

(TEL)03-3593-6453 (FAX)03-3593-6751

<取扱幹事代理店>

アームリンク 株式会社

〒371-0844 群馬県前橋市古市町1-43-6 真塩ビル2F

(TEL)027-255-3233 (FAX)027-280-4659

SJNK14-06221 (2014.8.6)

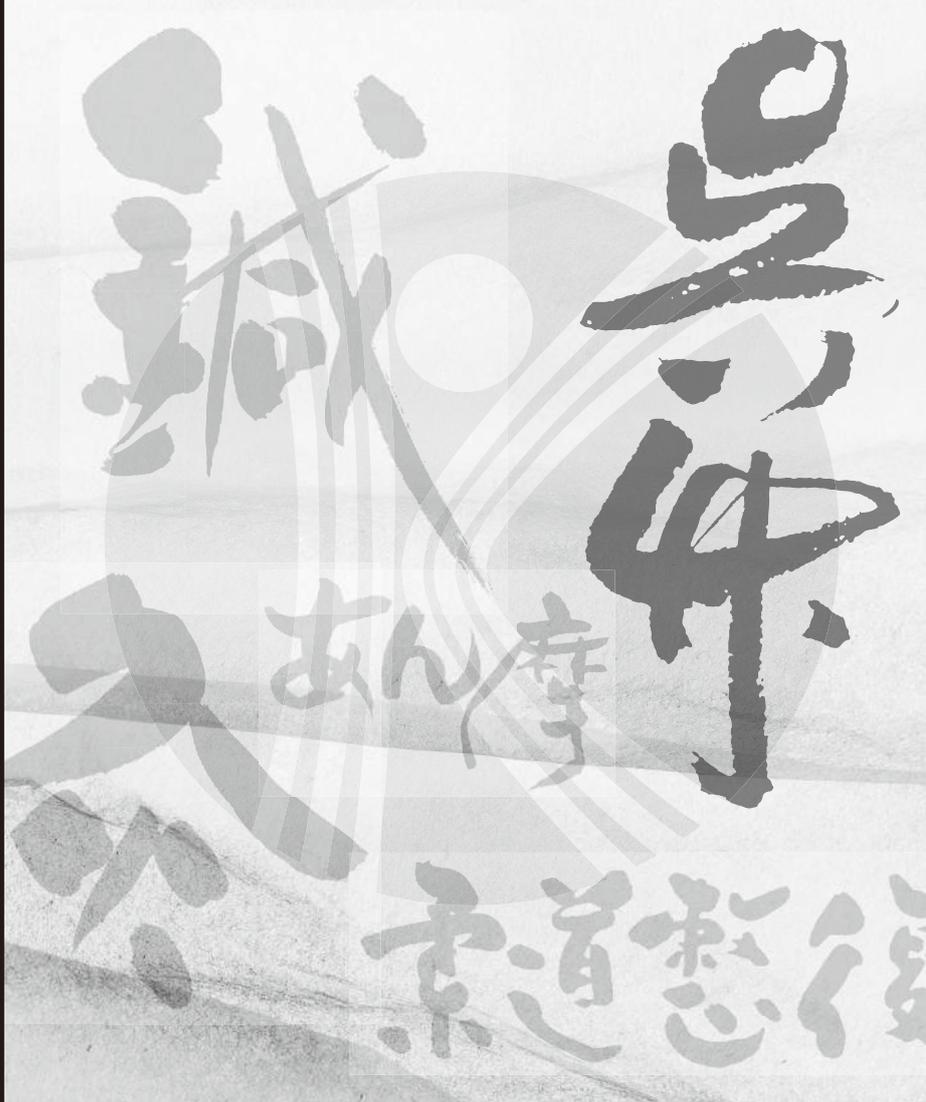
「損害保険ジャパン日本興亜株式会社」は、損保ジャパンと日本興亜損保が2014年9月1日に合併して誕生した会社です。

伝統と歴史を刻み、  
進化する未来へ。

呉竹学園は、  
今までも、これからも、  
時代に適応した人材を育成し、  
社会に貢献する努力を続けます。



学校法人  
**呉竹学園**  
Established 1926



<http://www.kuretake.ac.jp/>

## 東京医療専門学校

〒160-0008 東京都新宿区三栄町3

TEL:03-3341-4043

伝統医療と現代理論の融合。

東京医療専門学校は、十分な知識・技術を持った上で  
柔軟な思考のできる懐の深い医療人の育成を目指します。



## 呉竹鍼灸柔整専門学校

〒222-0033 神奈川県横浜市港北区新横浜2-7-24

TEL:045-471-3731

社会の信頼と尊敬を得る医療人の育成。

呉竹鍼灸柔整専門学校は、人格形成に力を注いだ教育により  
社会の信頼と尊敬を得る医療人を育成します。



## 呉竹医療専門学校

〒330-0854 埼玉県さいたま市大宮区桜木町1-185-1

TEL:048-658-0001

社会ですぐに活躍できる“あなた”になるために。

医の東西を問わず十分な知識と技術を備え、  
全人的医療を施すことの出来る医療人を育成します。



# 公益社団法人日本柔道整復師会の皆さまへ

MS&AD

三井住友海上

## 柔道整復師会総合賠償保険

(柔道整復師特別約款・施設所有(管理)者特別約款)

昭和47年より日本柔道整復師会の会員の皆さまを  
柔道整復業務にかかわる事故からお守りしています。

保険期間: 毎年11月1日から1年間

募集期間: 9月～10月下旬

### 【特徴】

- 日本柔道整復師会と三井住友海上とが会員の皆さまのために開発した保険です。
- 地域支援事業における介護予防事業に従事中の事故も補償いたします。
- 患者様が施術所内でのケガにより通院された場合の患者様へのお見舞金等も補償いたします。

## 所得補償保険

病気・ケガでの休業を補償いたします。

保険期間: 毎年8月1日から1年間

補償期間: お申込日の翌月1日午後4時～平成27年8月1日午後4時

※随時中途加入のお申込みを受け付けております。

### 【特徴】

- 業務中・業務外を問わず病気・ケガで就業不能となり、休診された時の収入を補償します。
- 保険料は約**52%割引**であり、個人でご契約されるよりお得です。  
(団体割引20%+損害率による割引(注)40%)

(注) 損害率により、毎年割引率が見直しされます。

上記割引率は平成26年に保険期間を開始した契約のものです。

※この内容は保険の特徴を説明したものです。詳しい内容については、専用パンフレット「日本柔道整復師会総合賠償保険のご案内」「日本柔道整復師会所得補償保険・団体長期障害所得補償保険(GLTD)・団体総合生活補償保険(MS&AD型)のおすすめ」をご参照いただくか取扱代理店または三井住友海上の営業店にお問い合わせください。

<団体窓口>

公益社団法人日本柔道整復師会 事務局 TEL03-3821-3511

<引受保険会社>

三井住友海上火災保険株式会社

広域法人部営業第一課

〒101-8011 東京都千代田区神田駿河台 3-11-1

TEL03-3259-6692 FAX03-3259-7218

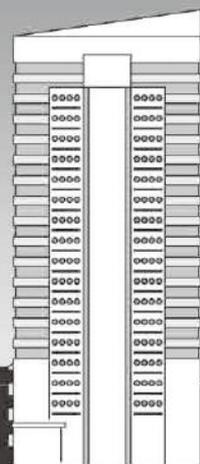
<主要取扱代理店>

株式会社ウーベル保険事務所

〒104-0041 東京都中央区新富 2-4-5 ニュー新富ビル 8F

TEL03-3553-8552 FAX03-3553-8553

# HANADA GAKUEN



## TAU 東京有明医療大学

- 保健医療学部（鍼灸学科／柔道整復学科）
- 看護学部（看護学科）

### 附帯教育 ※保健医療学部のみ

(公財) 日本体育協会公認AT適応コース アスレティックトレーナーコース  
(公財) 健康・体力づくり事業財団 健康運動実践指導者養成校 健康運動実践指導者コース

### 大学院

平成27年4月より

『保健医療学研究科 博士課程』がスタート!

- ・保健医療学研究科 博士前期課程／博士後期課程
- ・看護学研究科 修士課程

〒135-0063 東京都江東区有明2丁目9番1号 Tel.03-6703-7000

りんかい線「国際展示場」または「東雲」駅より徒歩13分

ゆりかもめ「有明テニスの森」駅より徒歩10分

<http://www.tau.ac.jp>

厚生労働大臣認定・指定

## 日本鍼灸理療専門学校 日本柔道整復専門学校

- 本科 鍼灸あん摩マッサージ指圧科(昼3年・夜3年)
- 専科 鍼灸科(昼3年・夜3年)
- 柔道整復科(昼3年・夜3年)

### 附帯教育

(公財) 日本体育協会公認AT適応コース アスレティックトレーナー専攻科

〒150-0031 東京都渋谷区桜丘町20番1号 Tel.03-3461-4787

「渋谷」駅 南改札西口より徒歩5分

<http://www.hanada.ac.jp>

医療人の原点へ  
現代医療の未来へ

ご存知ですか？  
「がん」で亡くなる方は、  
交通事故による死亡者数の

約 **83倍**

平成25年  
交通事故死亡者数  
**4,373**人  
平成26年  
警察庁交通局 交通企画課

平成25年  
がんによる死亡者数  
**364,872**人

厚生労働省 平成25年人口動態統計

「やっぱりがん保険に加入しておこう。

でも、がん保険も色々あってどれを選べば良いか…」



と、お悩みの方。



こちらはいかがですか？

新 **生きるための  
がん保険** Days

がん専門相談サービス  
「**プレミアサポート**」をご利用いただけます  
プレミアサポートは㈱法研が提供するサービスです

訪問面談サービス

専門医紹介

【Aプラン(入院給付金日額10,000円) 保障内容】 保険期間: 終身(抗がん剤治療特約は10年)

診断 給付金	1回限り がん <b>100</b> 万円	1回限り 上皮内 新生物 <b>10</b> 万円	終身
入院 給付金	1日につき <b>10,000</b> 円		
通院 給付金	1日につき <b>10,000</b> 円		
手術 治療給付金	1回につき <b>20</b> 万円		
放射線 治療給付金	1回につき <b>20</b> 万円		
抗がん剤 治療給付金 ※上皮内新生物は保障対象外	治療を受けた 月ごと <b>10</b> 万円 給付倍率 2倍	乳がん・前立腺がんの ホルモン療法の際 給付倍率 1倍 <b>5</b> 万円	

10年  
満期  
自動更新

「入院」も「通院」\*も  
通算の日数に制限なく保障

\*手術・放射線治療・抗がん剤治療のための通院はもちろん、  
入院後の通院も退院後365日以内なら日数に制限なく保障

「一時金(特約診断給付金)」で  
再発などに備える特約をプラス  
することもできます

(診断給付金複数回支払特約)

【新Days Aプラン(入院給付金日額10,000円)解約払戻金なしタイプ 定額タイプ 保険料例】

40歳		50歳		60歳	
男性	女性	男性	女性	男性	女性
4,270円	4,590円	6,920円	5,940円	11,490円	7,270円

保険料払込期間: 終身(抗がん剤治療特約は10年)

<抗がん剤治療特約>には更新があり、更新後の保険料は更新時の年齢・保険料率によって決まります。

(2014年12月22日現在) 集団取扱 月払

詳細につきましては「契約概要」等をご覧ください。

詳しい資料をご希望の方は、国際保険(株)までお気軽にお電話ください。



**0120-5931-98**

営業時間

平日(月~金) 9:00~17:15

資料請求いただいたお客様の個人情報の利用目的は、アフラックの各種商品やサービスの案内・提供・維持管理となります。

募集代理店

国際保険株式会社  
東京都渋谷区千駄ヶ谷5丁目15-5 DSEビル4F  
TEL.03-3354-5931

引受保険会社

Aflac アフラック (アメリカンファミリー生命保険会社)

首都圏総合支社

〒160-0023 東京都新宿区西新宿1-23-7 新宿ファーストウェスト17階  
お問合せ・各種手続き コールセンター 0120-5555-95

# 三四郎くん は、日本全国で最も多く使われている 接骨院・整骨院専用のレセコンです!

使い勝手の良い操作性はもちろん、  
療養費改正等の保険改正にすばやく対応。  
迅速サポートでご好評を頂いている『三四郎くん』は、  
常に進化を続ける信頼と実績の事務管理ソフトです。



※一部ご希望に添えない場合があります。



保険証入力画面 ▶  
傷病通院入力画面 ▶

オプションで  
さらに便利!



保険証リーダー



サーマルプリンタ



バーコードシステム

## 超音波画像観察装置 ラインナップ 骨・軟骨・筋・腱・靭帯などがリアルタイムに観察できます。



サムスン電子ジャパン  
**MySono U6**  
医療機器認証番号 第224AFBZX00078000号



本多電子  
**HS-2200**  
医療機器認証番号 第225AHBZX00034号



日立アロカメディカル  
**Noblus**  
医療機器認証番号 第224ABBZX00092000号

その他、様々な機種を取り揃えております。



## 柔道整復師倫理綱領

国民医療の一端として柔道整復術は、国民大衆に広く受け入れられ、民族医学として伝承してきたところであるが、限らない未来へ連綿として更に継承発展すべく、倫理綱領を定めるものとする。ここに柔道整復師は、その名譽を重んじ、倫理綱領の崇高な理念と、目的達成に全力を傾注することを誓うものである。

- 1、柔道整復師の職務に誇りと責任をもち、仁慈の心を以て人類への奉仕に生涯を貫く。
- 2、日本古来の柔道精神を涵養し、国民の規範となるべく人格の陶冶に努める。
- 3、相互に尊敬と協力を努め、分をわきまえ法を守り、業務を遂行する。
- 4、学問を尊重し技術の向上に努めると共に、患者に対して常に真摯な態度と誠意を以て接する。
- 5、業務上知りえた秘密を厳守すると共に、人種、信条、性別、社会的地位などにかかわらず患者の回復に全力を尽す。